



## **Cisco Unified Communications System リリース 8.6(1a) 日本語版 検証レポート (Engineering Special および Service Update のアップグレード/ 移行)**

検証プログラム

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

*Cisco Unified Communications System リリース 8.6(1a) 日本語版 検証レポート (Engineering Special および Service Update のアップグレード / 移行) 検証プログラム*

© 2011 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2011–2012, シスコシステムズ合同会社.  
All rights reserved.



## CONTENTS

---

### CHAPTER 1

## Cisco Unified Communication Upgrade-ES/SU Test for Japanese 1-1

- 概要 1-1
- Engineering Special リリース 1-2
- Service Update リリース 1-2
- Unified CM 8.6(1a) へのアップグレード 1-2
  - 前提条件 1-2
  - サポート対象のハードウェア 1-2
  - 仮想サーバ上の Unified CM 8.6(1a) へのアップグレード 1-2
- MCS から UCS への移行手順 1-3

---

### CHAPTER 2

## アップグレード トポロジとマトリクス 2-1

- アップグレード トポロジ 2-2
- コンポーネント マトリクス (全リリース共通) 2-3
- アップグレード パス 2-3
- ES/SU マトリクス 2-4

---

### CHAPTER 3

## テスト結果の概要 3-1

- Engineering Special - リリース セット 3-1
  - 5.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-2
  - 6.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-25
  - 6.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-47
  - 7.1(3) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-65
  - 7.1(5) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-82
- Service Update - リリース セット 3-95
  - 4.1(3) → 7.1(3) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-96
  - 5.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-122
  - 6.1(3) → 7.1(5) → 8.6(1a) へのアップグレード 3-146
  - 6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード 3-165
  - 7.1(3) から 8.6(1a) へのアップグレード 3-177
  - 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード 3-191

---

### CHAPTER 4

## ベスト プラクティスと制限事項 4-1

- ベスト プラクティス 4-1

制限事項 4-2

関連資料 4-3



# CHAPTER 1

## Cisco Unified Communication Upgrade-ES/SU Test for Japanese

この章の内容は、次のとおりです。

- [概要](#)
- [Engineering Special リリース](#)
- [Service Update リリース](#)
- [Unified CM 8.6\(1a\) へのアップグレード](#)
- [MCS から UCS への移行手順](#)

### 概要

Cisco Unified Communication System Upgrade/Migration Test は、Cisco Unified Communication ソリューションに不可欠です。このプログラムでは、Cisco Unified Communications System の Unified Communications Manager のアップグレード/移行を検証およびテストします。具体的には、Unified Communications Manager のさまざまなバージョンから最新バージョンである 8.6(1a) へのアップグレードおよび移行がテストされます。

本書には、日本語ローカライズ環境での Cisco Unified Communications Upgrade-ES/SU Test のテスト結果が記載されています。このテストでは、日本語環境（日本語 OS やローカライズされたアプリケーションなど）で構築された UCS C シリーズ サーバ上の VMware で、さまざまな ES/SU リリースの Unified Communications Manager を仮想化されたサーバにアップグレード/移行します。

テストは、日本のセグメントに影響を及ぼす特定の UC 製品に対して、日本のシスコのさまざまなチームが設定した優先順位に基づき実施されます。日本語ロケール、日本語 OS、番号計画用の JPNP などの日本固有の同等品が実装されます。

Cisco Unified Communications System Test for Japanese はソリューション レベルのテストであり、収集される要件は日本での使用状況と市場に依存します。要件は次の項目に基づいて導き出されます。

- 既存の ES/SU リリースからのアップグレード/移行に関するお客様の要望
- 日本のシスコの各チームの見解

Cisco Unified Communications System Test for Japanese の目的は、Unified Communications System Test でカバーされない一連のシステム テストを実行し、日本語 OS やローカライズされたアプリケーションなどの日本語環境用の同等品を実装することです。

## Engineering Special リリース

「ES」(Engineering Special)とは、お客様が見つけた問題の解決策として、Unified Communications Manager の最新バージョンを一時的に連続してリリースすることです。ES にはバグ フィックスのみが含まれ、機能拡張は含まれません。このリリースは TAC Service Request により入手できます。ES リリースに追加されたフィックスは、後続の同じ ES リリースとそれ以降のリリースにも含まれます。

## Service Update リリース

SU とは Service Update の略です。元々は Security Update の略で、重大なセキュリティ フィックスを迅速にリリースするために Unified Communications Manager で使用されているメカニズムです。Service Update リリースは Cisco.com からダウンロードできます。

## Unified CM 8.6(1a) へのアップグレード

### 前提条件

Unified CM 8.6(1a) へのアップグレードの前提条件は次のとおりです。

- 8.5(x) 以前のリリースから 8.6(x) リリースにアップグレードするには、「ciscocm.refresh\_upgrade\_v1.0.cop.sgn」という名前のリフレッシュ アップグレード cop ファイルをインストールする必要があります。
- リフレッシュ アップグレード cop ファイルをインストールする手順は、アップグレードと同じです。

詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/rel\\_notes/8\\_6\\_1/cucm-rel\\_notes-861.html#wp1971086](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/rel_notes/8_6_1/cucm-rel_notes-861.html#wp1971086)

### サポート対象のハードウェア

サポートされているハードウェアの詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicew/ps6790/ps5748/ps378/prod\\_brochure0900aecd8062a4f9.html](http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicew/ps6790/ps5748/ps378/prod_brochure0900aecd8062a4f9.html)

## 仮想サーバ上の Unified CM 8.6(1a) へのアップグレード

Cisco Unified Communications Manager を仮想サーバ上で実行しており、8.6(1a) リリースにアップグレードする場合は、仮想サーバのゲスト オペレーティング システムとメモリが最新リリースの要件を満たしていることを確認する必要があります。

仮想サーバ上の Cisco Unified CM をアップグレードするには、次の手順を実行してください。

- 
- ステップ 1** 仮想マシンを最新リリースにアップグレードします。仮想サーバ上の Cisco Unified Communications Manager のインストールまたはアップグレードについては、『Cisco Unified Communications Manager on Virtualized Servers』マニュアルを参照してください。
- ステップ 2** アップグレードが終了したら、仮想マシンをシャットダウンします。
- ステップ 3** ゲスト オペレーティング システムを Red-Hat Enterprise Linux 5 (32 ビット) に変更します。
- ステップ 4** 仮想マシンのメモリが本リリースの最低メモリ要件を満たしていることを確認します。最低メモリ要件については、このリリースの OVA ファイルに付属する readme ファイルを参照してください。このファイルの場所は次のとおりです。Products\Voice and Unified Communications\IP Telephony\Call Control\Cisco Unified Communications Manager (CallManager)\Cisco Unified Communications Manager Version 8.6\Unified Communications Manager Virtual Machine Templates
- ステップ 5** 変更を保存します。
- ステップ 6** 仮想マシンを再起動します。
- 

詳細については、次のサイトを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/rel\\_notes/8\\_6\\_1/cucm-rel\\_notes-861.html#wp1968761](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/rel_notes/8_6_1/cucm-rel_notes-861.html#wp1968761)

## MCS から UCS への移行手順

仮想サーバへの移行に関する詳しいガイダンスと情報については、次の URL にアクセスしてください。

- [http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/virtual/servers.html#wp42985](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/virtual/servers.html#wp42985)
- [http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/virtual/servers.html#wp54100](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/virtual/servers.html#wp54100)







## CHAPTER 2

# アップグレード トポロジとマトリクス

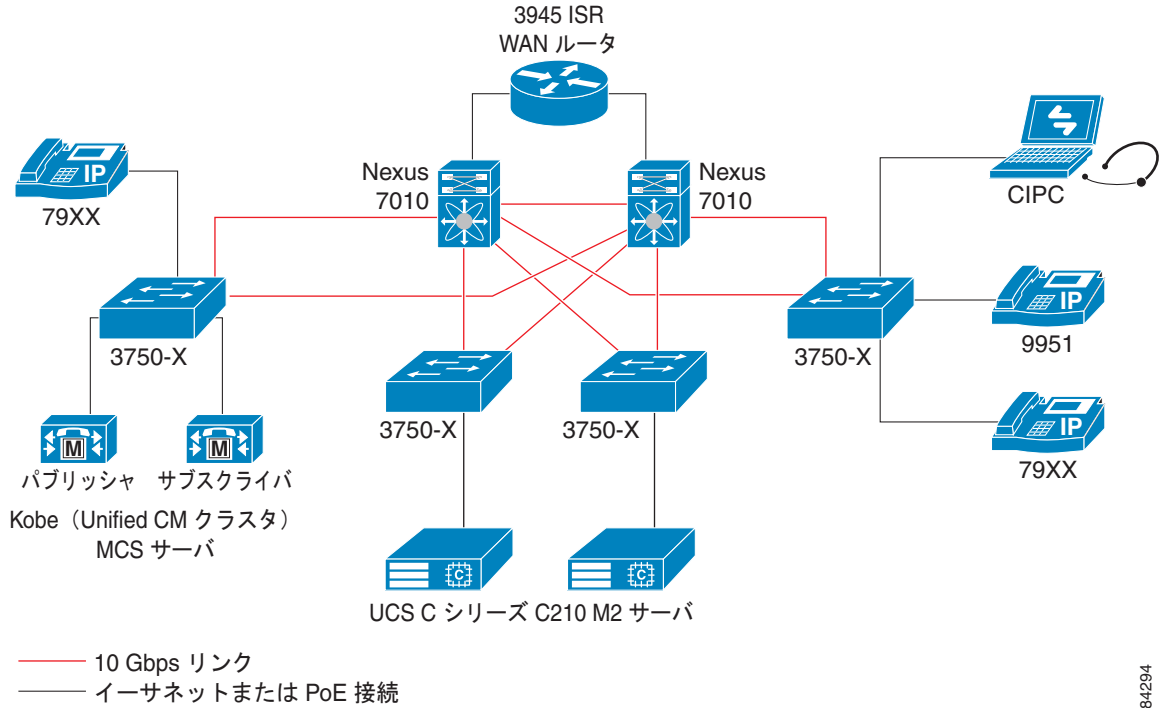
---

この章の内容は、次のとおりです。

- [アップグレード トポロジ](#)
- [コンポーネントマトリクス \(全リリース共通\)](#)
- [アップグレードパス](#)
- [ES/SU マトリクス](#)

# アップグレード トポロジ

図 2-1 アップグレード トポロジ



284294

## コンポーネントマトリクス (全リリース共通)

表 2-1 コンポーネントマトリクス (全リリース共通)

カテゴリ	コンポーネント	ハードウェア	バージョン
UCS サーバ	Cisco C シリーズ	C210 M2	1.4(1m)
ハイパーバイザ	ESXi	N/A	ESXi 4.1
MCS	Unified Communications Manager	MCS 7845 H2/MCS 7835 I2 MCS 7845 I2	
音声ゲートウェイ	IOS	音声ゲートウェイ 3945 音声ゲートウェイ 2851	15.1(4)M1
スイッチ	アクセス スイッチ	Cisco 3750	c3750e-universalk9-mz.122-58.S E.bin

## アップグレードパス

次の各表は、すべての Unified Communications Manager リリースから最新リリースの 8.6(1a) へのアップグレードパスを示しています。

表 2-2 ES - Unified CM 8.6(1a) へのアップグレードパス

Engineering Special	中間リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレードタイプ
5.1(3)	7.1(5)	8.5(1)	マルチステージ
6.1(3)	7.1(5)	8.5(1)	マルチステージ
6.1(5)	なし	8.5(1)	マルチステージ
7.1(3)	なし	8.5(1)	マルチステージ
7.1(5)	なし	なし	シングルステージ

表 2-3 SU - Unified CM 8.6(1a) へのアップグレードパス

Service Update	中間リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレードタイプ
4.1(3)	7.1(3)	8.5(1)	マルチステージ
5.1(3)	7.1(5)	8.5(1)	マルチステージ
6.1(3)	なし	7.1(5)	マルチステージ
6.1(5)	なし	なし	シングルステージ
7.1(3)	なし	なし	シングルステージ
7.1(5)	なし	なし	シングルステージ



(注)

ただし、一部のリリースセットでは、8.5(1) から 8.6(1a) へのハードウェア依存性のアップグレードにより、8.6(1a) への直接アップグレードが利用可能です。

詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/compat/ccmcompmatr.html#wp43011](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/ccmcompmatr.html#wp43011)

## ES/SU マトリクス

次の表では、8.6(1a) のアップグレードおよび移行用のアップグレード元リリースセットとして使用される Engineering Special と Service Update を示します。

表 2-4 ES- マトリクス

アップグレード元リリースセット	Engineering Special	アップグレードタイプ
5.1(3)	5.1(3.7109.1)	マルチステージ
6.1(3)	6.1.3.3219-1	マルチステージ
6.1(5)	6.1.5.14042-2	マルチステージ
7.1(3)	7.1.3.33042-1	マルチステージ
7.1(5)	7.1.5.34054-1	シングルステージ

表 2-5 SU- マトリクス

アップグレード元リリースセット	Service Update	アップグレードタイプ
4.1(3)	4.1(3)SR8a	マルチステージ
5.1(3)	5.1(3g)	マルチステージ
6.1(3)	6.1(3b)SU1	マルチステージ
6.1(5)	6.1(5)SU3	シングルステージ
7.1(3)	7.1(3b)SU2	シングルステージ
7.1(5)	7.1(5b)SU4	シングルステージ

詳細については、次の URL を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/compat/ccmcompmatr.html#wp43011](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/ccmcompmatr.html#wp43011)



## CHAPTER 3

### テスト結果の概要

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [Engineering Special](#) - リリース セット
- [Service Update](#) - リリース セット

### Engineering Special - リリース セット

ここでは、次の内容について説明します。

- [5.1\(3\)](#) → [7.1\(5\)](#) → [8.5\(1\)](#) → [8.6\(1a\)](#) へのアップグレード
- [6.1\(3\)](#) → [7.1\(5\)](#) → [8.5\(1\)](#) → [8.6\(1a\)](#) へのアップグレード
- [6.1\(5\)](#) → [8.5\(1\)](#) → [8.6\(1a\)](#) へのアップグレード
- [7.1\(3\)](#) → [8.5\(1\)](#) → [8.6\(1a\)](#) へのアップグレード
- [7.1\(5\)](#) → [8.6\(1a\)](#) へのアップグレード

## 5.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 5.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	ES - アップグレード 元リリース セット	中間リリース セット	MCS → UCS 移行リリー ス セット	アップグレード先 リリース セット
Cisco Unified CM	5.1(3.7109.1)	7.1.5-10000-12	8.5.1-10000-26	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロ ケール	cm-locale-ja_JP-5.1.1. 2000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-7.1.5.12 00-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1.100 0-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8. 6.1.1 000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.1.4	7.0(3)	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.1-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コン ポーネント フロー	ステータ ス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1171	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッ シヤ 5.1(3) (Engineering Special) のアップグ レード	Cisco Unified Communications Manager のバージョン 5.1(3) (Engineering Special) から バージョン 7.1(5) へのアッ プグレードが正常に完了す ることを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1172	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクラ イバ 5.1(3) (Engineering Special) のアップグ レード	Cisco Unified Communications Manager のバージョン 5.1(3) (Engineering Special) から バージョン 7.1(5) へのアッ プグレードが正常に完了す ることを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1173	アップグレード	Cisco IP Communicator の アップグレード	リリース セット 7.0(3) Cisco IP Communicator へ のアップグレードが正常に 完了することを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1174	アップグレード	リリース セット 5.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグ レード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone へ のアップグレードが正常に 完了することを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1175	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッ シヤ 7.1(5) のアップ グレード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5) から 8.5(1) への アップグレードが正常に完 了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1176	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 7.1(5) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1177	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1178	アップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1179	アップグレード	MCS 内のディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1180	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストールが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1181	アップグレード	C シリーズ上にインストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に対するライセンスの適用	ライセンス アップロードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1182	アップグレード	C シリーズのディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified CM の 100% 復元が成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1183	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリック シェア 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1184	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1185	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1186	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの ES 5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリバの ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 2.1(4) から 7.0(3) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの ES 5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。



## テスト手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3 FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
  - ステップ 4 アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 5 [Next] をクリックします。
  - ステップ 6 ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

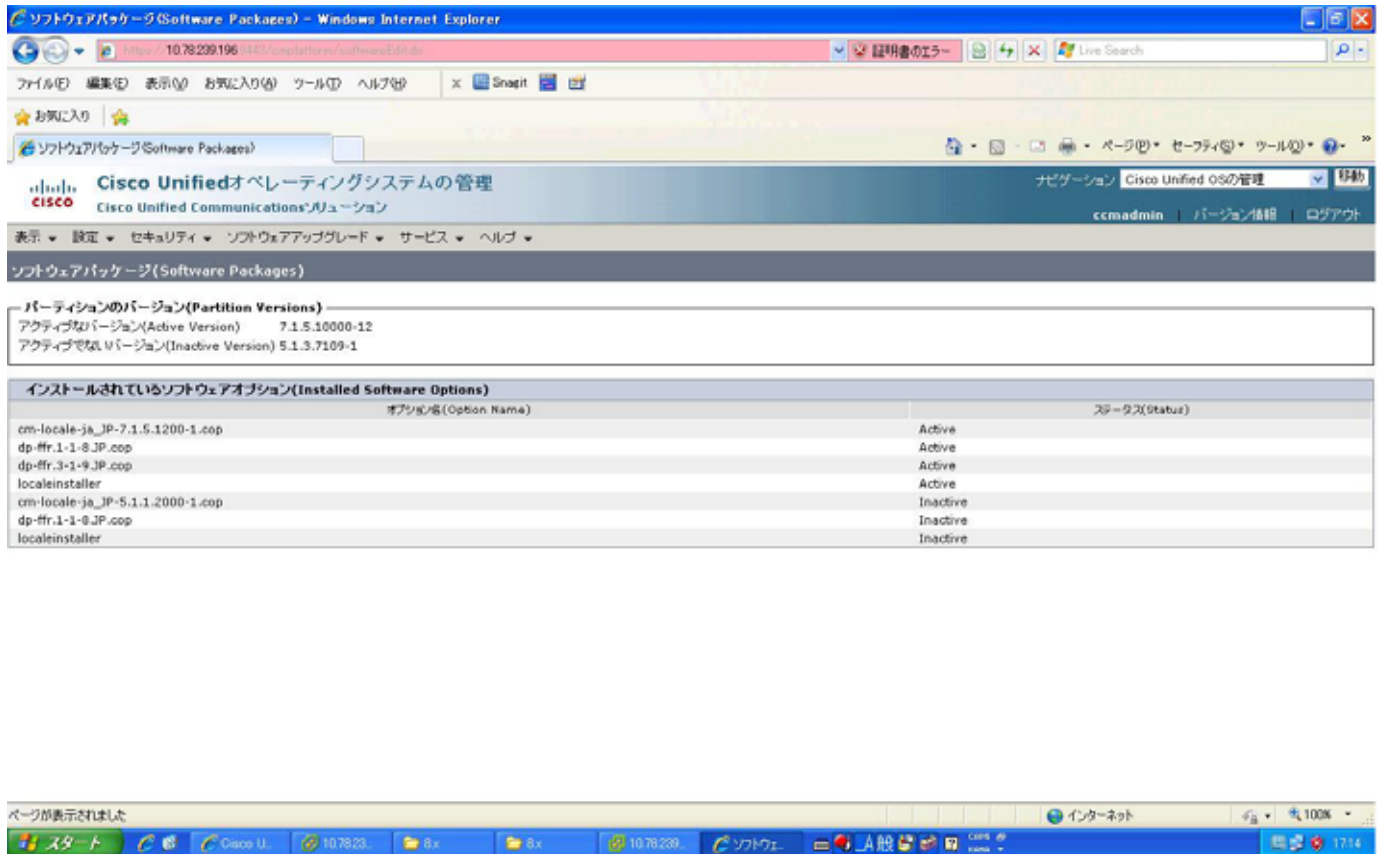
## 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-1 Unified Communications Manager パブリッシャの ES 5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
- ステップ 4** アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレードイメージの CD/DVD を選択します。

**ステップ 5** [Next] をクリックします。

**ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-2 Unified Communications Manager サブスクリバの ES 5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

The screenshot shows the Cisco Unified Communications Manager Administration console. The main content area displays the following information:

**パーティションのバージョン (Partition Versions)**

アクティブなバージョン (Active Version)	7.1.5.10000-12
アクティブでないバージョン (Inactive Version)	5.1.3.7109-1

**インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)**

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Active
dp-#fr-1-1-8-JP.cop	Active
dp-#fr-3-1-9-JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-5.1.1.2000-1.cop	Inactive
dp-#fr-1-1-8-JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

**出力/監視結果**

エラー メッセージは表示されません。

接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の ES-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 2.1(4) から 7.0(3) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

**テスト手順**

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 4** [Next] をクリックします。

**ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

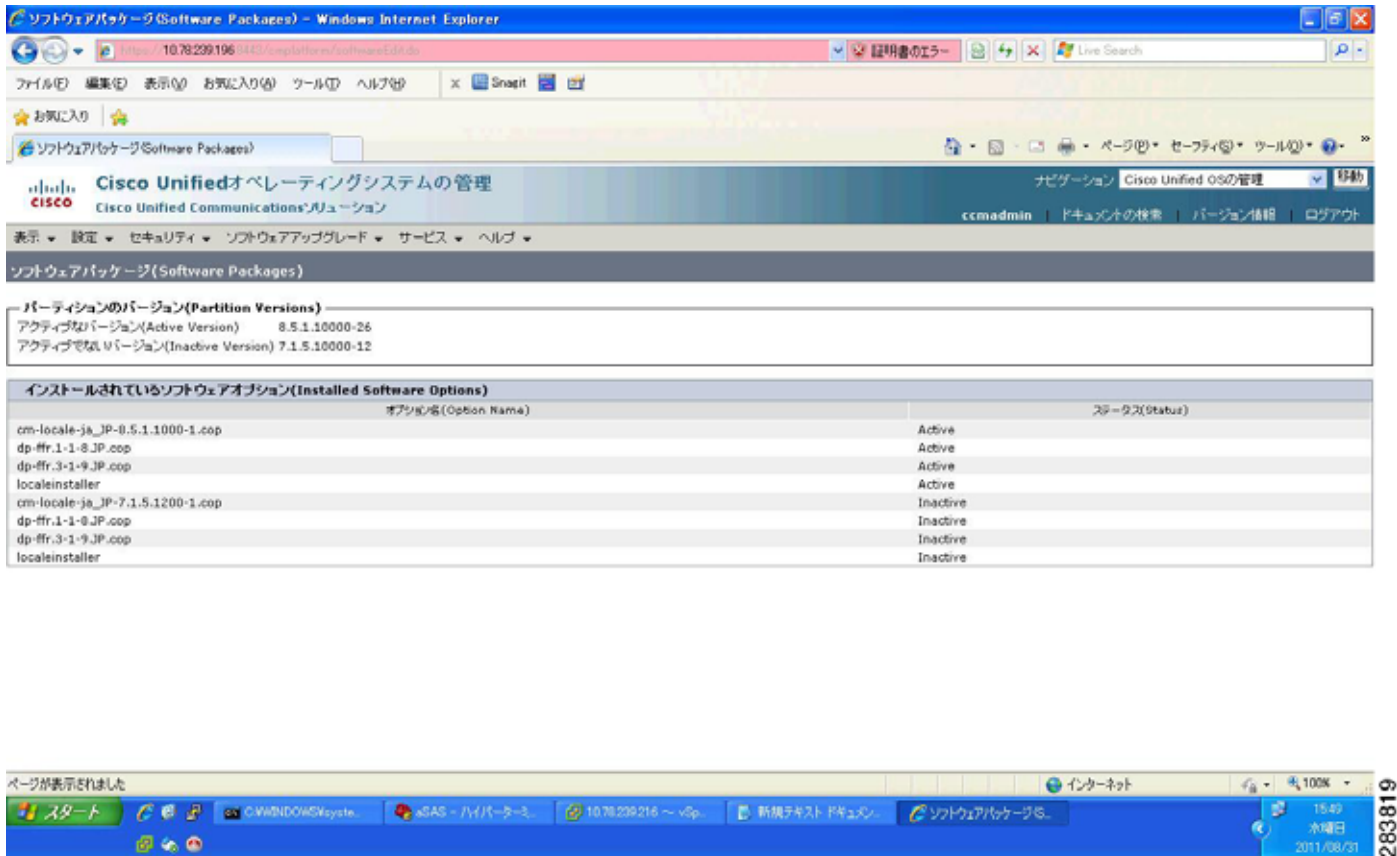
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュャとサブスクリイバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-3 Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。

**ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュャとサブスクリイバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-4 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

The screenshot shows the Cisco Unified Communications Manager Software Packages page. The 'Partition Versions' section displays the following information:

アクティブなバージョン(Active Version)	バージョン
アクティブなバージョン(Active Version)	8.5.1.10000-26
アクティブでないバージョン(Inactive Version)	7.1.5.10000-12

The 'Installed Software Options' table is as follows:

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Active
dp-ffr-1-1-8 JP.cop	Active
dp-ffr-3-1-9 JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Inactive
dp-ffr-1-1-8 JP.cop	Inactive
dp-ffr-3-1-9 JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があります、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

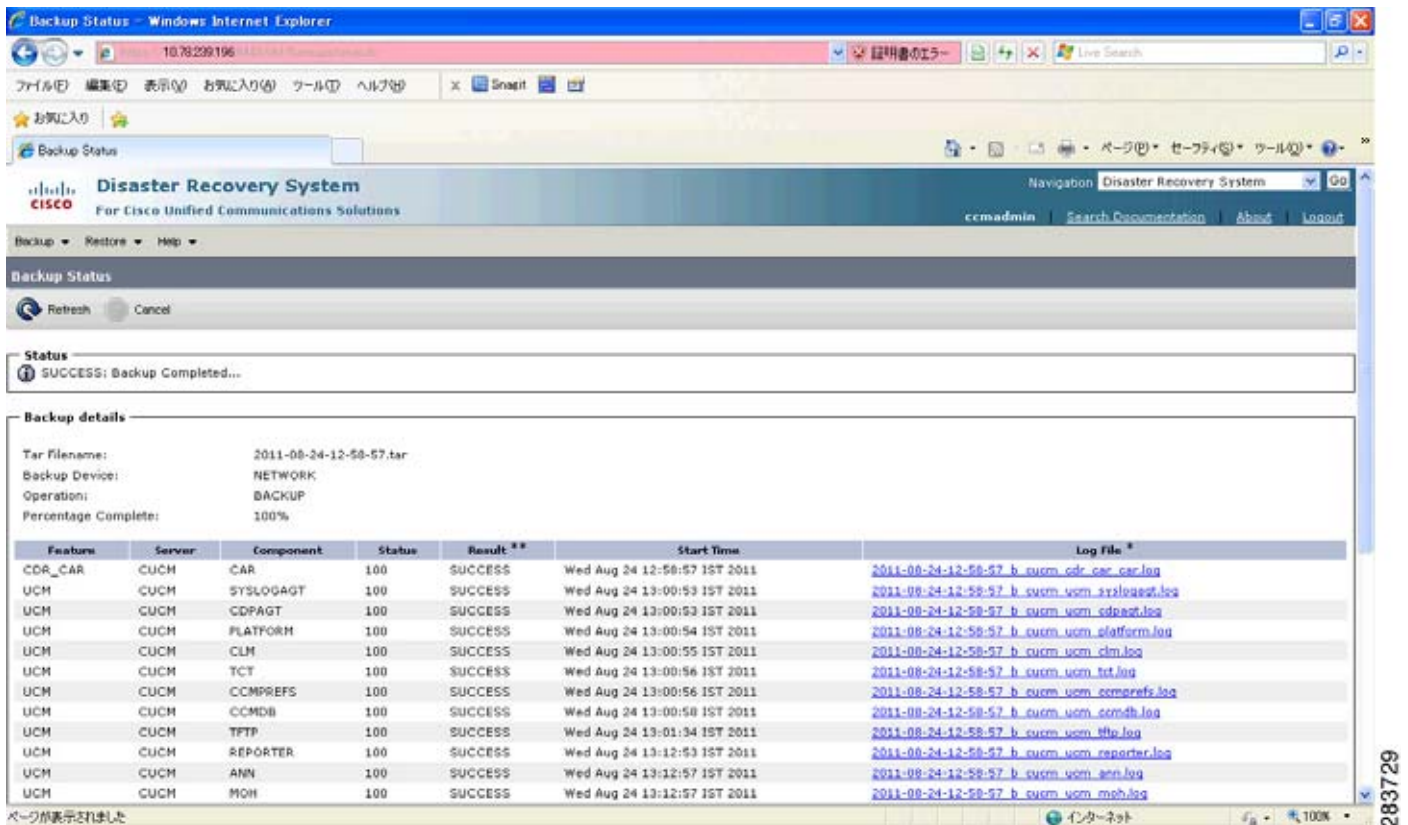
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
- 

**想定される結果**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

## 出力/監視結果

図 3-5 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



## 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが UCS サーバに正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

## 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-6 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- ・ インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-7 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。

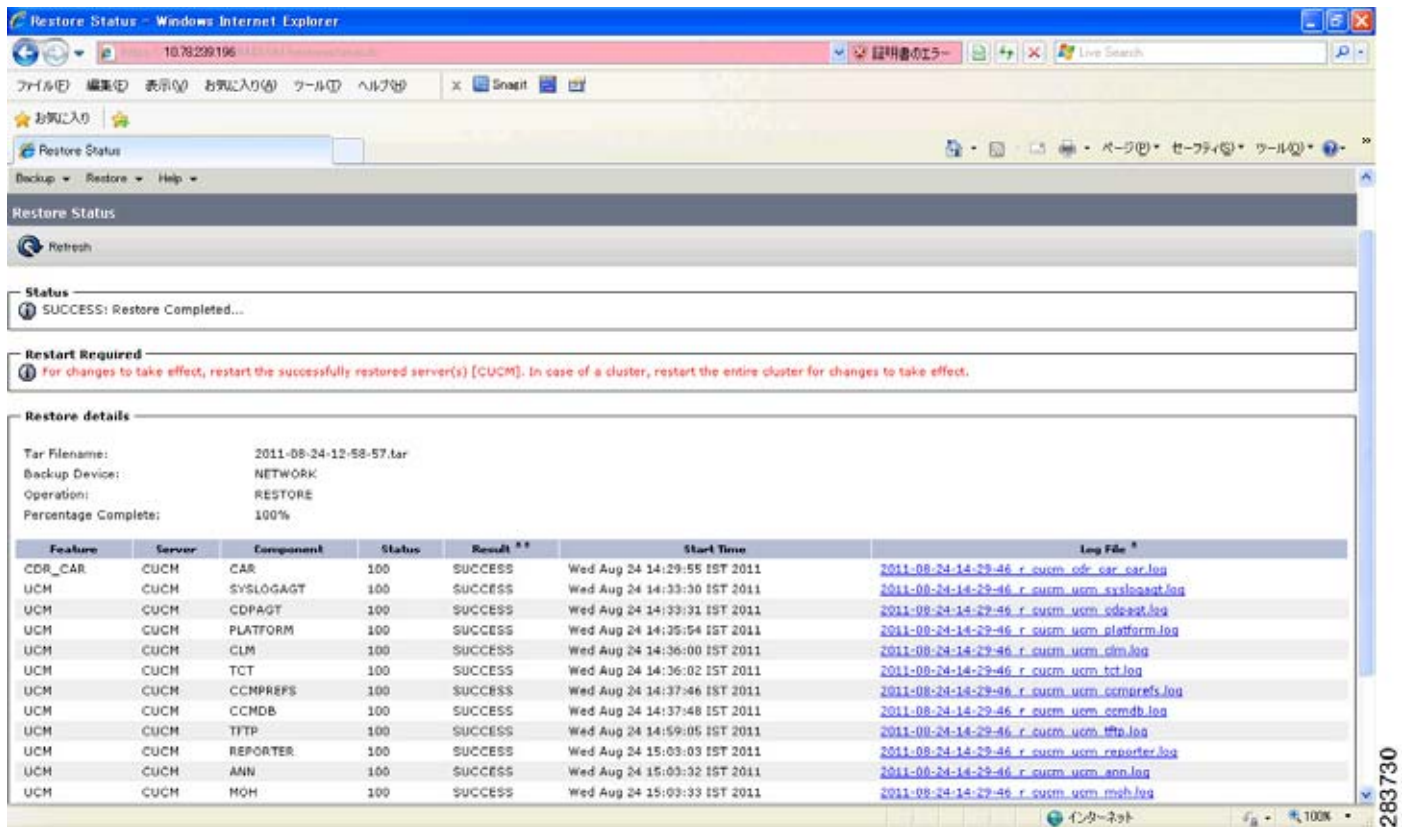
**ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。**想定される結果**

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュャとサブスクリイバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプ の値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-8 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。

- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

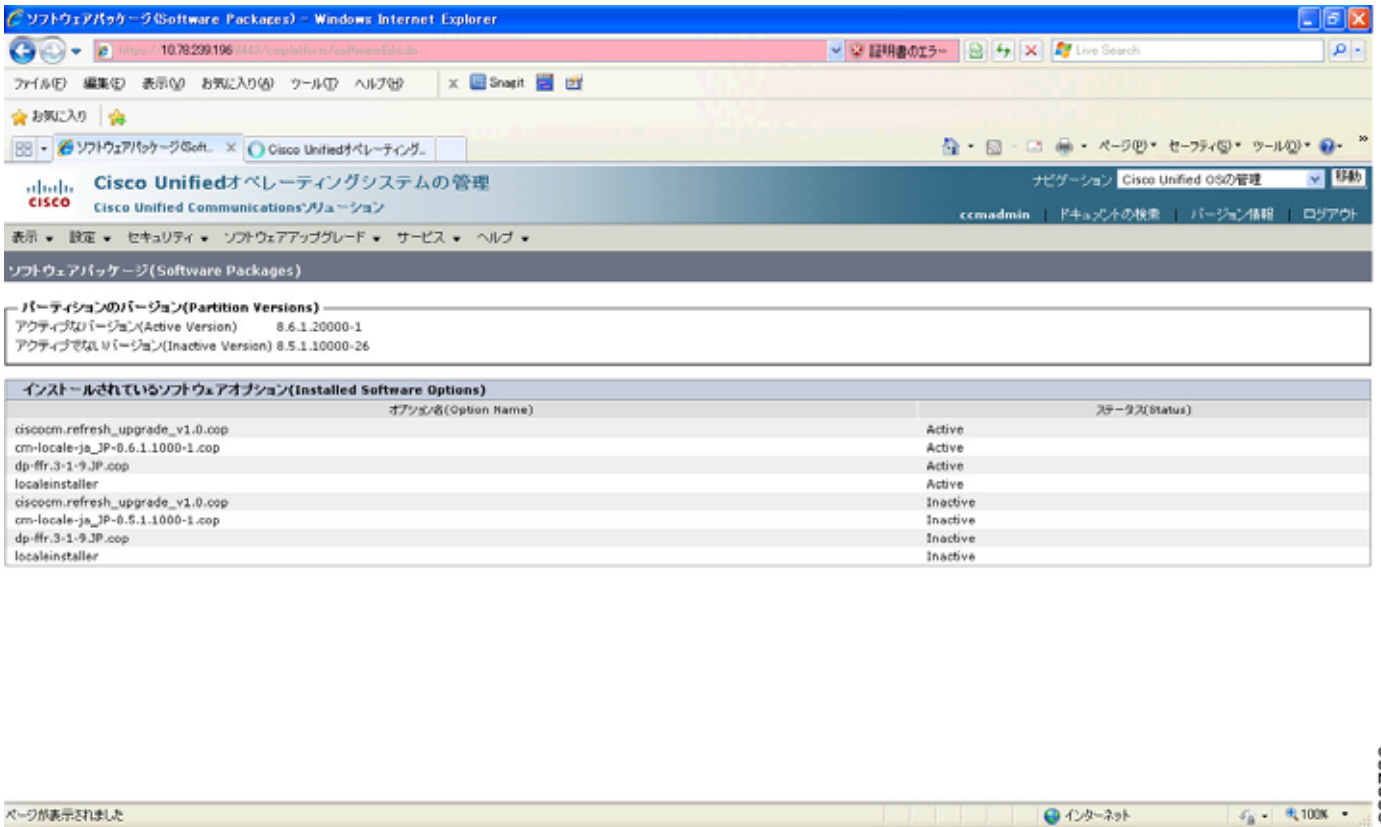
Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



出力/監視結果

図 3-9 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

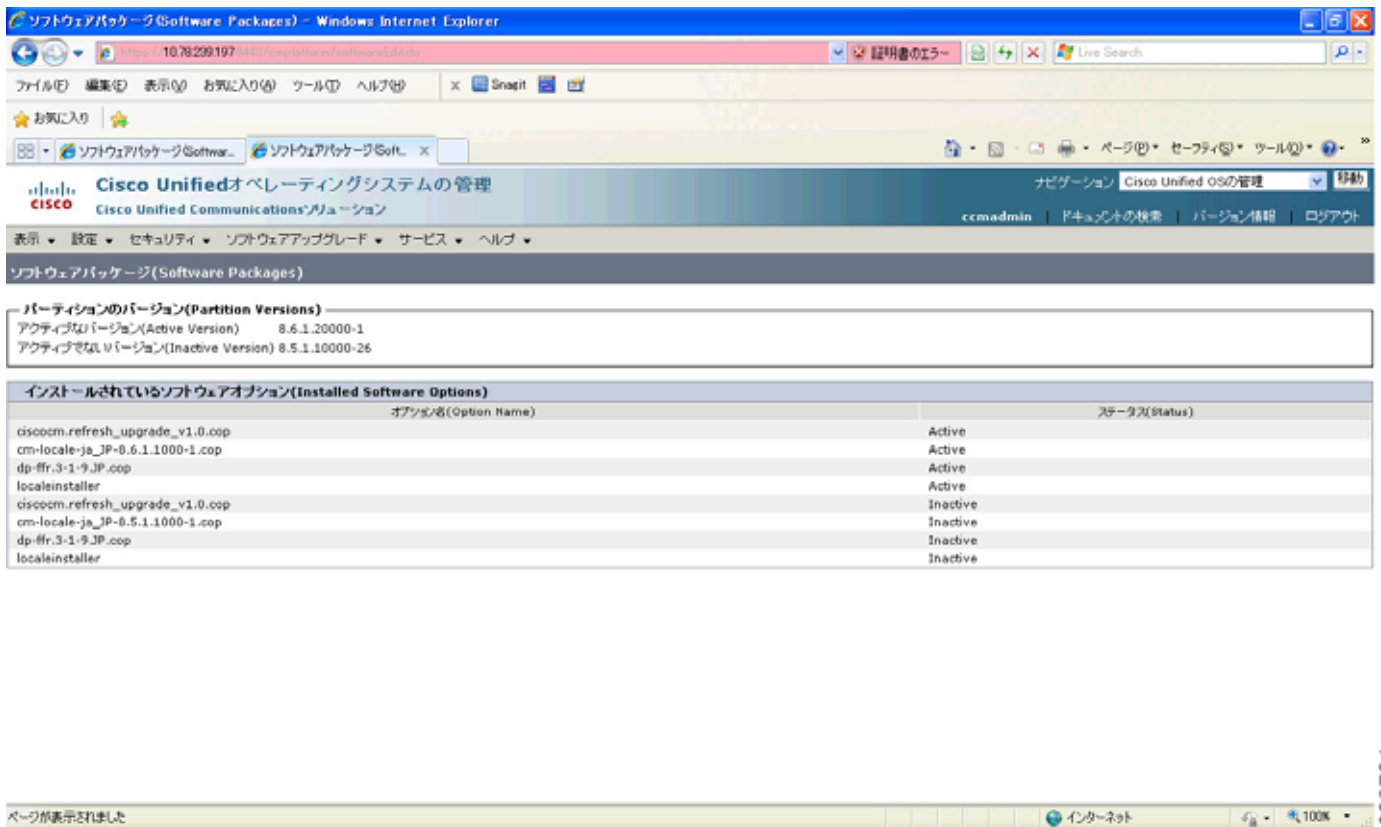
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-10 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

## 6.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 6.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	ES - アップグレード元リリース セット	中間リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	6.1.3.3219-1	7.1.5-32900-2	8.5.1-10000-26	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.0(1)	7.0(3)	7.0(3)	8-6-1
ダイヤルプラン	dp-ffr.2-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1187	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシュ 6.1(3) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager のバージョン 6.1(3) (Engineering Special) からバージョン 7.1(5) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1188	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 6.1(3) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager のバージョン 6.1(3) (Engineering Special) からバージョン 7.1(5) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1189	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 7.0(3) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1190	アップグレード	リリース セット 6.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1191	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシュ 7.1(5) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1192	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 7.1(5) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1193	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1194	アップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1195	アップグレード	MCS 内のディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1196	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストールが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1197	アップグレード	C シリーズ上にインストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に対するライセンスの適用	ライセンス アップロードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1198	アップグレード	C シリーズのディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified CM の 100% 復元が成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1199	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1200	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1201	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1202	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリイバの ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
- ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。



- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-11 Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

The screenshot shows the Cisco Unified Communications Manager Administration interface. The main content area is titled 'ソフトウェアパッケージ (Software Packages)'. It displays the following information:

**パーティションのバージョン (Partition Versions)**

アクティブなバージョン (Active Version)	7.1.5.32900-2
アクティブでないバージョン (Inactive Version)	6.1.3.3219-1

**インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)**

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Active
dp-ffr-2-1-8-JP.cop	Active
dp-ffr-3-1-9-JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop	Inactive
dp-ffr-2-1-8-JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。

- ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

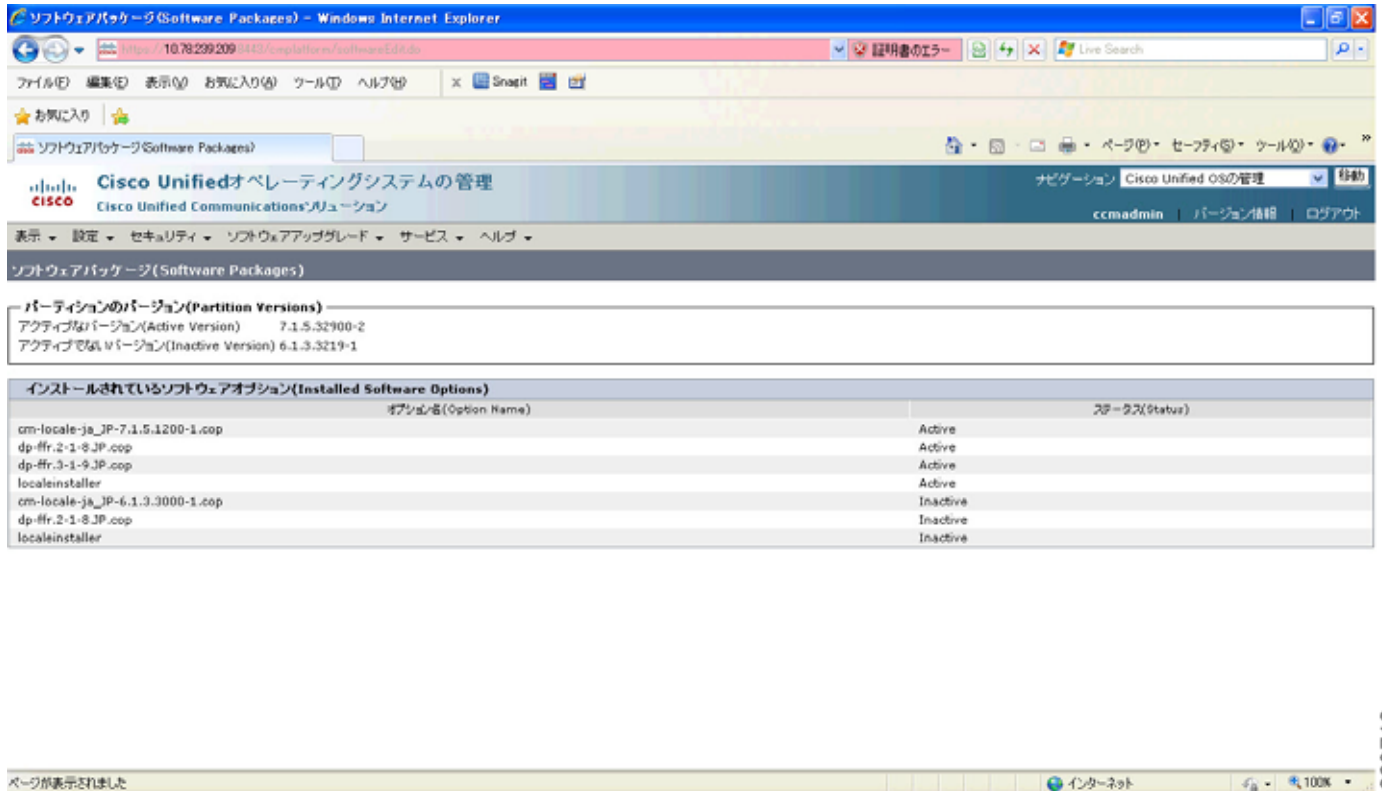
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-12 Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

**テスト手順**

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

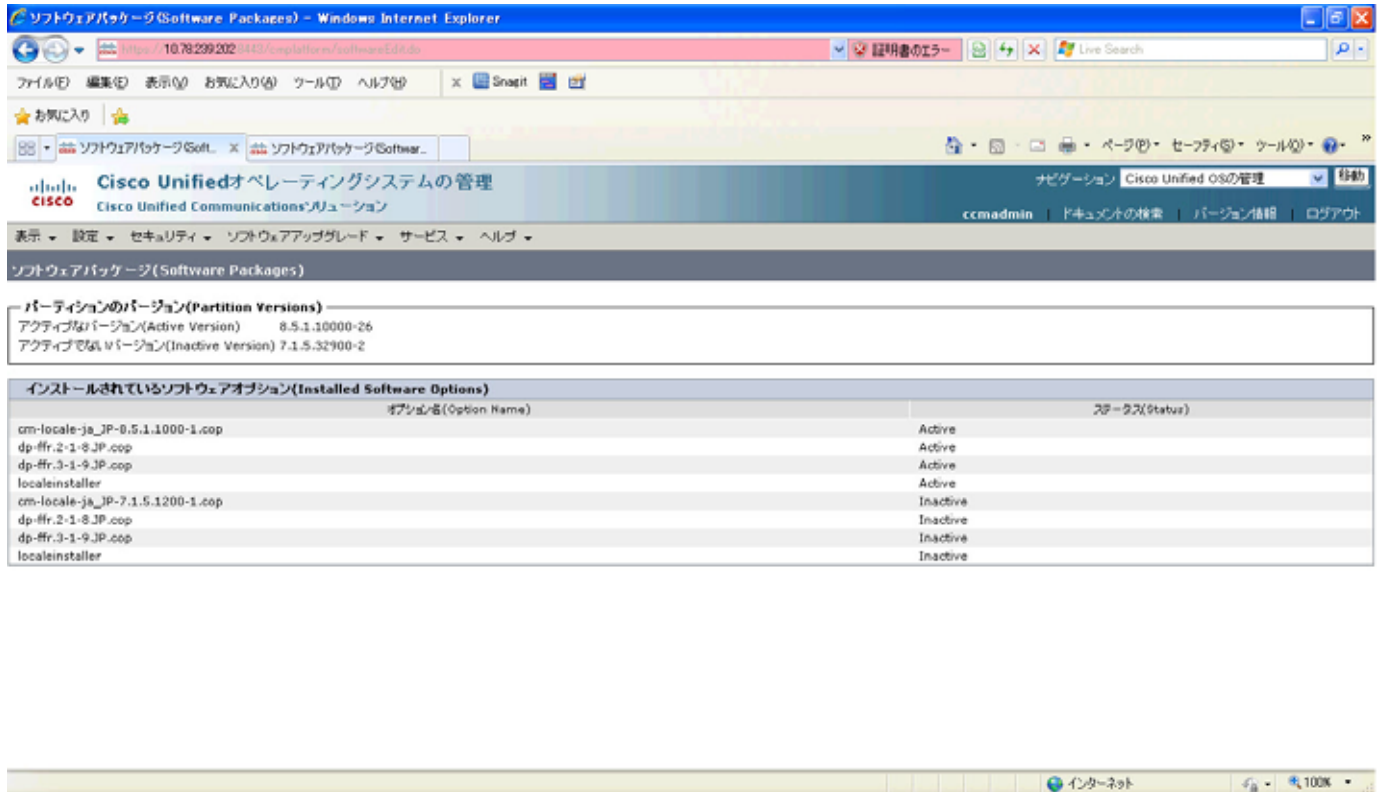
**想定される結果**

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレードプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- アップグレードログファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレードログファイルを確認してください。
- バブリッシュャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンスユニットレポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルートパターンとルートリストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステムバージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-13 Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。

**ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-14 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

The screenshot shows the Cisco Unified Communications Manager Software Packages page. The 'Partition Versions' section lists the active version as 8.5.1.10000-26 and the inactive version as 7.1.5.32900-2. The 'Installed Software Options' table is as follows:

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Active
dp-#fr-2-1-8-JP.cop	Active
dp-#fr-3-1-9-JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Inactive
dp-#fr-2-1-8-JP.cop	Inactive
dp-#fr-3-1-9-JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があります、正しく機能する必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。



- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) への正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ**

**テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

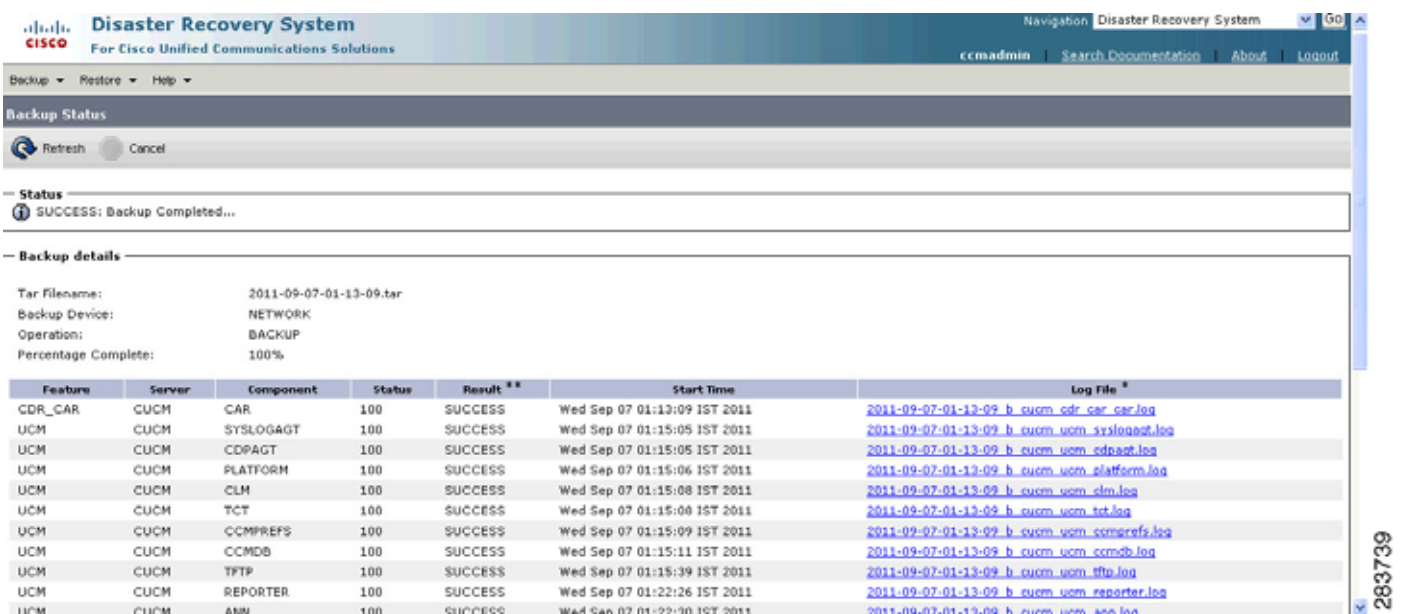
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3** [Backup] -> [Manual Backup] に進みます。
- ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。

**想定される結果：**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

**出力/監視結果**

図 3-15 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



## 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが UCS サーバに正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

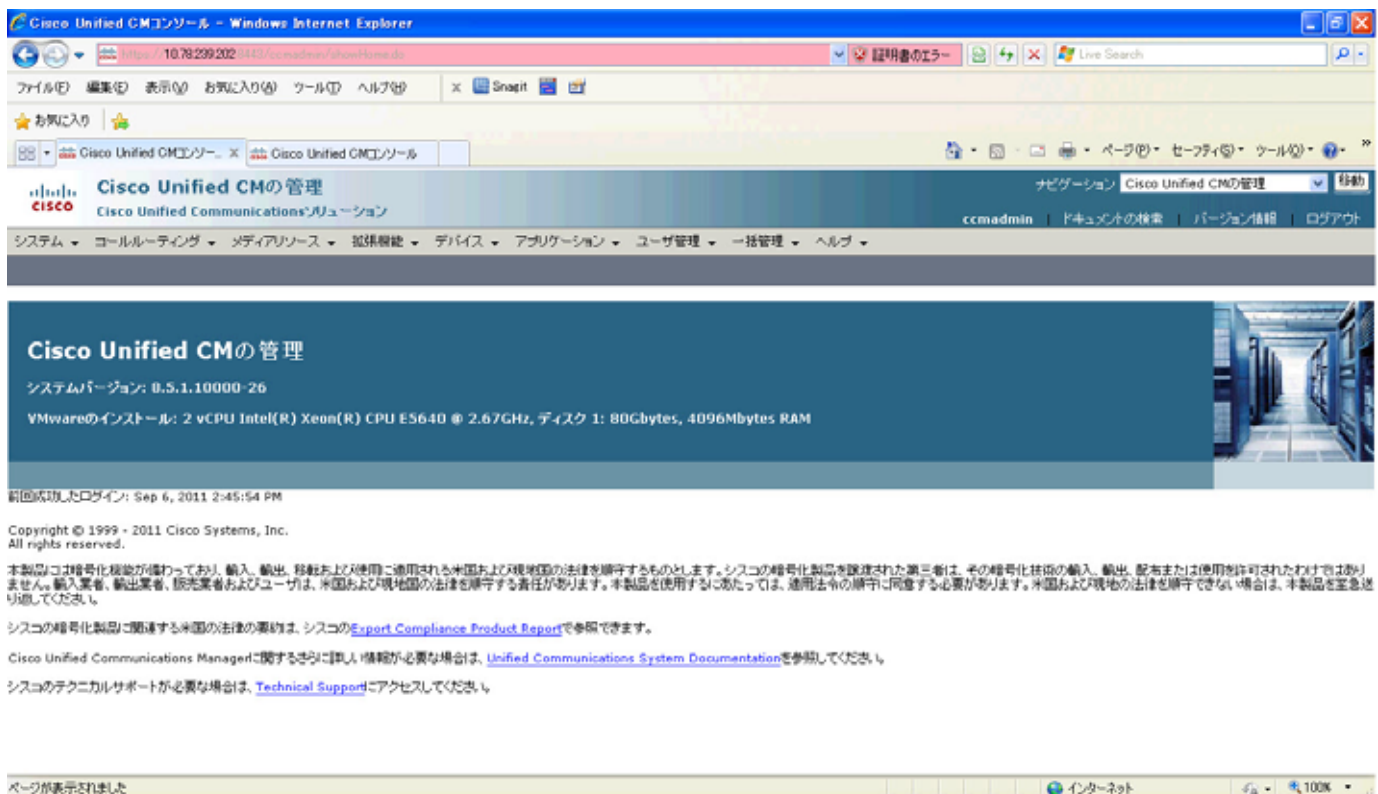
### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-16 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

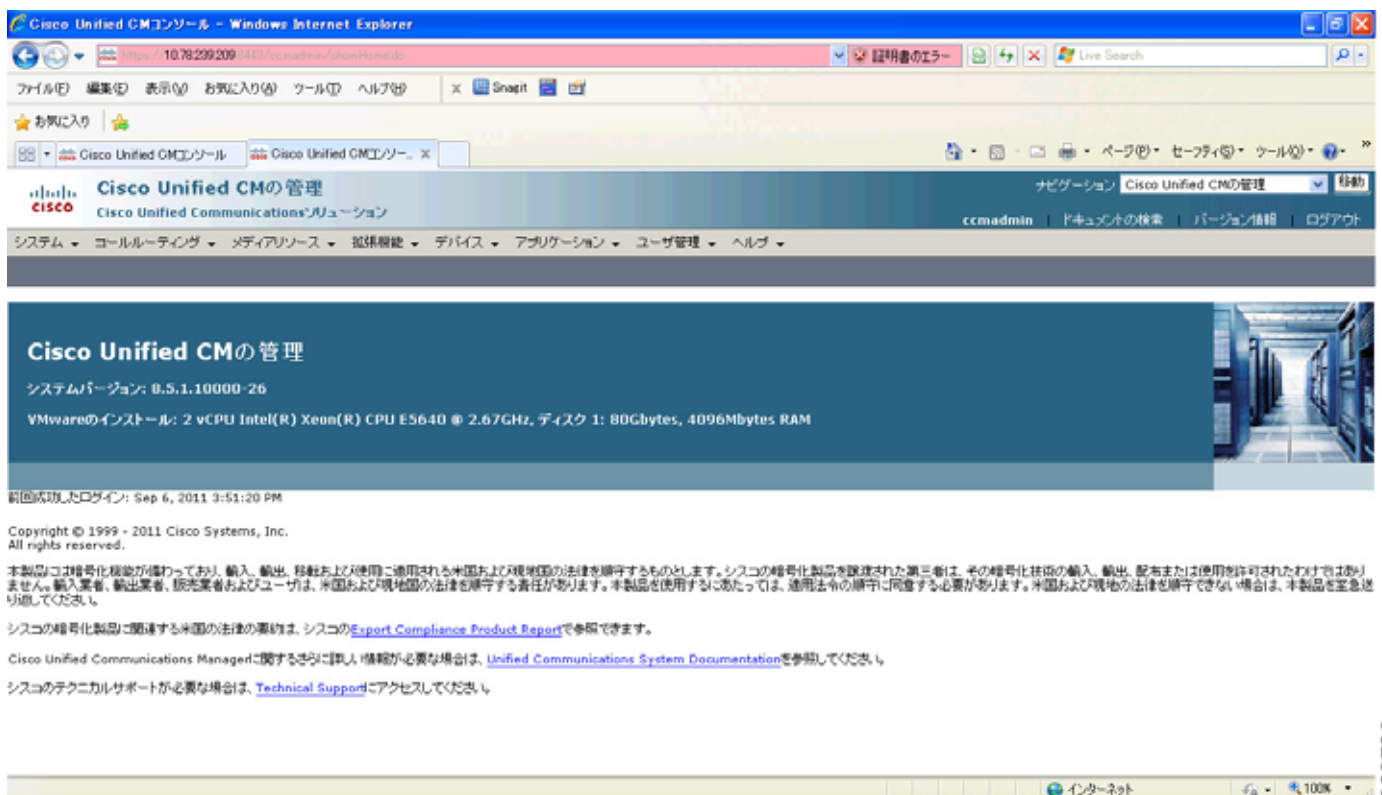
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-17 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



**結果**

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

**MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

**テスト手順**

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
  - ステップ 4** [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
  - ステップ 5** [Next] および [Restore] をクリックします。
  - ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。
- 

**想定される結果**

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンのが、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

### 出力/監視結果

図 3-18 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

The screenshot shows the 'Restore Status' page in the Cisco Disaster Recovery System. The status is 'SUCCESS: Restore Completed...'. A red message indicates that a restart is required for the successfully restored server(s) [CUCM1, CUCM]. The 'Restore details' section includes the following information:

Feature	Server	Component	Status	Result **	Start Time	Log File *
CDR_CAR	CUCM	CAR	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:40:18 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_cdr_car_car.log
UCM	CUCM	SYSLOGAGT	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:43:49 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_syslogagt.log
UCM	CUCM	CDPAGT	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:43:50 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_cdpagt.log
UCM	CUCM	PLATFORM	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:46:13 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_platform.log
UCM	CUCM	CLM	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:46:17 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_clm.log
UCM	CUCM	TCT	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:46:18 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_tct.log
UCM	CUCM	CCMPREFS	100	SUCCESS	Tue Sep 06 13:48:02 IST 2011	2011-09-06-13-40-09_r_cucm_ucm_ccmprefs.log

### 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4** サーバを再起動します。
- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。

- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

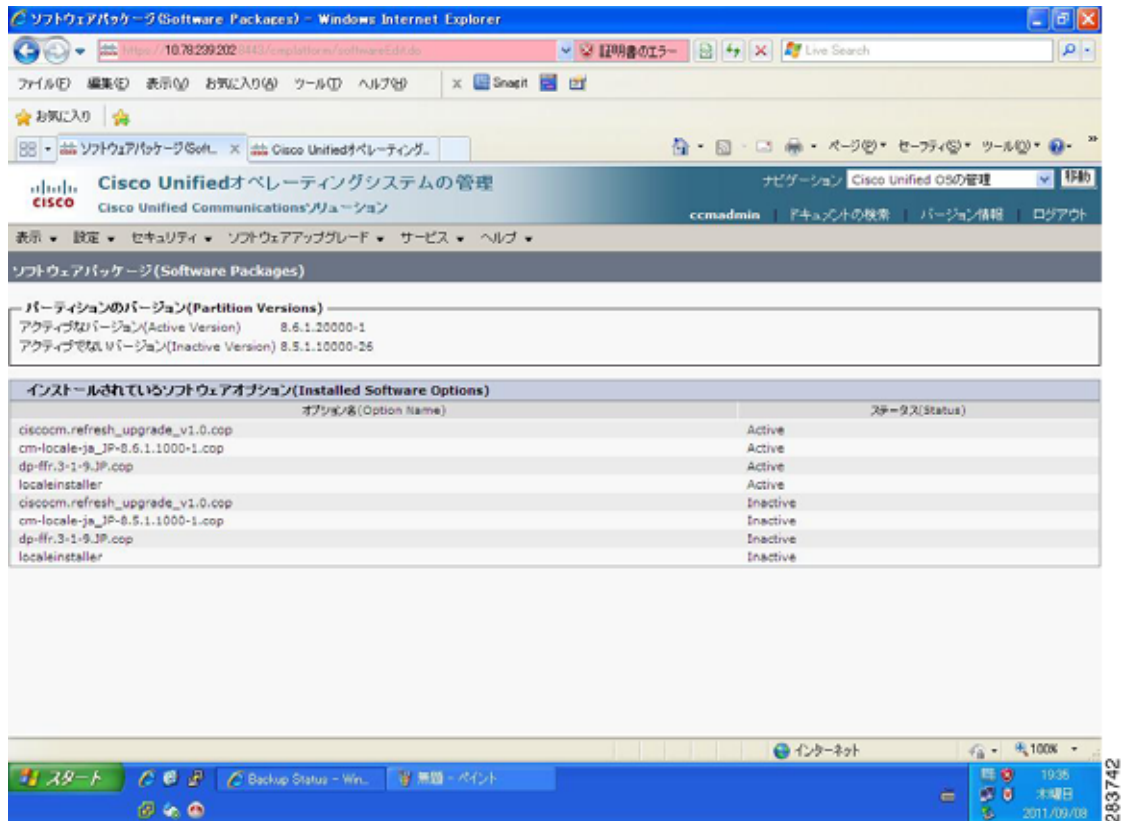
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-19 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。

- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

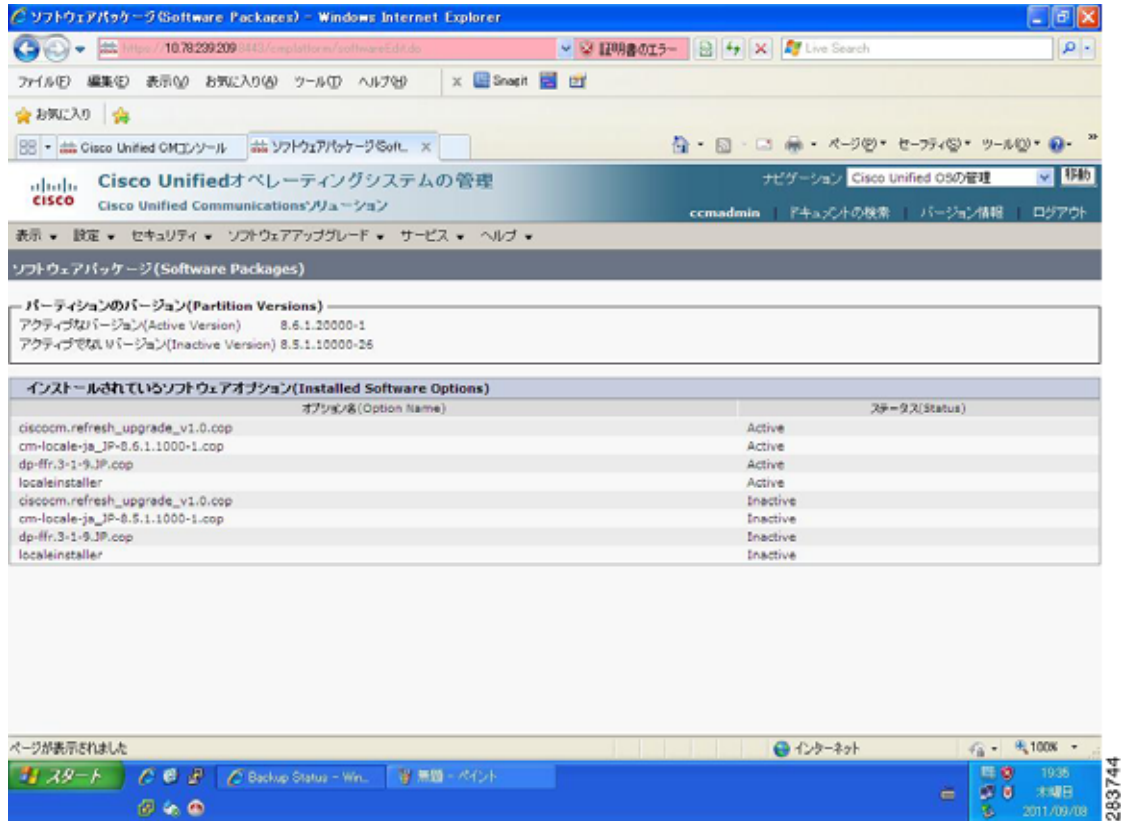
Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-20 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

## 6.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 6.1(5) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	ES - アップグレード元リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	6.1.5.14042-2	8.5.1-10000-26	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.0(1)	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.2-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1203	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリシヤ 6.1(5) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(5) (Engineering Special) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1204	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 6.1(5) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(5) (Engineering Special) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1205	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1206	アップグレード	リリース セット 6.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1207	アップグレード	MCS 内のディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが正常に完了することを確認します		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コ ンポーネン ト フロー	ステー タス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1208	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストールが 成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1209	アップグレード	C シリーズ上に インストールさ れた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に対するライセ ンスの適用	ライセンス アップロードが正常 に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1210	アップグレード	C シリーズの ディザスタリカ バリ システムを 使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に 完了することを確認します		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1211	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リッシュ 8.5(1) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へ のアップグレードが正常に完了す ることを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1212	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 8.5(1) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へ のアップグレードが正常に完了す ることを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1213	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレー ドが正常に完了することを確認し ます。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1214	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に完了することを確認 します。		合格	

## テストケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリイバの ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
  - ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 5** [Next] をクリックします。
  - ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリイバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。

- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-21 Unified Communications Manager パブリッシャの ES 6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

パーティションのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version) 8.5.1.10000-26  
 アクティブでないバージョン (Inactive Version) 6.1.5.14042-2

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)	オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop		Active
dp-ffr-2-1-8 JP.cop		Active
dp-ffr-3-1-9 JP.cop		Active
localeinstaller		Active
cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop		Inactive
dp-ffr-2-1-8 JP.cop		Inactive
localeinstaller		Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペンドライブを挿入します。

- ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

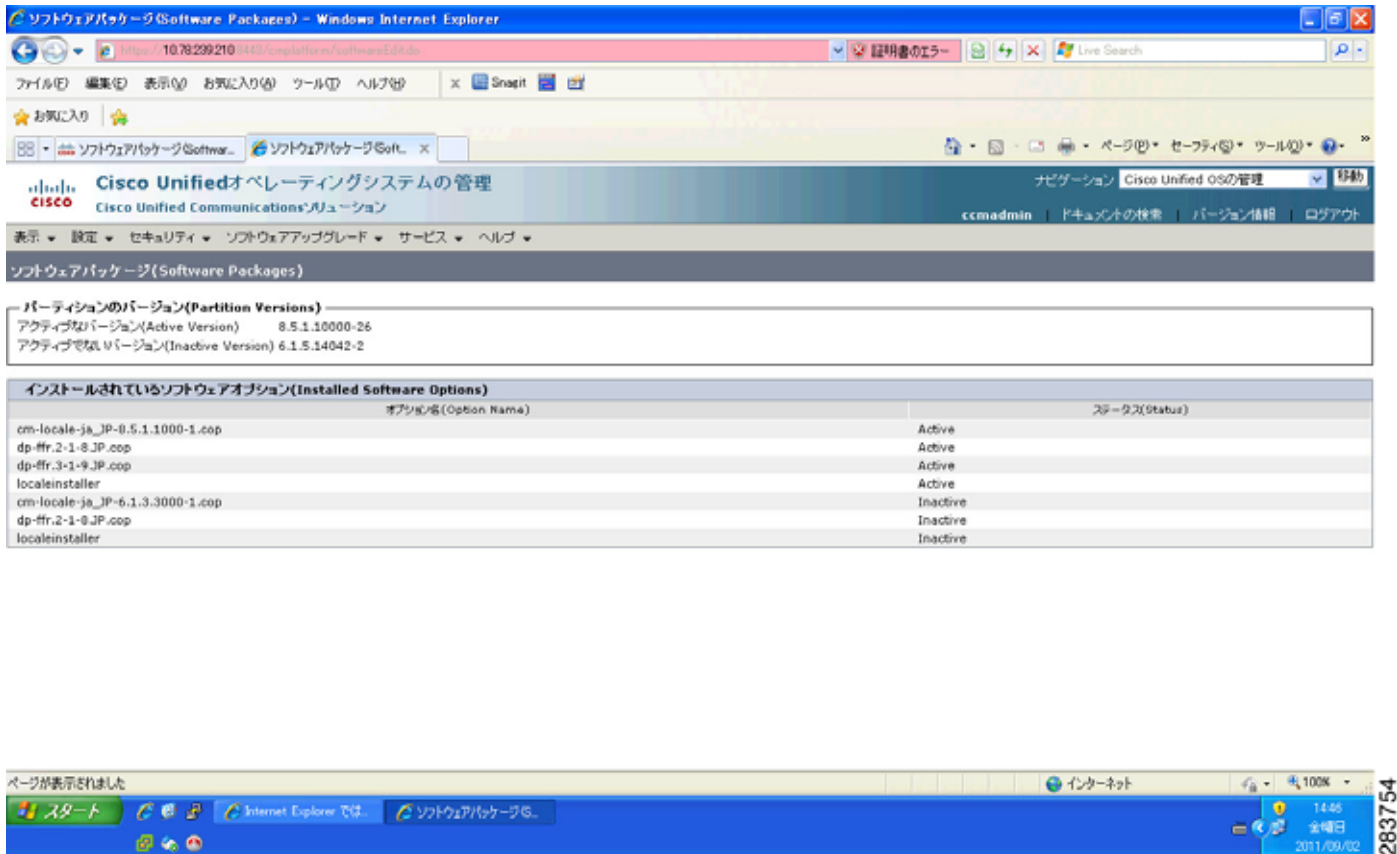
Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-22 Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の ES-6.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

#### テスト手順

- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。

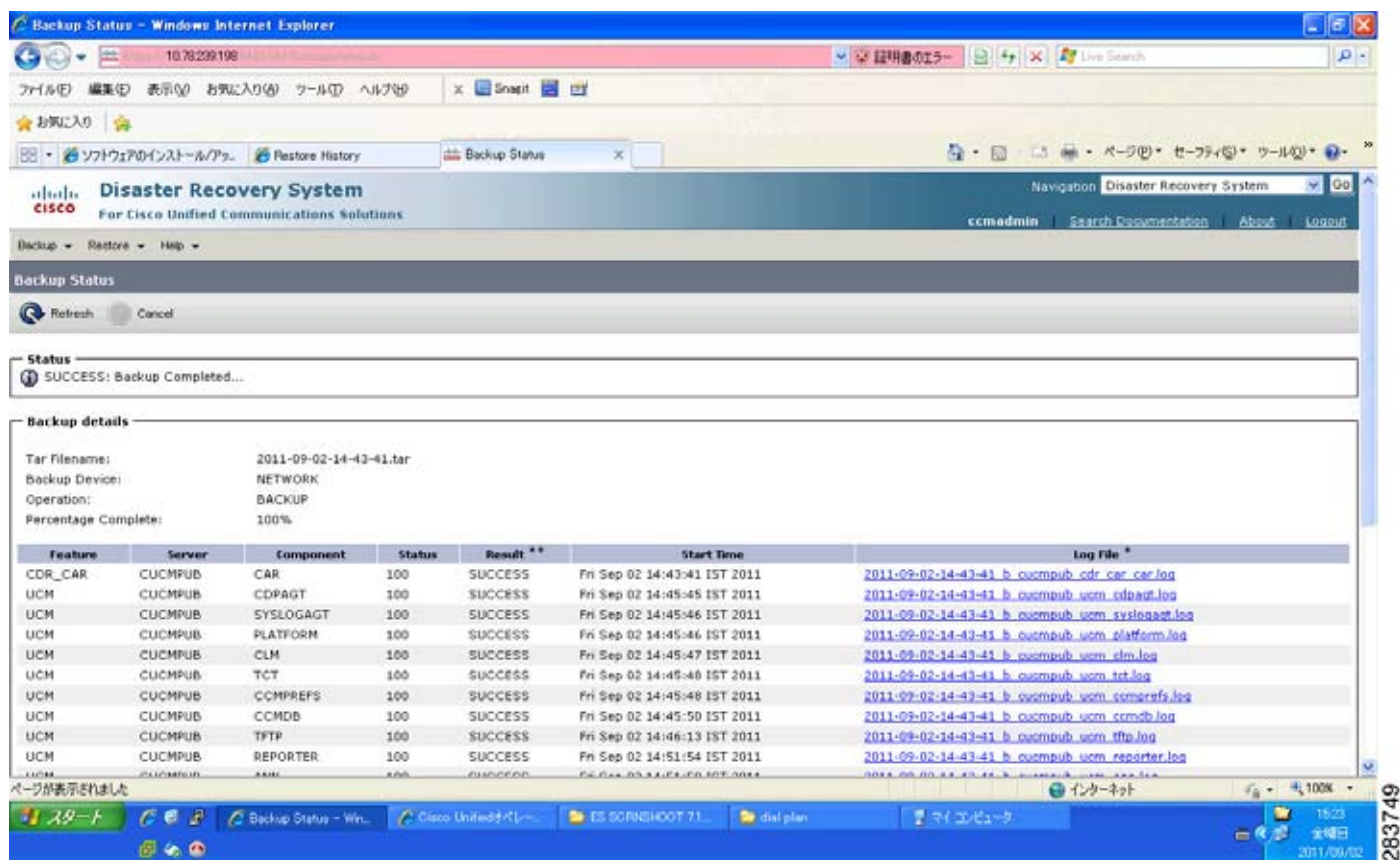
### ステップ 5 バックアップ ステータスを確認します。

#### 想定される結果：

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

#### 出力/監視結果

図 3-23 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



#### 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが UCS サーバに正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

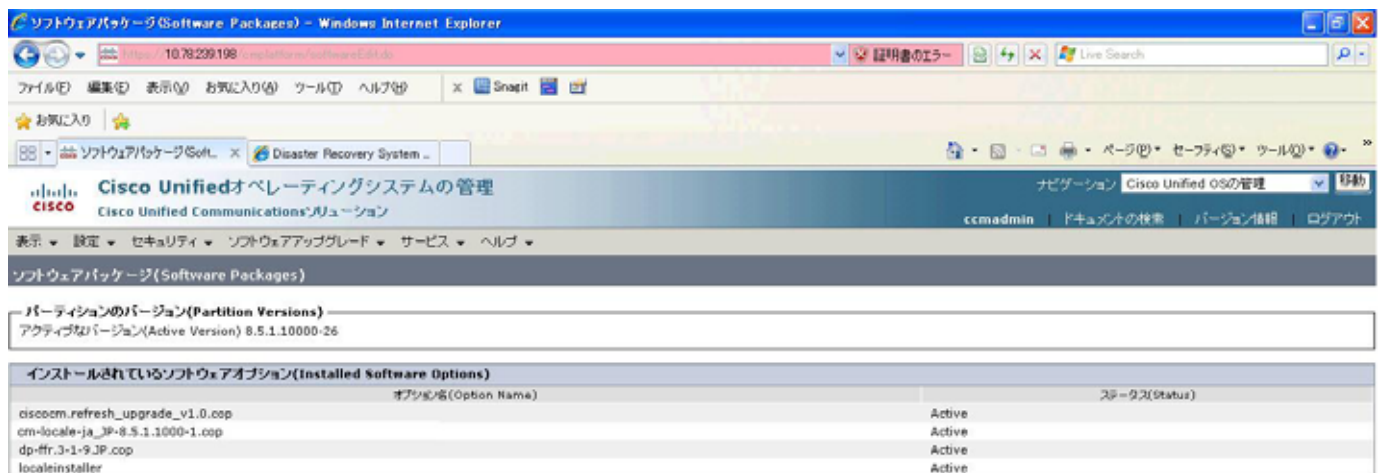
### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- ・ インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-24 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

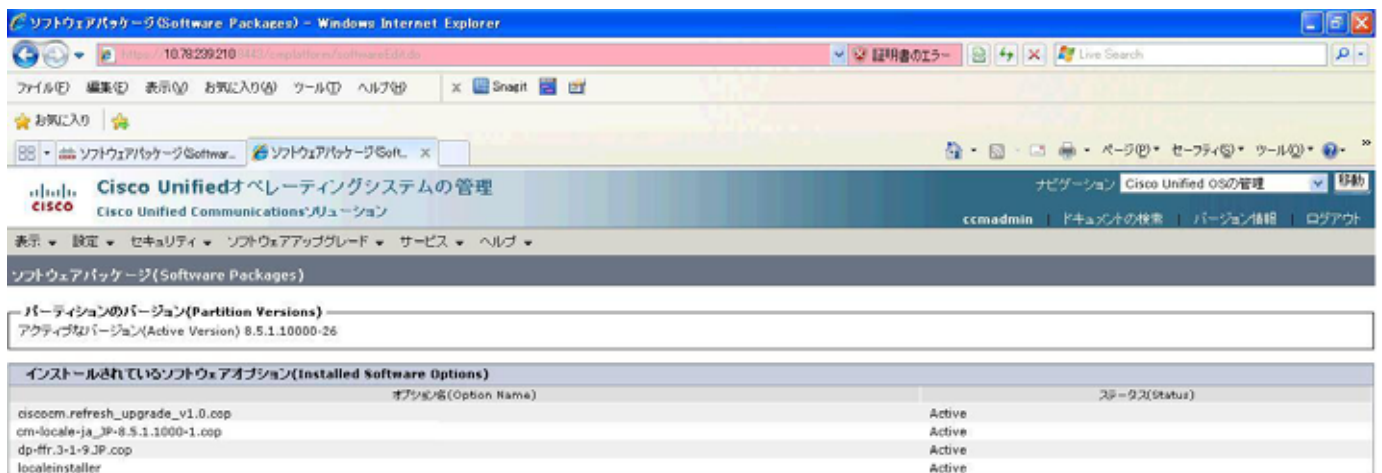
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあつてはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-25 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
  - ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
  - ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。
  - ステップ 6 サーバを再起動し、変更を有効にします。
- 

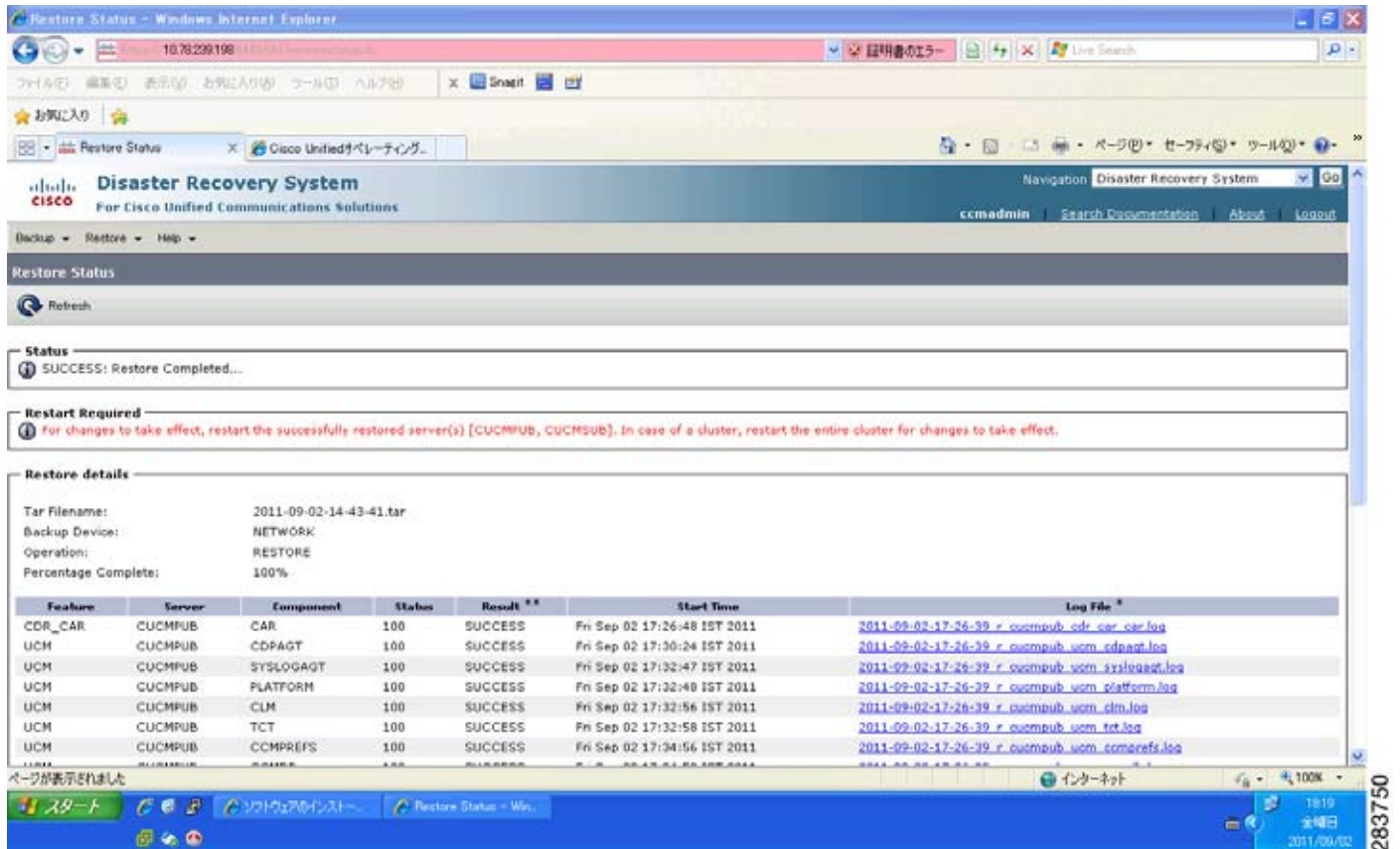
### 想定される結果

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼働している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼働している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-26 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。

- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

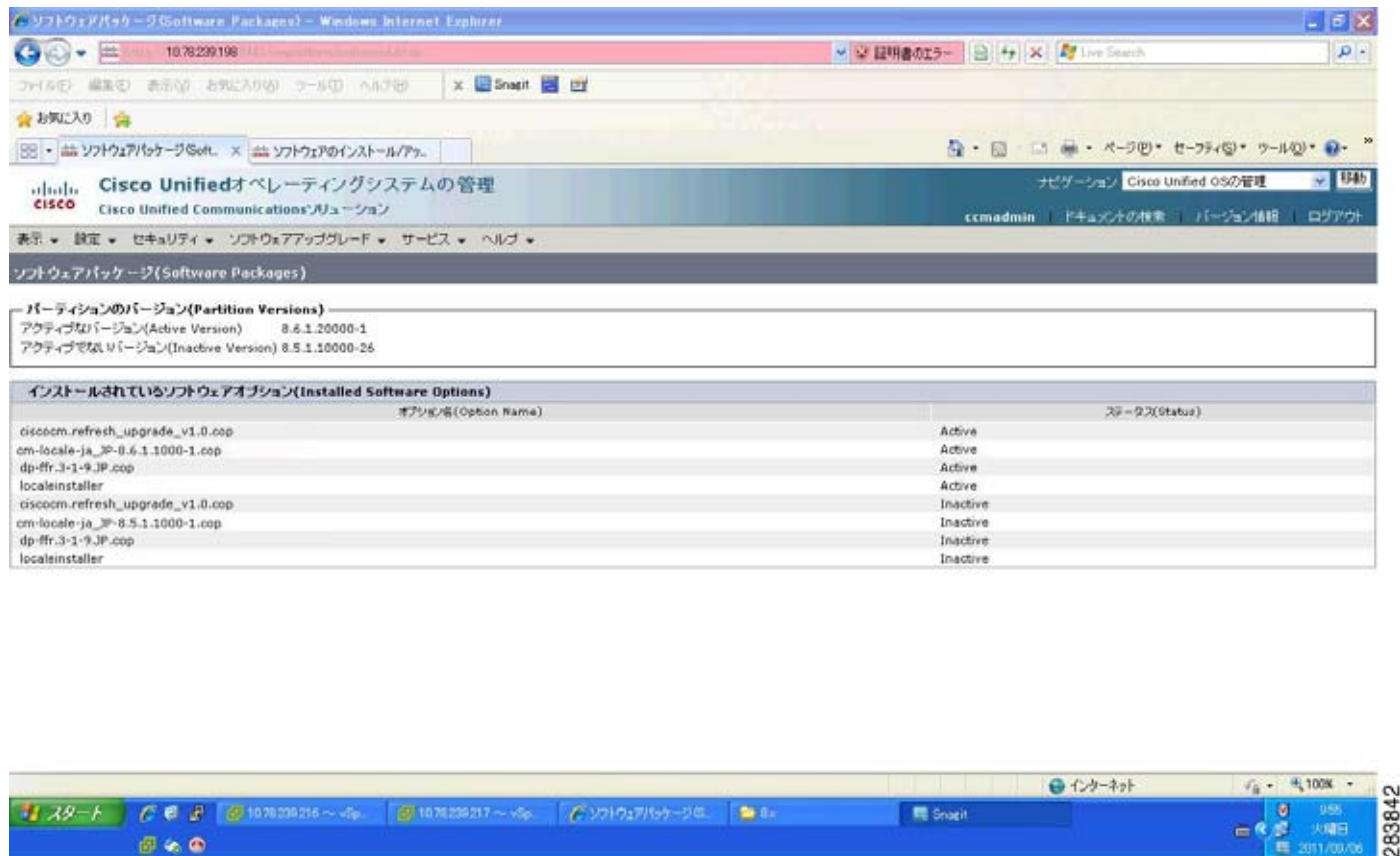
Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-27 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

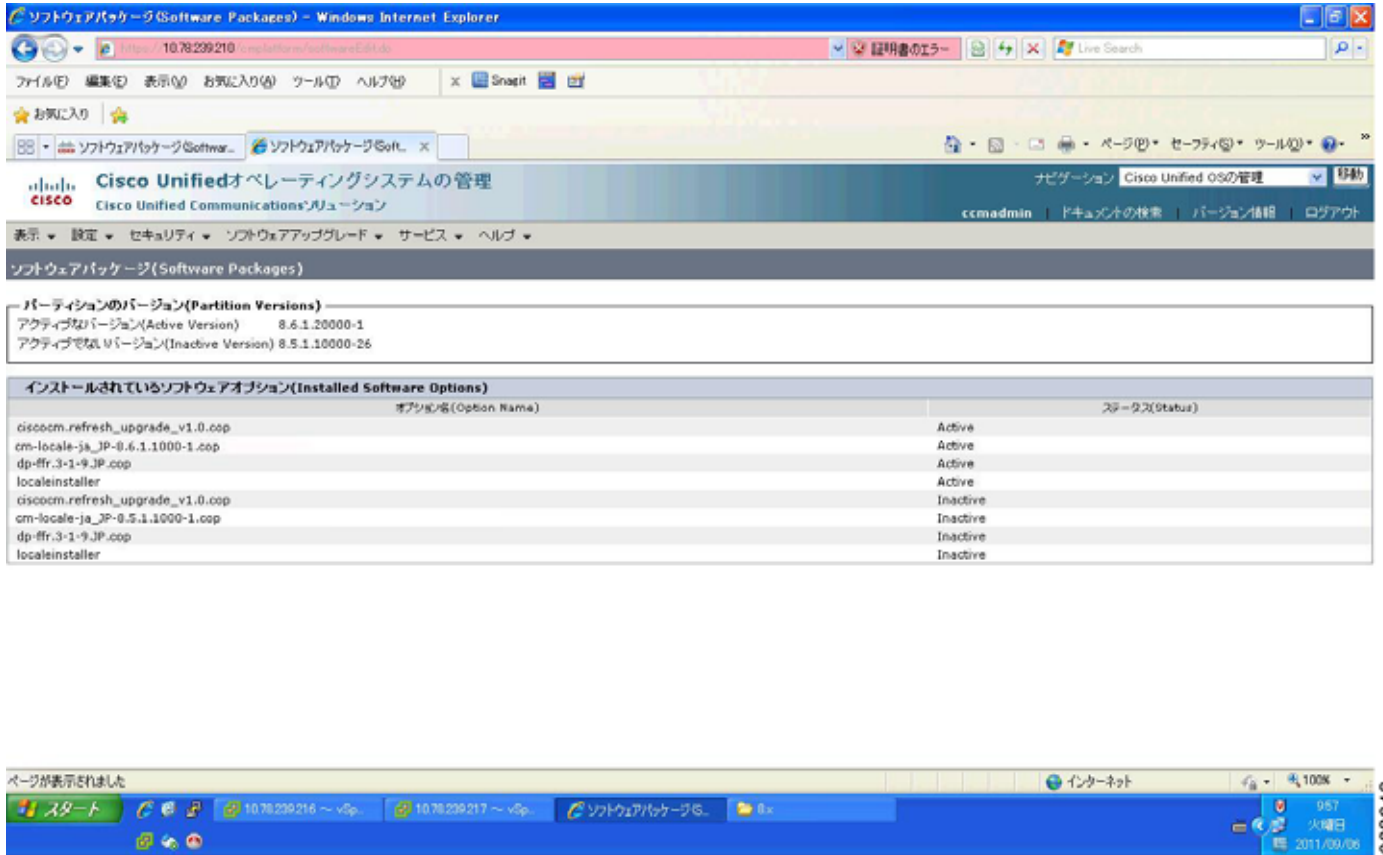
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

出力/監視結果

図 3-28 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

### 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

### 結果

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

### 想定される結果

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

## 7.1(3) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 7.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	ES - アップグレード元リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	7.1.3.33042-1	8.5.1-10000-26	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-7.1.3.2000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	7.0(3)	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤルプラン	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1215	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(3) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) (Engineering Special) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1216	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(3) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) (Engineering Special) から 8.5(1) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1217	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1218	アップグレード	リリース セット 7.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1219	アップグレード	MCS 内のディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コ ンポーネン ト フロー	ステー タス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1220	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール が成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1221	アップグレード	C シリーズ上に インストールさ れた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に対するライセ ンスの適用	ライセンス アップロードが正常 に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1222	アップグレード	C シリーズの ディザスタリカ バリ システムを 使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に 完了することを確認します		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1223	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッ シャ 8.5(1) のアッ プグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完 了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1224	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスク ライバ 8.5(1) の アップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完 了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1225	アップグレード	Cisco IP Communicator の アップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1226	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に完了すること を確認します。		合格	

## テストケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリイバの ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) のインストール
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- |               |  |
|---------------|--|
| <b>ステップ 1</b> | Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。                                     |
| <b>ステップ 2</b> | [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。  |
| <b>ステップ 3</b> | FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。   |
| <b>ステップ 4</b> | アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。 |
| <b>ステップ 5</b> | [Next] をクリックします。   |
| <b>ステップ 6</b> | ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。   |
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

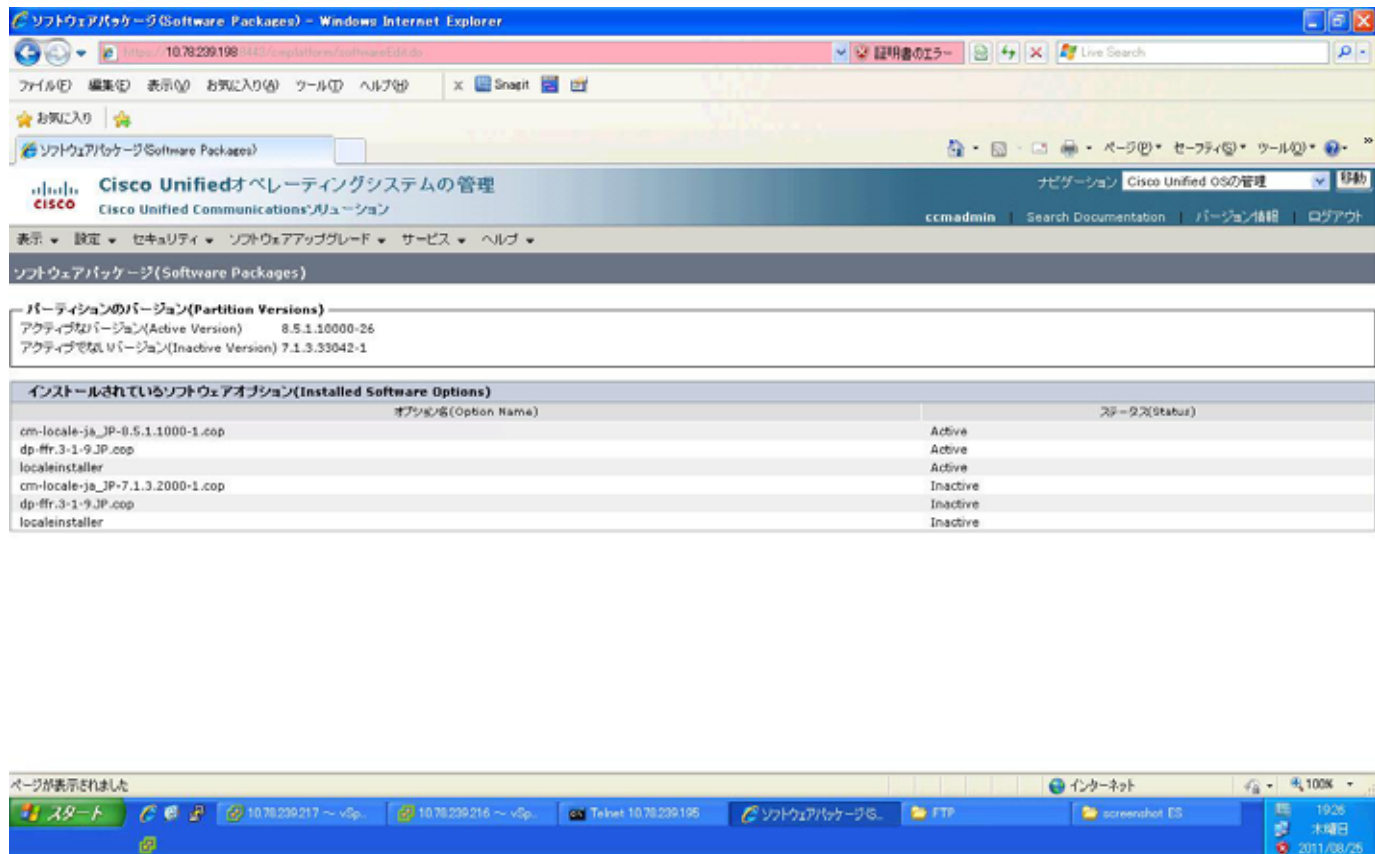
- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリイバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。

- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-29 Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。

- ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。
- ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

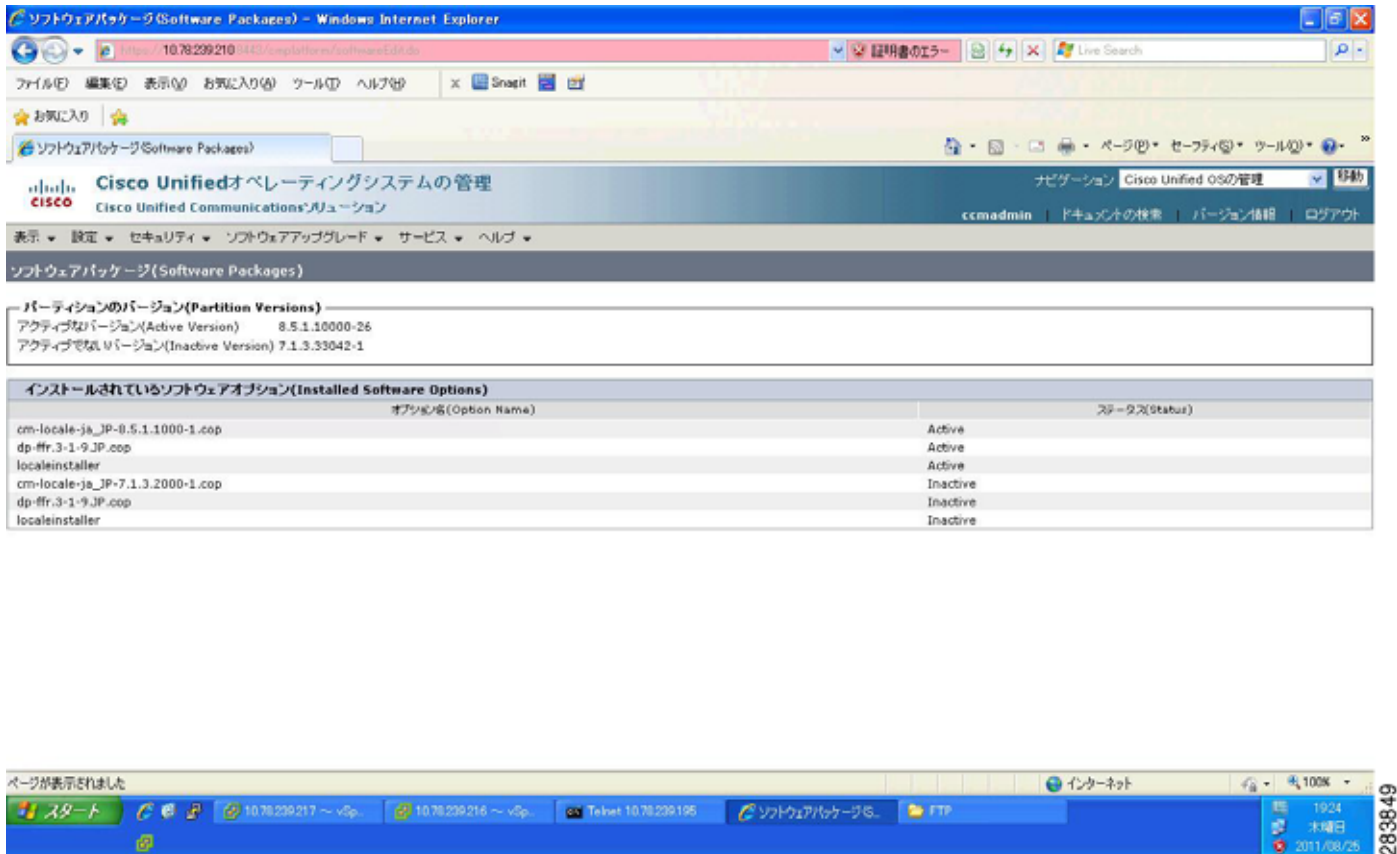
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-30 Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 7.0(3) のインストール

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のインストールが成功するかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator 7.0(3) のインストール」のテストに成功しました。

### MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

#### テスト手順

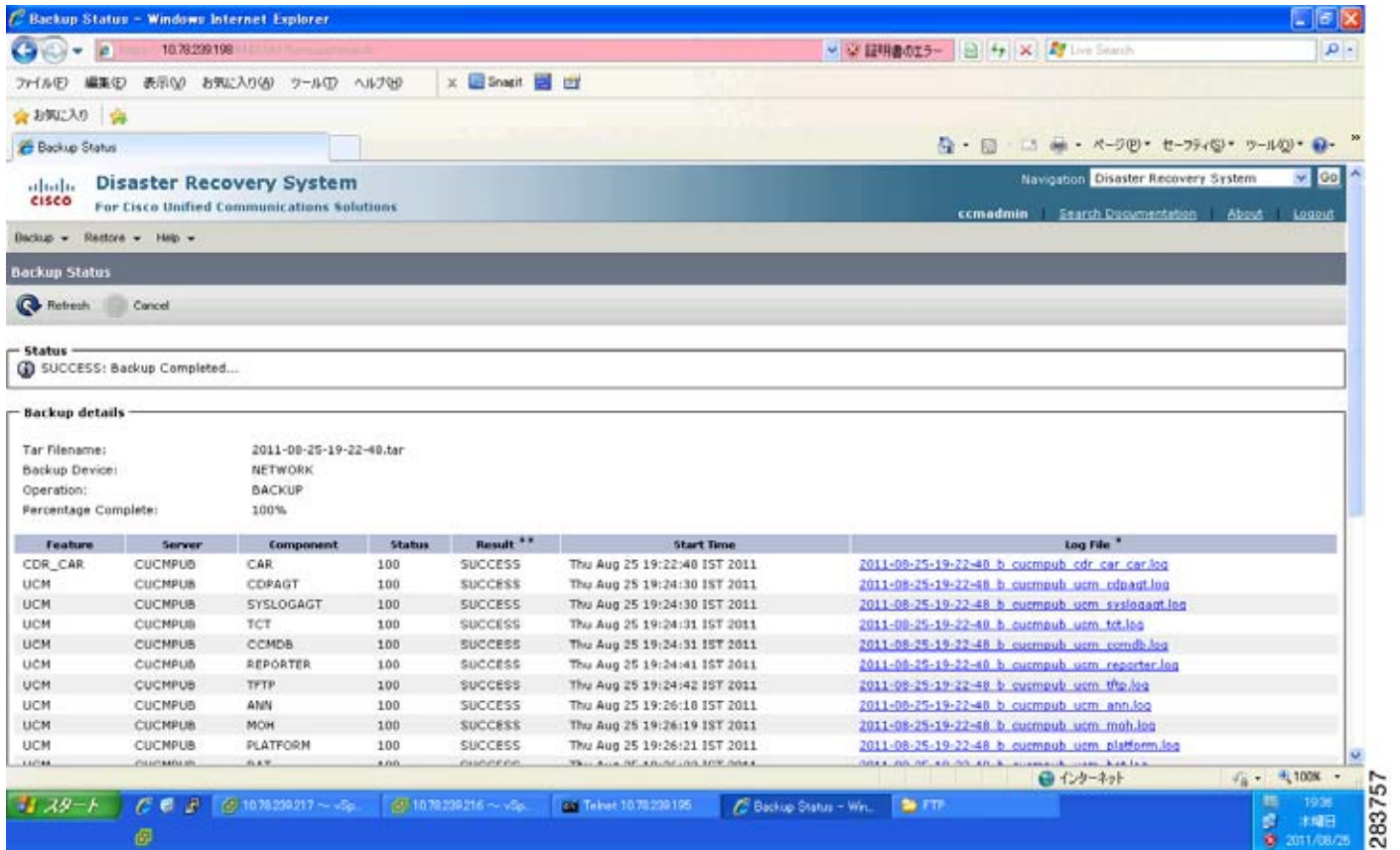
- 
- ステップ 1 MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3 [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4 バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5 バックアップ ステータスを確認します。
-

**想定される結果：**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

**出力/監視結果**

図 3-31 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



**結果**

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが UCS サーバに正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

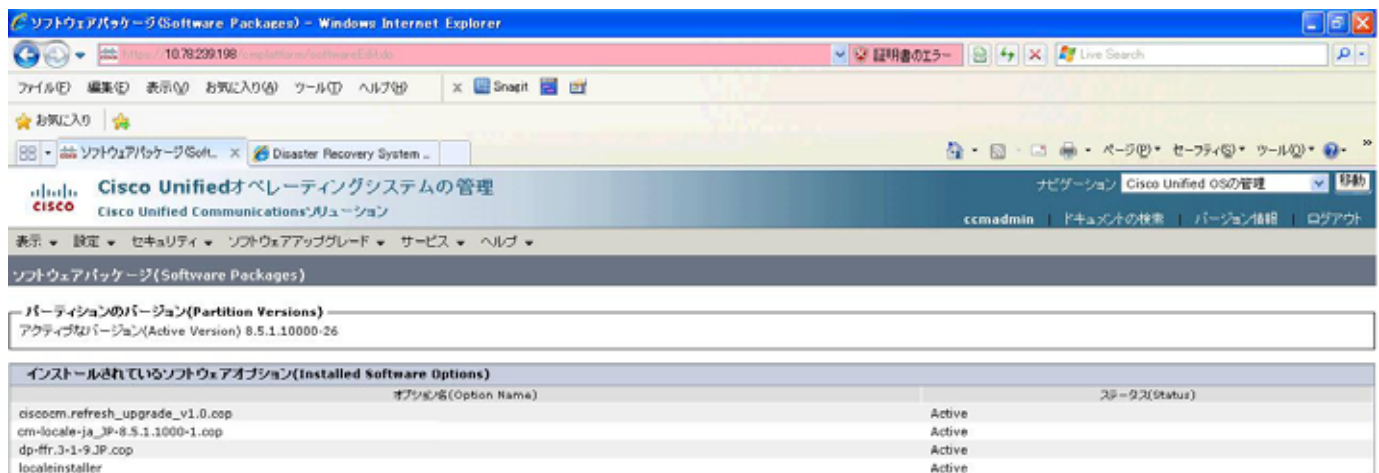
### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- ・ インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-32 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

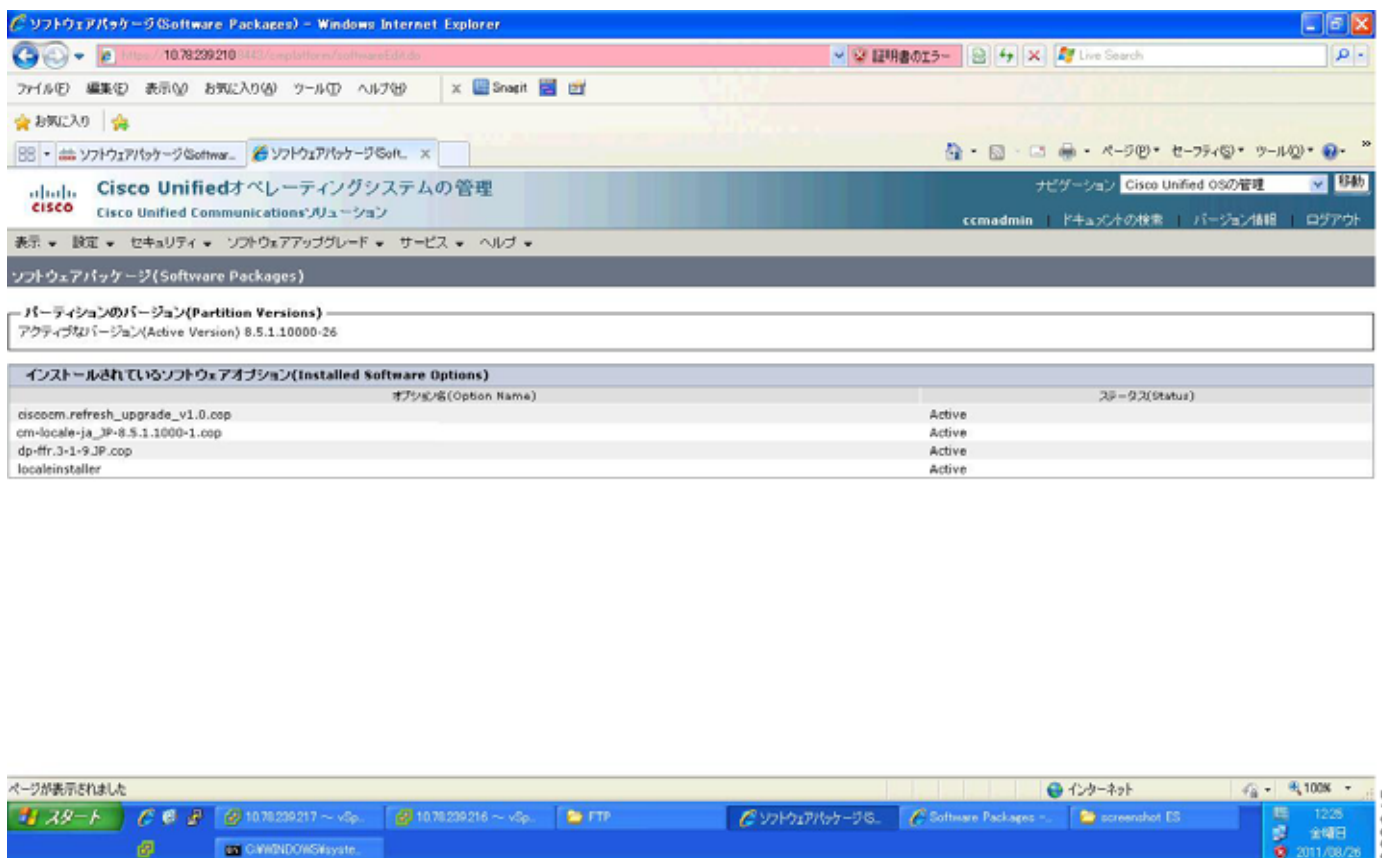
## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあつてはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-33 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3** [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4** [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5** [Next] および [Restore] をクリックします。
- ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。
- 

### 想定される結果

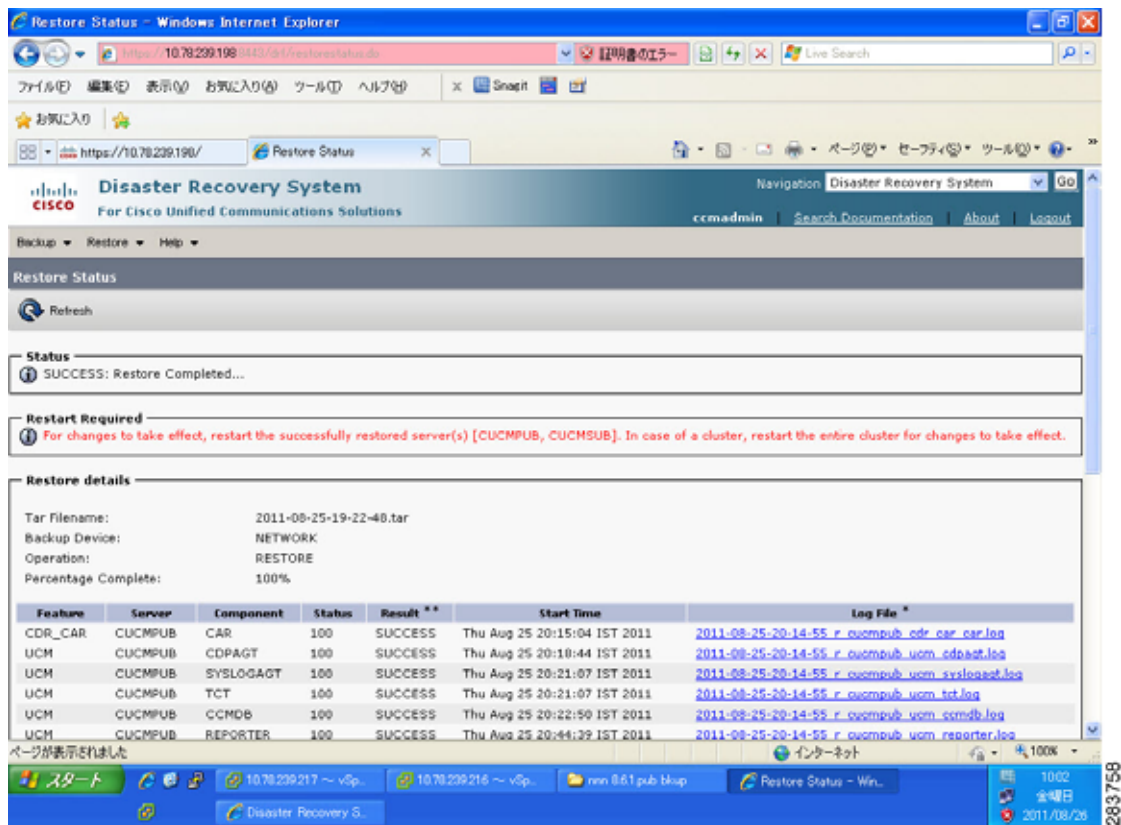
Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼働している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼働している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-34 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。

- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-35 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

パーティションのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version)	8.6.1.20000-1
アクティブでないバージョン (Inactive Version)	8.5.1.10000-26

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cisco.com.refresh_upgrade_v1.0.cop	Active
cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop	Active
dp-ffr-3-1-9_JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cisco.com.refresh_upgrade_v1.0.cop	Inactive
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Inactive
dp-ffr-3-1-9_JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-36 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages) - Windows Internet Explorer

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

パーティションのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version) 8.6.1.20000-1  
 アクティブでないバージョン (Inactive Version) 8.5.1.10000-26

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
ciscoem.refresh_upgrade_v1.0.cop	Active
cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop	Active
dp-efr-3-1-9_JP.cop	Active
localeinstaller	Active
ciscoem.refresh_upgrade_v1.0.cop	Inactive
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Inactive
dp-efr-3-1-9_JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

**7.1(5) → 8.6(1a) へのアップグレード****7.1(5) をアップグレードする場合の環境マトリクス**

製品/コンポーネント	ES - アップグレード元リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	7.1.5.34054-1	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1227	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) (Engineering Special) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1228	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 7.1(5) (Engineering Special) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) (Engineering Special) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1229	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリースセット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1230	アップグレード	リリースセット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリースセット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1231	アップグレード	MCS 内のディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1232	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストールが成功することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1234	アップグレード	C シリーズ上にインストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) に対するライセンスの適用	ライセンス アップロードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1235	アップグレード	C シリーズのディザスタリカバリシステムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に完了することを確認します		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- Cisco IP Communicator 8.6(1a) の追加

## Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
  - ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 5** [Next] をクリックします。



**ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

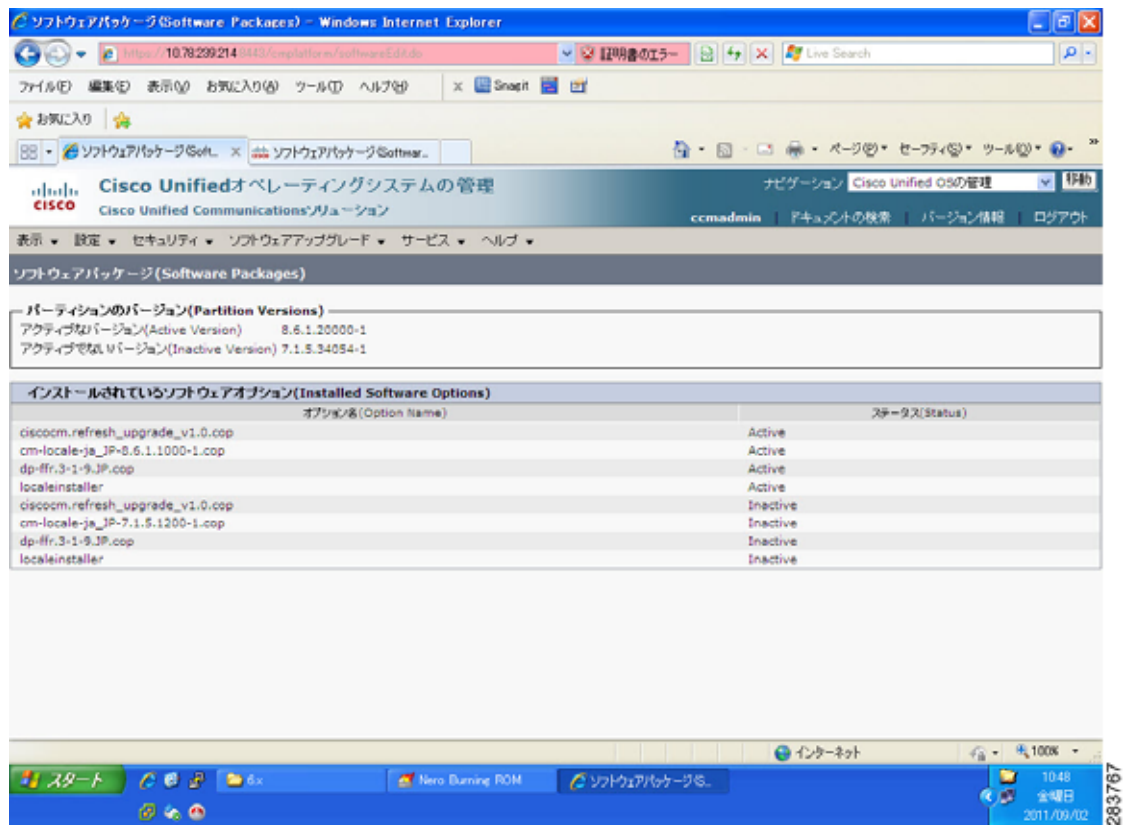
### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-37 Unified Communications Manager パブリッシャの ES 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
- ステップ 4** アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレードイメージの CD/DVD を選択します。

**ステップ 5** [Next] をクリックします。

**ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

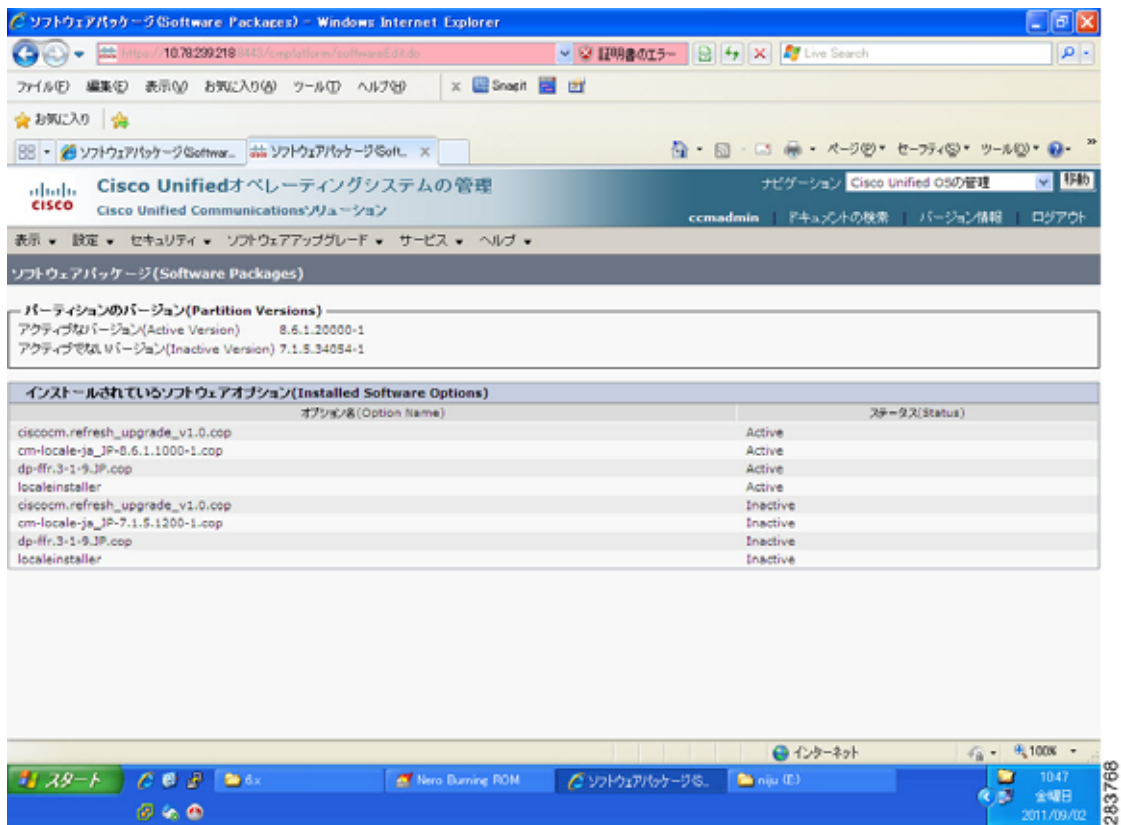
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-38 Unified Communications Manager サブスクリバの ES 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の ES-7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のインストールが成功するかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

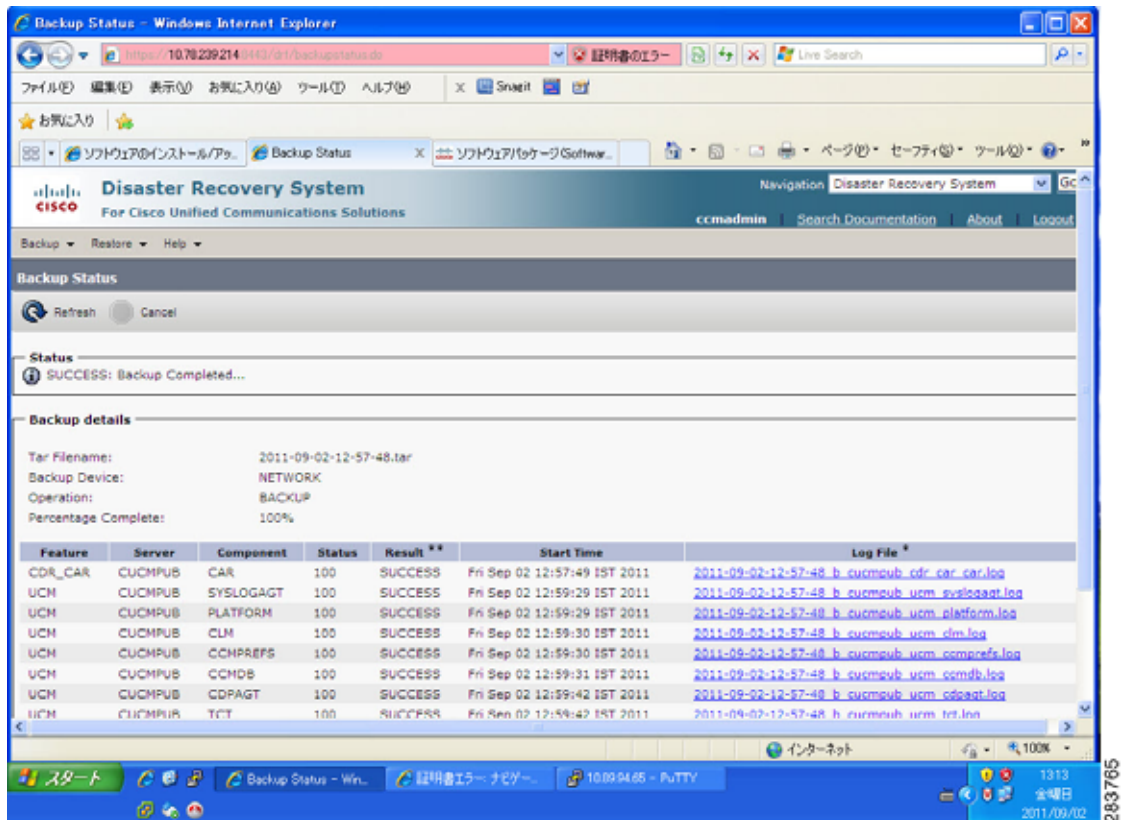
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
-

**想定される結果：**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

**出力/監視結果**

図 3-39 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

**結果**

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

**UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが UCS サーバに正常にインストールされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

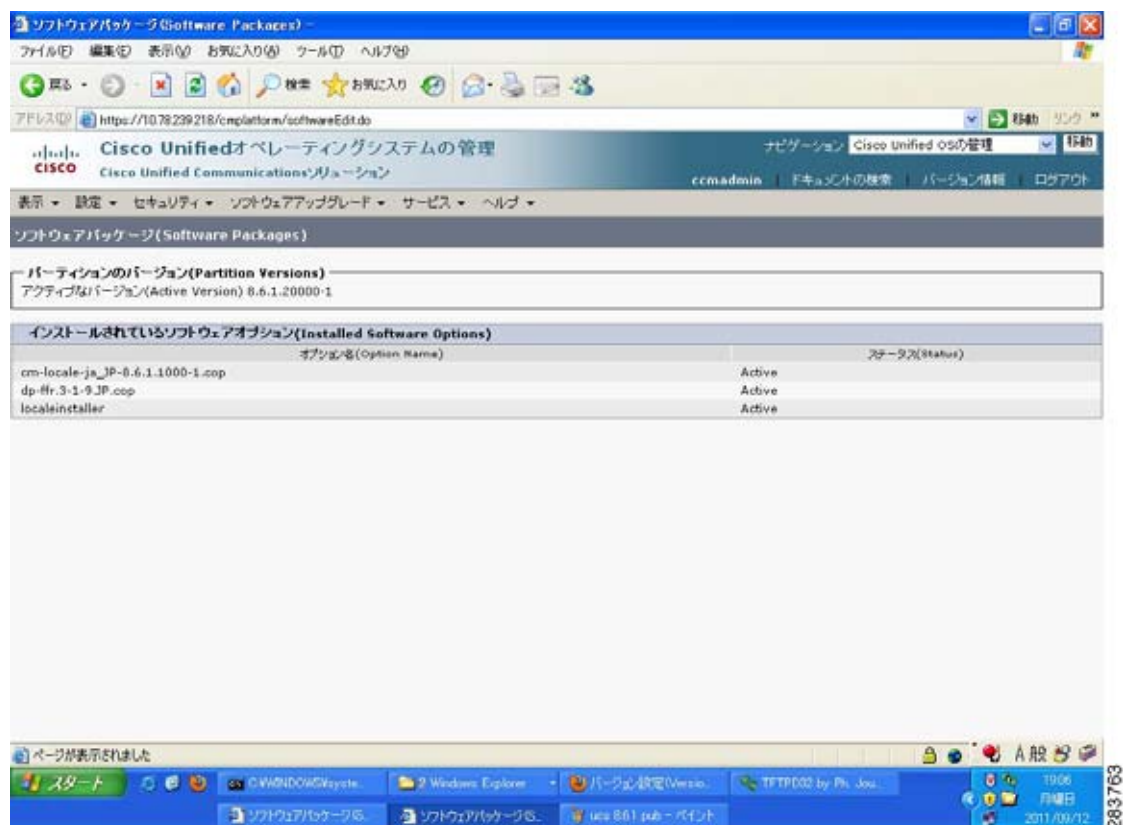
**想定される結果**

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-40 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

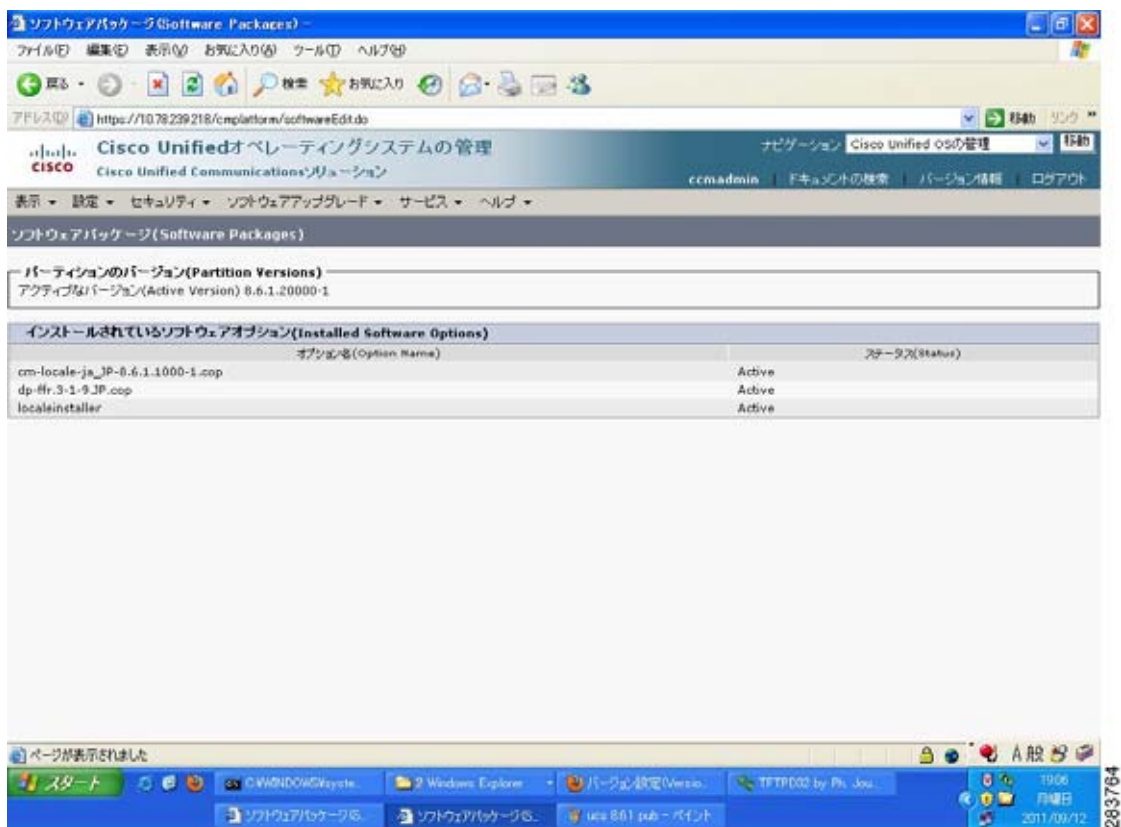
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- ・ インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-41 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。



## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

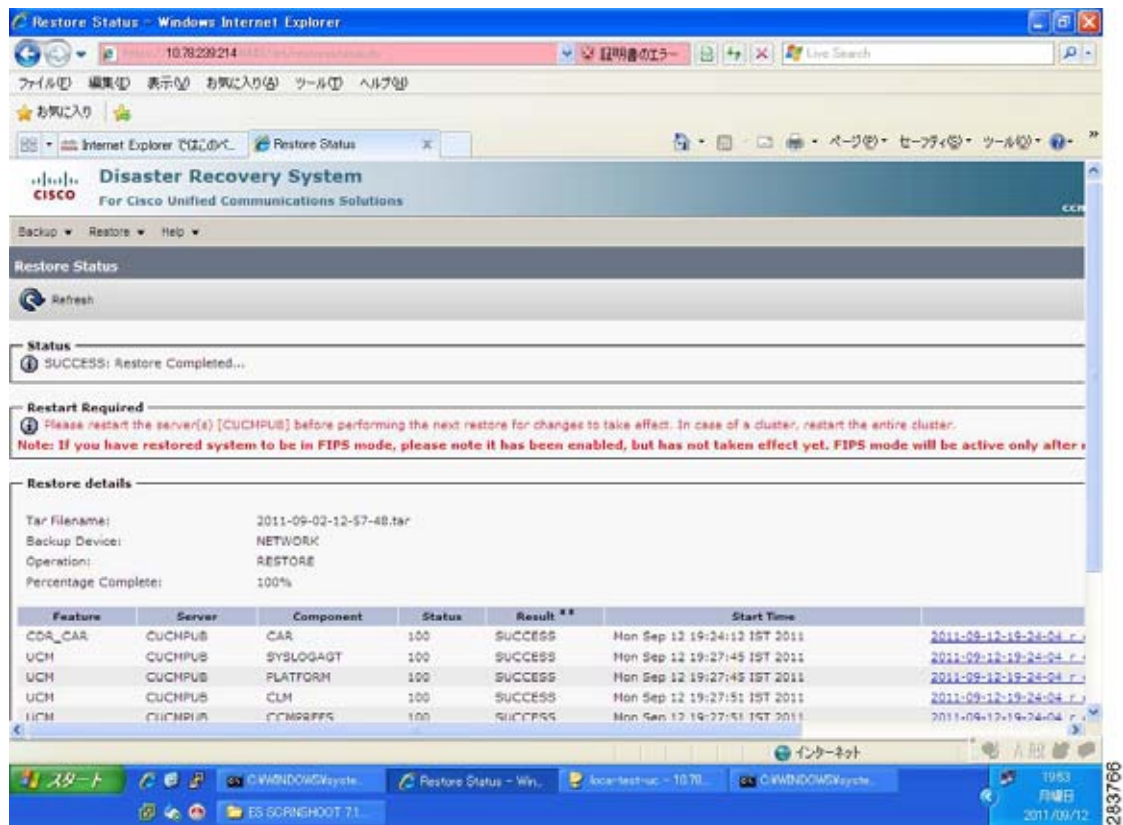
- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
  - ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
  - ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。
  - ステップ 6 サーバを再起動し、変更を有効にします。
- 

### 想定される結果

- Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。
- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-42 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると Unified Communications Manager バージョン 8.6(1a) に正常に登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。

- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator の追加」のテストに成功しました。

## Service Update - リリース セット

ここでは、次の内容について説明します。

- 4.1(3) → 7.1(3) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード
- 5.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード
- 6.1(3) → 7.1(5) → 8.6(1a) へのアップグレード
- 6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- 7.1(3) から 8.6(1a) へのアップグレード
- 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## 4.1(3) → 7.1(3) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

### Unified CM 4.1(3) のアップグレードのライセンス要件

Unified CM 4.1(3) をアップグレードするには、以下の手順に従ってください。

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager のアップグレードプロセスを完了し、[Cisco Unified CM Administration] にナビゲートして、[System] > [Licensing] > [License File Upload] を選択します。[License File Upload] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Existing Files] ドロップダウン リストからライセンス ファイル licupgrade\_7.1.lic を選択し、[View File] をクリックします。  
ウィンドウがリフレッシュされ、選択したライセンスの情報が表示されます。
- ステップ 3** ライセンス ファイルからすべての情報をコピーします。
- ステップ 4** 次の URL で [License Registration] Web ツールにアクセスします。  
<https://tools.cisco.com/SWIFT/Licensing/PrivateRegistrationServlet?FormId=806>
- ステップ 5** ログイン情報を入力します。
- ステップ 6** Cisco Unified Communications Manager クラスタの最初のノードに装備されているイーサネット 0 NIC の MAC アドレスを入力します。
- ステップ 7** 表示されているテキスト ボックスに、適切なキーボード ショートカット (Ctrl+V キーなど) を使用して、ステップ 3 でコピーしたライセンス ファイルの内容を貼り付けます。
- ステップ 8** 有効な電子メール アドレスを入力し、[Continue] をクリックします。  
ライセンス ファイルが生成されます。  
ライセンス ファイルは、入力した電子メール アドレスを使用して電子メールで送信されます。



- (注)** ステップ 4 で述べた Web ツールが機能していない場合は、次の手順によってライセンスを取得します。
1. MAC およびファイル licupgrade\_7.1.lic の内容を [licensing@cisco.com](mailto:licensing@cisco.com) に送信して、件名を「DMA failed upgrade to ver 7」としてデバイスのアップグレード ライセンスを要求します。
  2. ライセンスが添付されたメールを受信します。同じライセンスをサーバにアップロードします。ライセンスのアップロード後に、DLU が 4.x → 7.x にアップグレードされたのを確認できます。

- ステップ 9** ライセンス ファイルは、MAC アドレスが一致しているサーバにアップロードする必要があります。
- ステップ 10** システムにデバイスを追加する際、追加のデバイス ライセンス ユニットが必要であれば入手します。詳細については、『Cisco Unified CM Administration Guide』を参照してください。

## 4.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元 リリース セット	中間リリース セット	MCS → UCS 移行リ リース セット	アップグレード先リ リース セット
Cisco Unified CM	4.1(3)_SR8a	7.1(3)-10000-11	8.5.1-10000-26	8.6.1-20000-1
DMA (データ マイグ レーションアシスタ ント)	7.1(3)	なし	なし	なし
Cisco Unified CM ロ ケール	cm-locale-ja_JP-4.1.3. 4200	cm-locale-ja_JP-7.1.3. 1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1. 1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1. 1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.0(1)	7.0(3)	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.1-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-7.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-7.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1101	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リッシュ 4.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 4.1(3) (Service Update) から 7.1(3) への アップグレードが 正常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1102	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 4.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 4.1(3) (Service Update) から 7.1(3) への アップグレードが 正常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1103	アップグレード	Cisco IP Communicator の アップグレード	リリース セット 7.0(3) Cisco IP Communicator へ のアップグレード が正常に完了する ことを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1104	アップグレード	リリース セット 4.1(3) (Service Update) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 7.1(3) Cisco Unified IP Phone へのアップグレー ドが正常に完了す ることを確認しま す。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1105	アップグレード	Cisco Unified CM パブリシヤ 7.1(3) のアップグ レード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) か ら 8.5(1) へのアップ グレードが正常 に完了することを 確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1106	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 7.1(3) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) か ら 8.5(1) へのアップ グレードが正常 に完了することを 確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1107	アップグレード	Cisco IP Communicator の アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へ のアップグレード が正常に完了する ことを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1108	アップグレード	リリース セット 7.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグレー ドが正常に完了す ることを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1109	アップグレード	MCS 内のデザイ スタ リカバリ シ ステムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが正 常に完了すること を確認します		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1110	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) の インストール	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) の インストールが成 功することを確認 します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1111	アップグレード	C シリーズ上にイ ンストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に 対するライセンス の適用	ライセンス アッ プロードが正常に 完了することを確認 します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1112	アップグレード	C シリーズのディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に完了することを確認します		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1113	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1114	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 8.5(1) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1115	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1116	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- [Unified Communications Manager パブリッシャの SU-4.1\(3\) から 7.1\(3\) へのアップグレード](#)
- [Unified Communications Manager サブスクライバの SU-4.1\(3\) から 7.1\(3\) へのアップグレード](#)
- [Cisco Unified IP Phone の SU-4.1\(3\) から 7.1\(3\) へのアップグレード](#)
- [Cisco IP Communicator 2.0\(1\) から 7.0\(3\) へのアップグレード](#)
- [Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1\(3\) から 8.5\(1\) へのアップグレード](#)
- [Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 7.1\(3\) から 8.5\(1\) へのアップグレード](#)
- [Cisco Unified IP Phone 7.1\(3\) から 8.5\(1\) へのアップグレード](#)
- [MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ](#)

- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** パブリッシャで「DataMigrationAssistant.exe」をインストールします。
  - ステップ 2** パブリッシャ用のアンサー ファイルを生成し、FTP/SFTP に保管します。
  - ステップ 3** アンサー ファイル .XML を USB ペンドライブに保管します。
  - ステップ 4** アップグレードインストールが開始されたら、ペンドライブを挿入します。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。



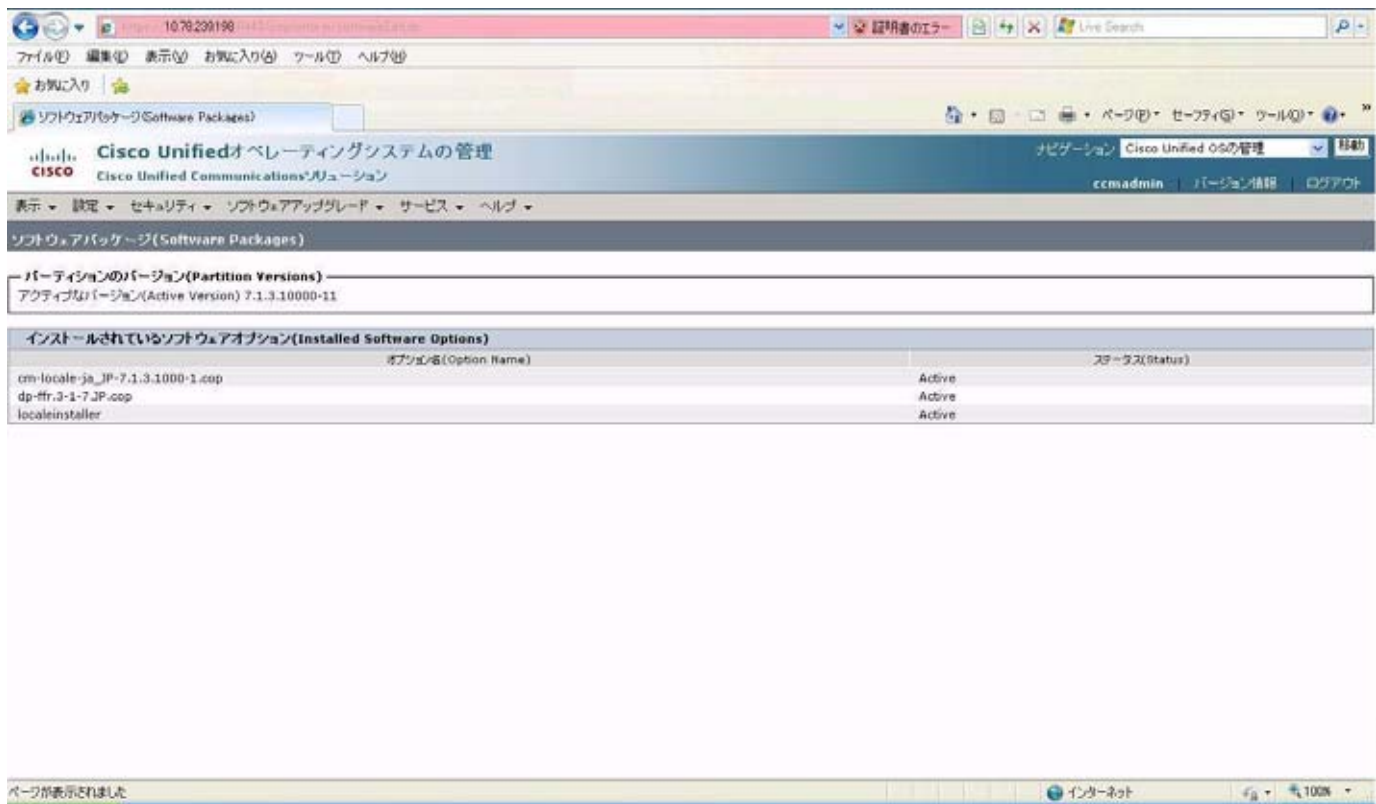
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

### 出力/監視結果

図 3-43 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード



図 3-44 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード



### 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- ステップ 1** パブリッシャで「DataMigrationAssistant.exe」をインストールします。
- ステップ 2** サブスクリバ用のアンサー ファイルを生成し、FTP/SFTP に保管します。
- ステップ 3** アンサー ファイル .XML を USB ペン ドライブに保管します。
- ステップ 4** アップグレード インストールが開始されたら、ペン ドライブを挿入します。

### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレードプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- アップグレードログファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレードログファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルートパターンとルートリストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステムバージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-45 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード

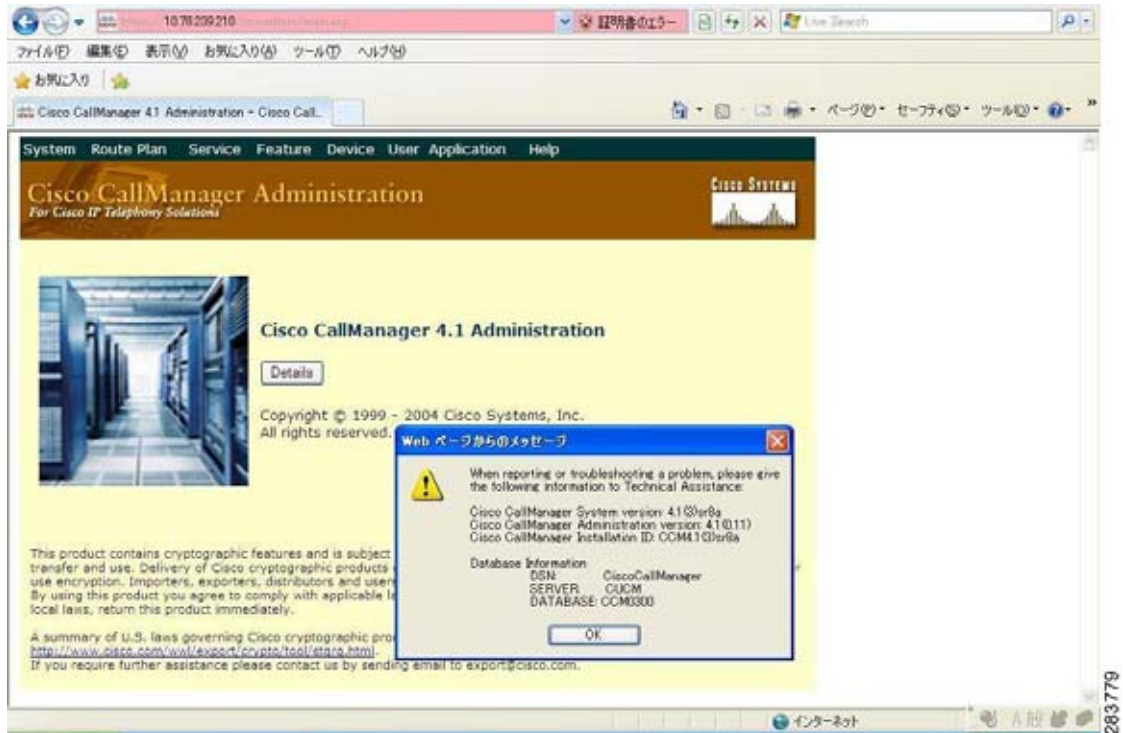
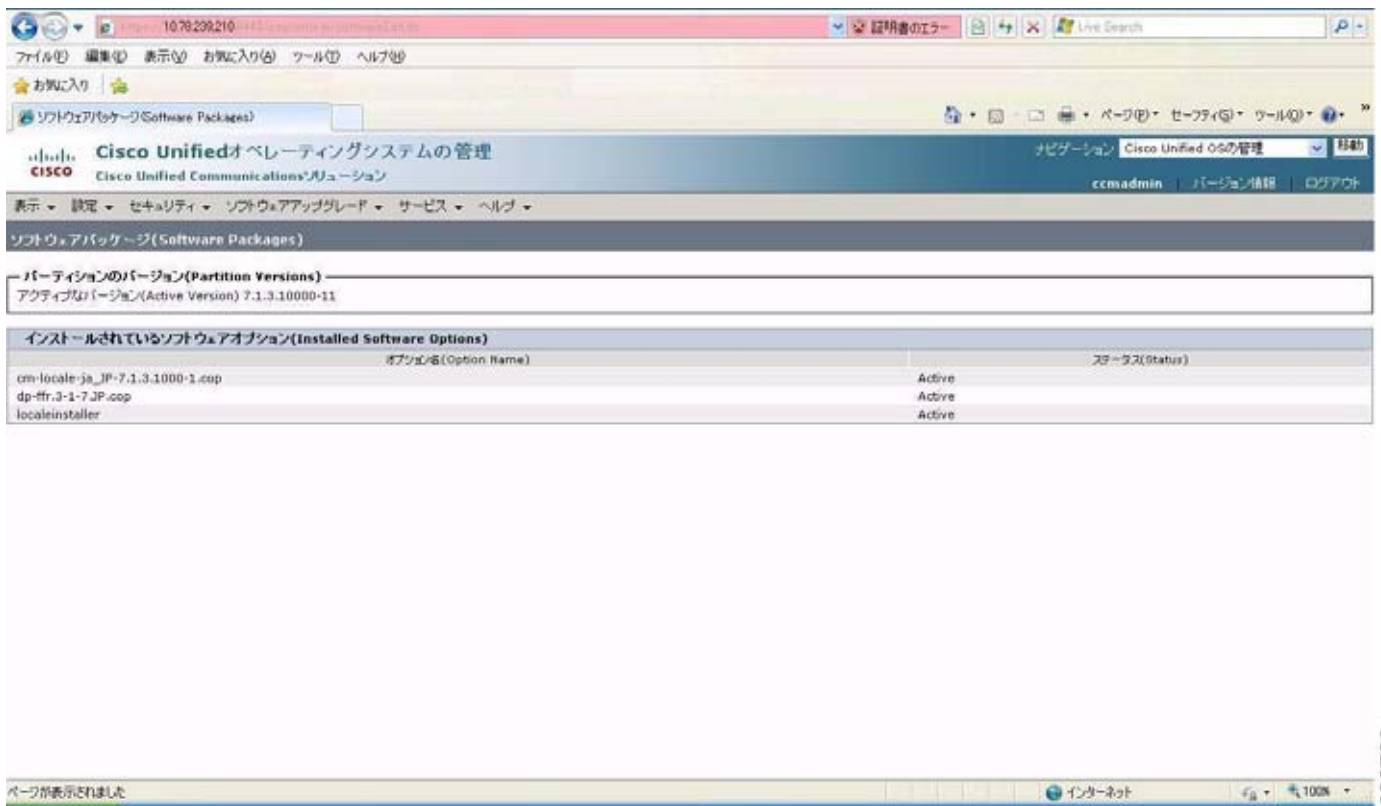


図 3-46 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード



### 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-4.1(3) から 7.1(3) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

### 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone のアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator 2.0(1) から 7.0(3) へのアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

**テスト手順**

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
-

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレードプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- アップグレードログファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレードログファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンスユニットレポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルートパターンとルートリストが設定され、稼働している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼働している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステムバージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-47 Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレードイメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。



**ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

---

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-48 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

The screenshot shows the Cisco Unified Communications Manager Administration console. The main content area displays the 'ソフトウェアパッケージ (Software Packages)' section. Under 'パーティションのバージョン (Partition Versions)', it lists the active version as 8.5.1.10000-26 and the inactive version as 7.1.3.10000-11. Below this, the 'インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)' table is shown.

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Active
dp-ffr-3-1-7 JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-7.1.3.1000-1.cop	Inactive
dp-ffr-3-1-7 JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

283775

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 7.1(3) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

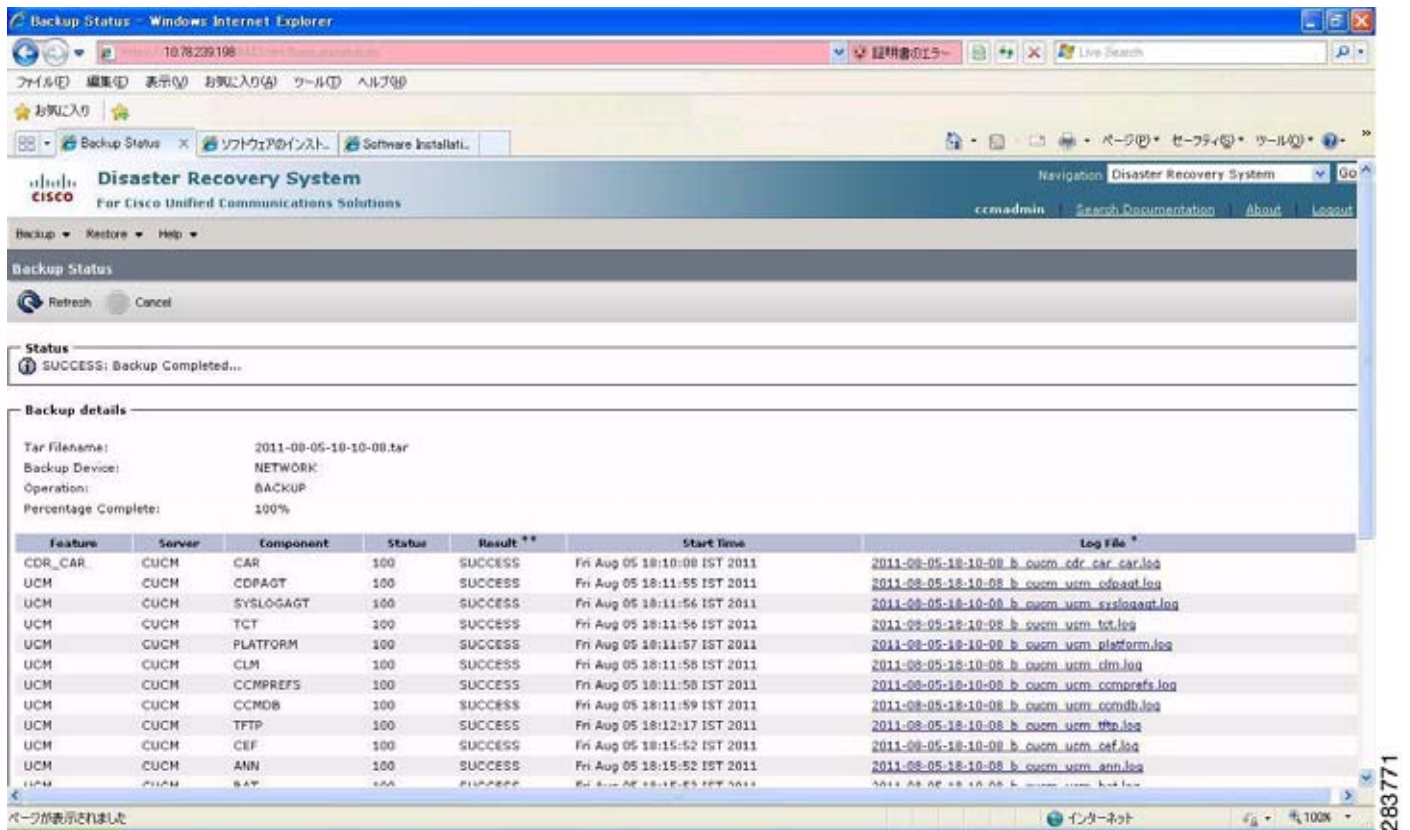
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
- 

**想定される結果**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

## 出力/監視結果

図 3-49 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



## 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうか確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

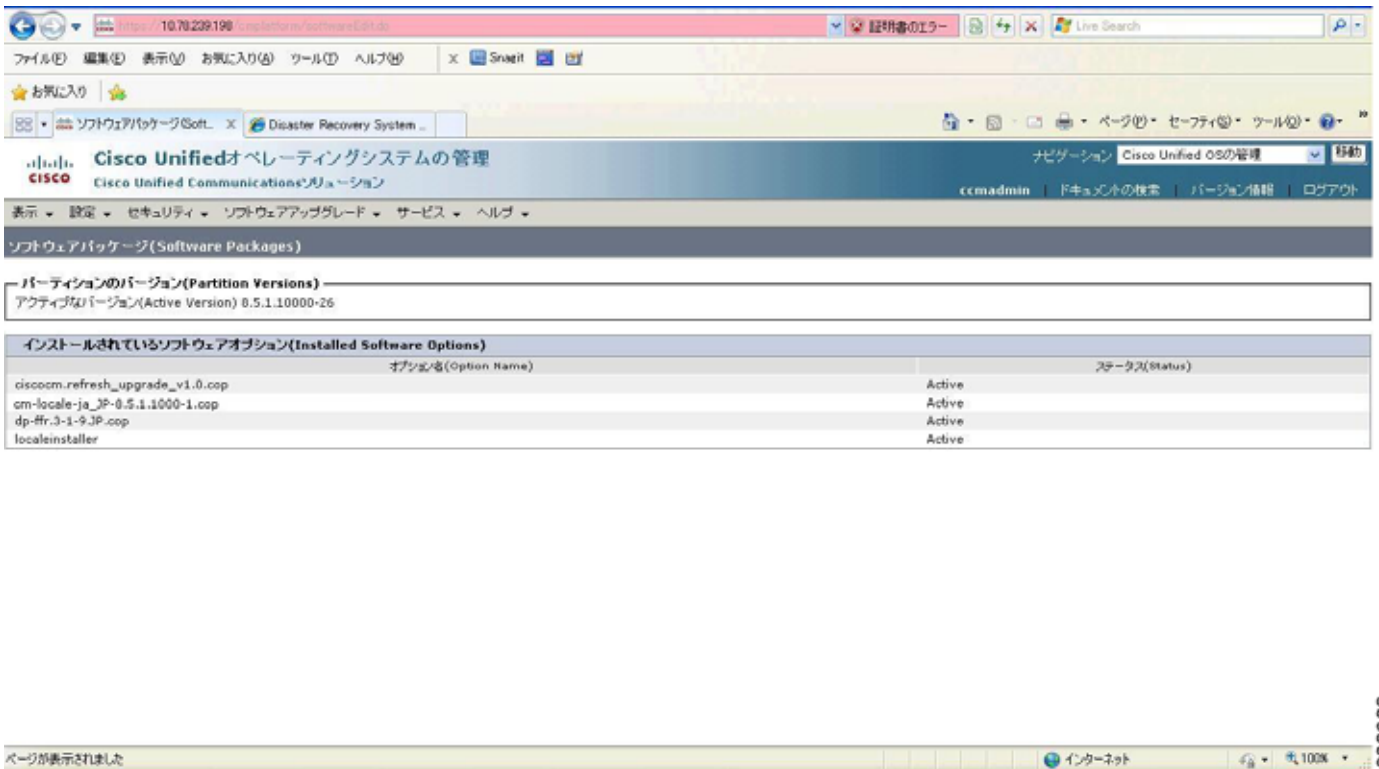
## 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-50 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

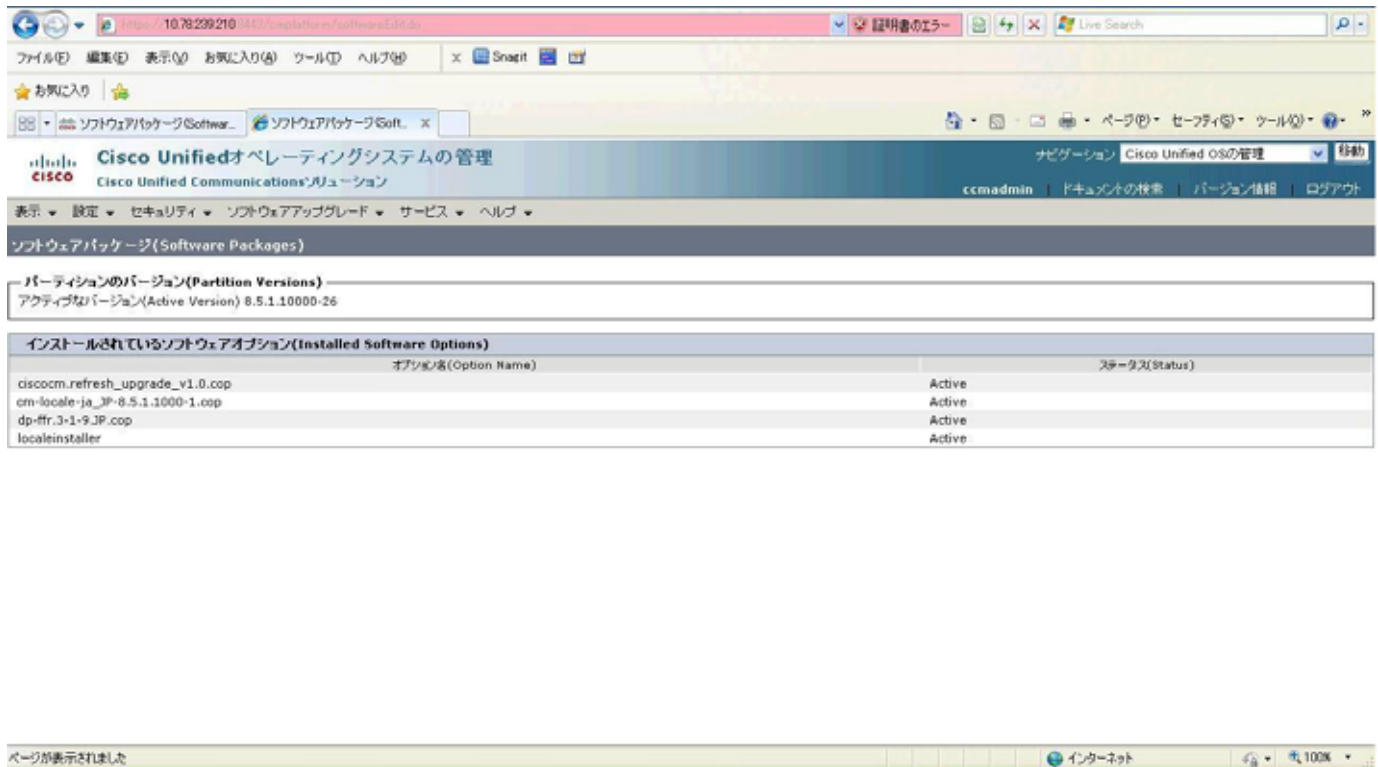
## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-51 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。

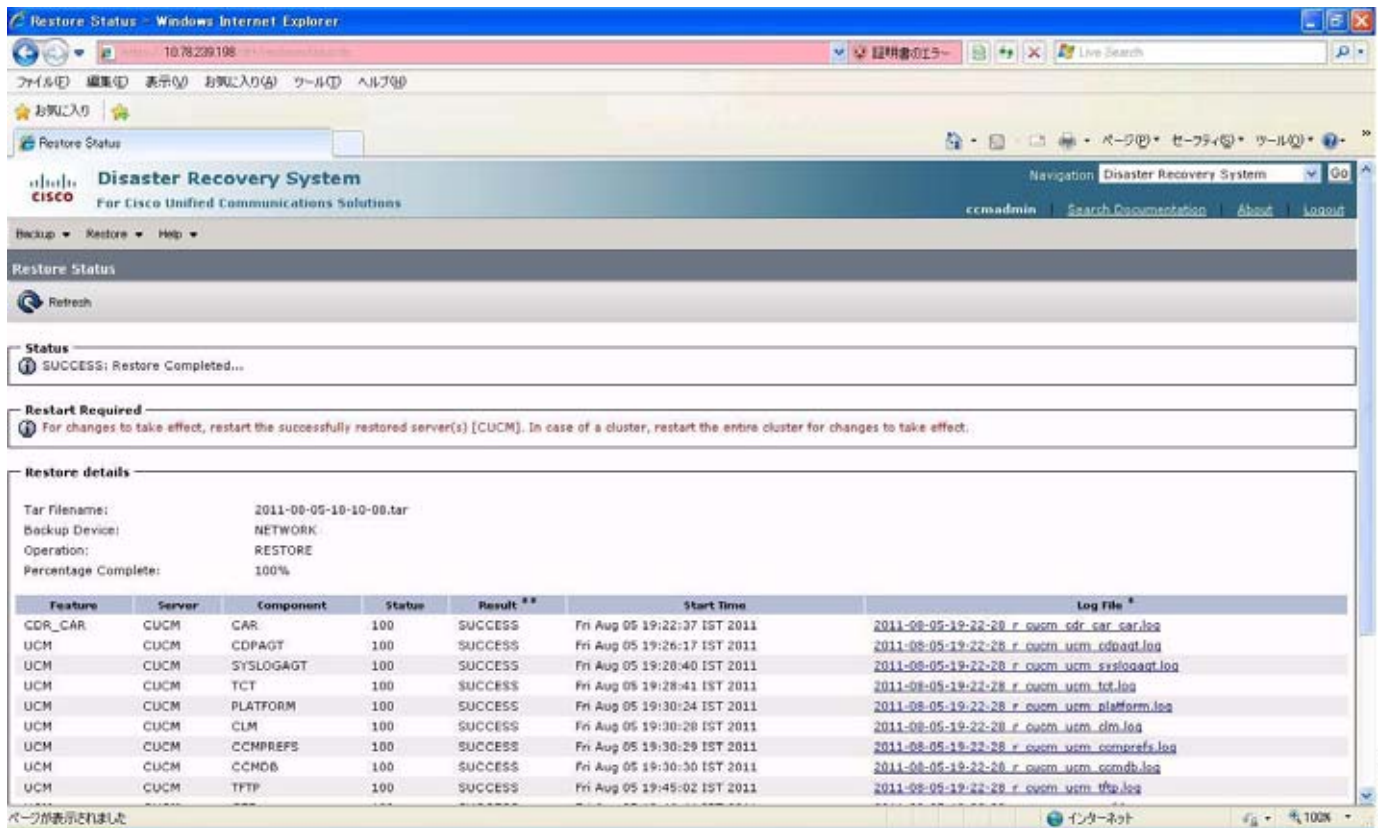
**ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。**想定される結果**

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-52 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。



- ステップ 6** アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモートファイルシステムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレードイメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウンリストからアップグレードファイルを選択し、[Next] をクリックします。

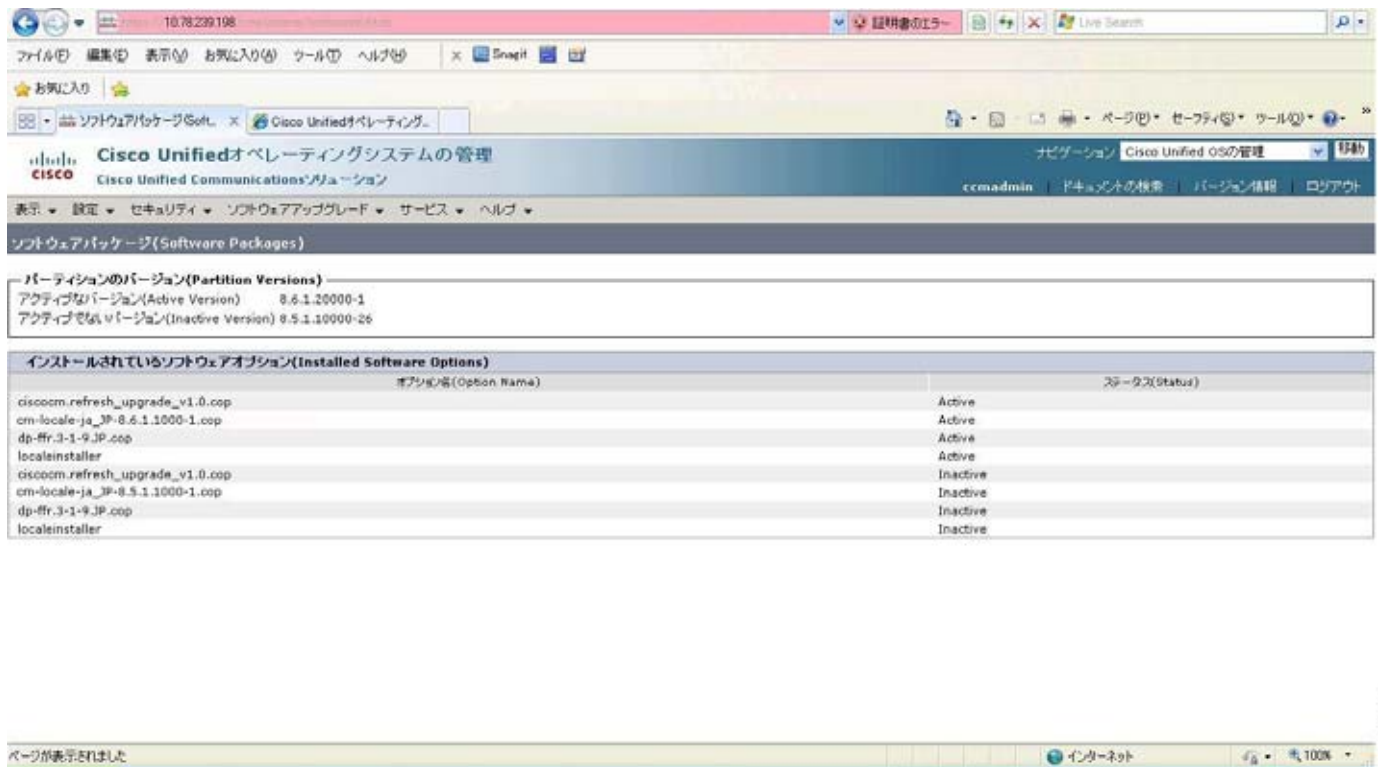
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレードプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- アップグレードログファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレードログファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンスユニットレポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルートパターンとルートリストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステムバージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-53 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4** サーバを再起動します。

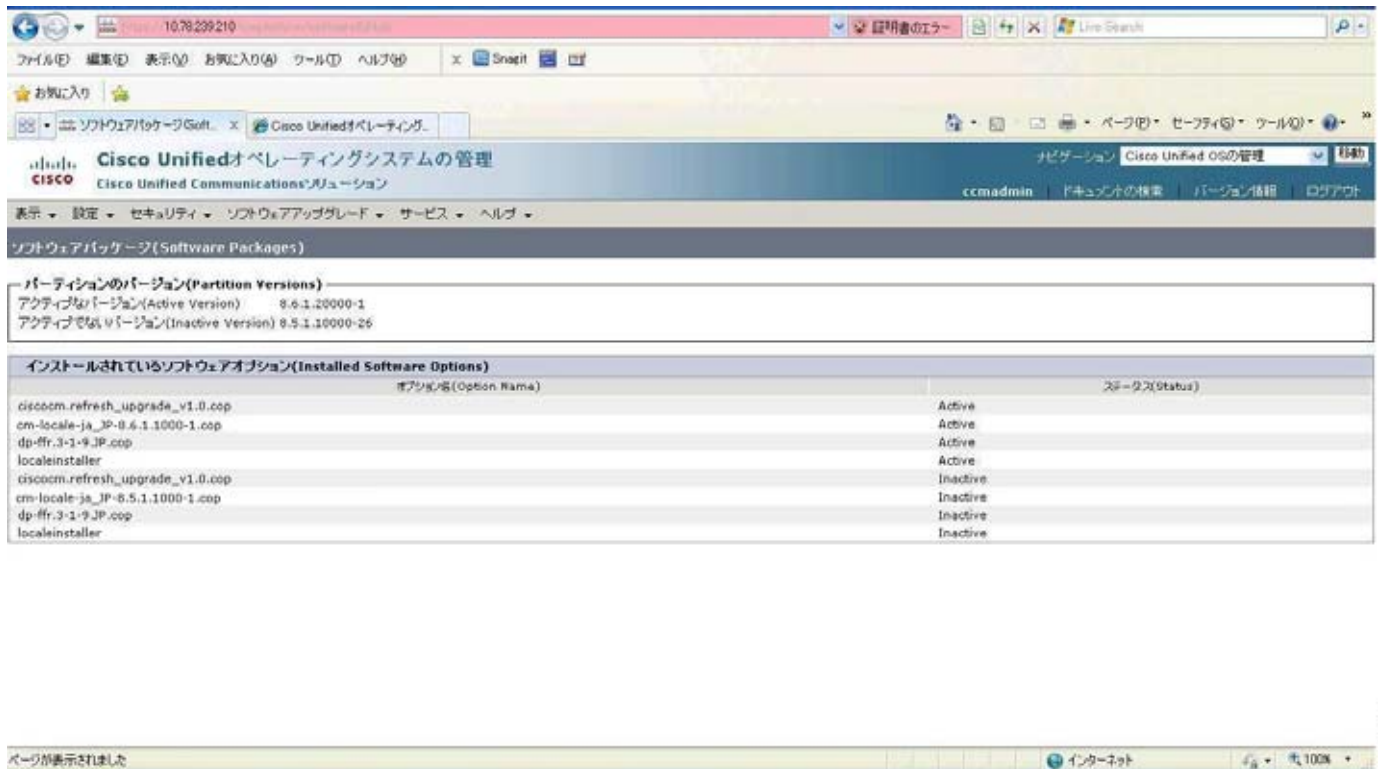
- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

図 3-54 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



283835

### 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

### 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があります、正しく機能する必要があります。

### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) への正常なアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

## 5.1(3) → 7.1(5) → 8.5(1) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 5.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元 リリース セット	中間リリース セット 1	MCS → UCS 移行リ リース セット	アップグレード先リ リース セット
Cisco Unified CM	5.1(3g)	7.1.5-10000-12	8.5.1-10000-26	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロ ケール	cm-locale-ja_JP-5.1.1. 2000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-7.1.5. 1200-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.5.1. 1000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1. 1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.1(4)	7.0(6)	7.0(6)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.1-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1117	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リッシュャ 5.1(3) (Service Update) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager 5.1(3) (Service Update) からバージョン 7.1(5) へのアッ プグレードが正 常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1118	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 5.1(3) (Service Update) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager 5.1(3) (Service Update) からバージョン 7.1(5) へのアッ プグレードが正 常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1119	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレー ド	リリース セット 7.0(3) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1120	アップグレード	リリース セット 5.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレー ド	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1121	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リシヤ 7.1(5) のアップグ レード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5)から 8.5(1) へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1122	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブ スクライバ 7.1(5) のアップグ レード	Cisco Unified Communications Manager の 7.1(5)から 8.5(1) へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1123	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグ レード	リリース セット 8.5(1) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1124	アップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグ レード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1125	アップグレード	MCS 内のディ ザスタリカバ リシヤを使用 した Cisco Uni fied CM のバ ックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップ が成功するこ とを確認しま す。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1126	アップグレード	C シリーズ上 の Cisco Uni fied Commun ications Man ager 8.5(1) のインストー ル	Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストー ルが成功する ことを確認し ます。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1127	アップグレード	C シリーズ上に インストールさ れた Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) に対するライセ ンスの適用	ライセンス アッ プロードが正常 に完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1128	アップグレード	C シリーズの ディザスタ リカ バリ システムを 使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified CM の 100% 復 元が成功するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1129	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リッシュ 8.5(1) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアッ プグレードが正 常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1130	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 8.5(1) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager の 8.5(1) から 8.6(1a) へのアッ プグレードが正 常に完了するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1131	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1132	アップグレード	リリース セット 8.5(1) Cisco Unified IP Phone のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	



## テストケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- Unified Communications Manager パブリッシャの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード
- Unified Communications Manager サブスクリイバの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone の SU-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 2.1(4) から 7.0(6) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード
- MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ
- UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加
- UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) の追加
- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード
- Cisco IP Communicator 7.0(6) から 8.6(1a) へのアップグレード

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
  - ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 5** [Next] をクリックします。
  - ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

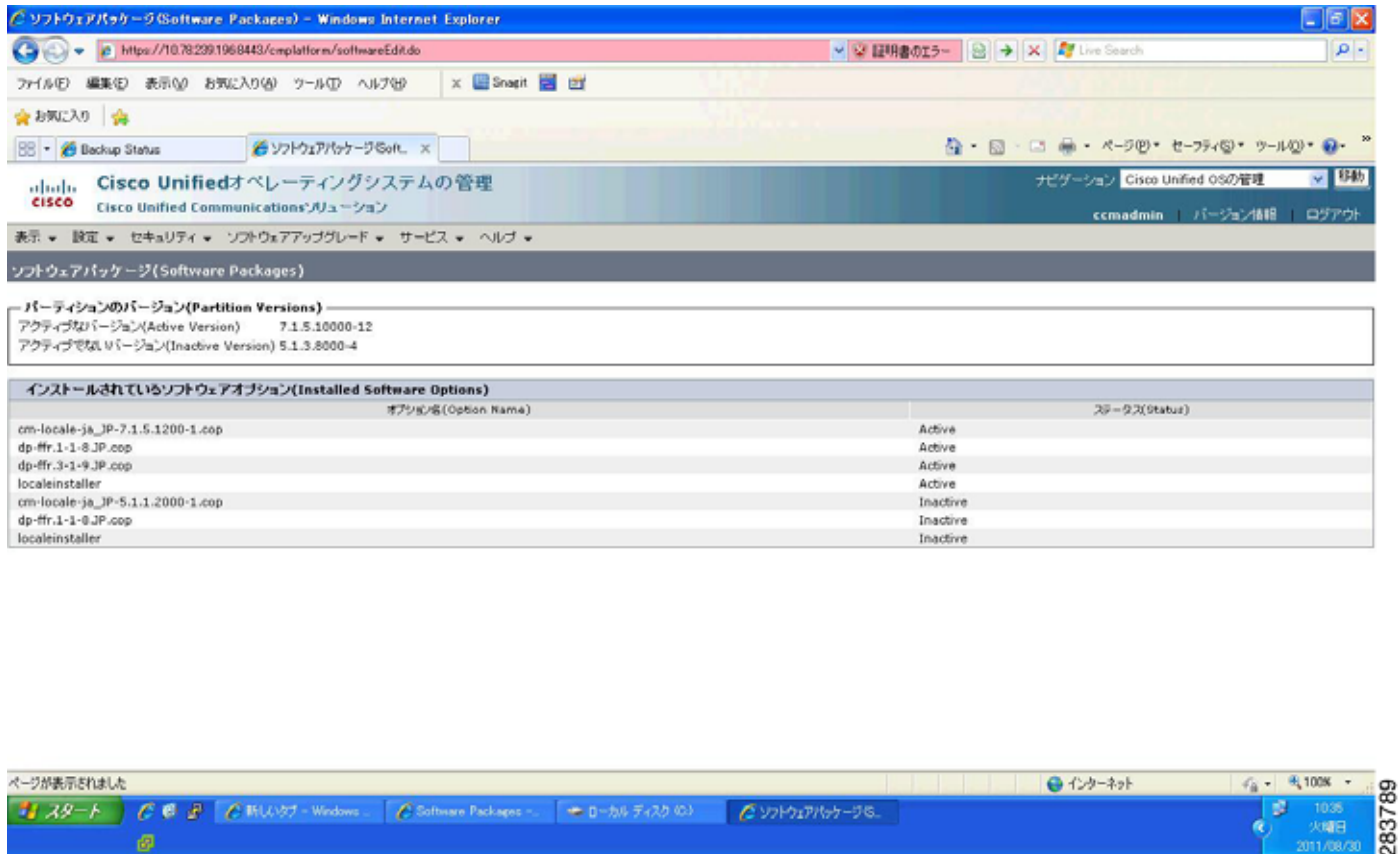
Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。

- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-55 Unified Communications Manager パブリッシャの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** FTP または CD/DVD 内のイメージをマウントするために、ペン ドライブを挿入します。
- ステップ 4** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。

**ステップ 5** [Next] をクリックします。

**ステップ 6** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

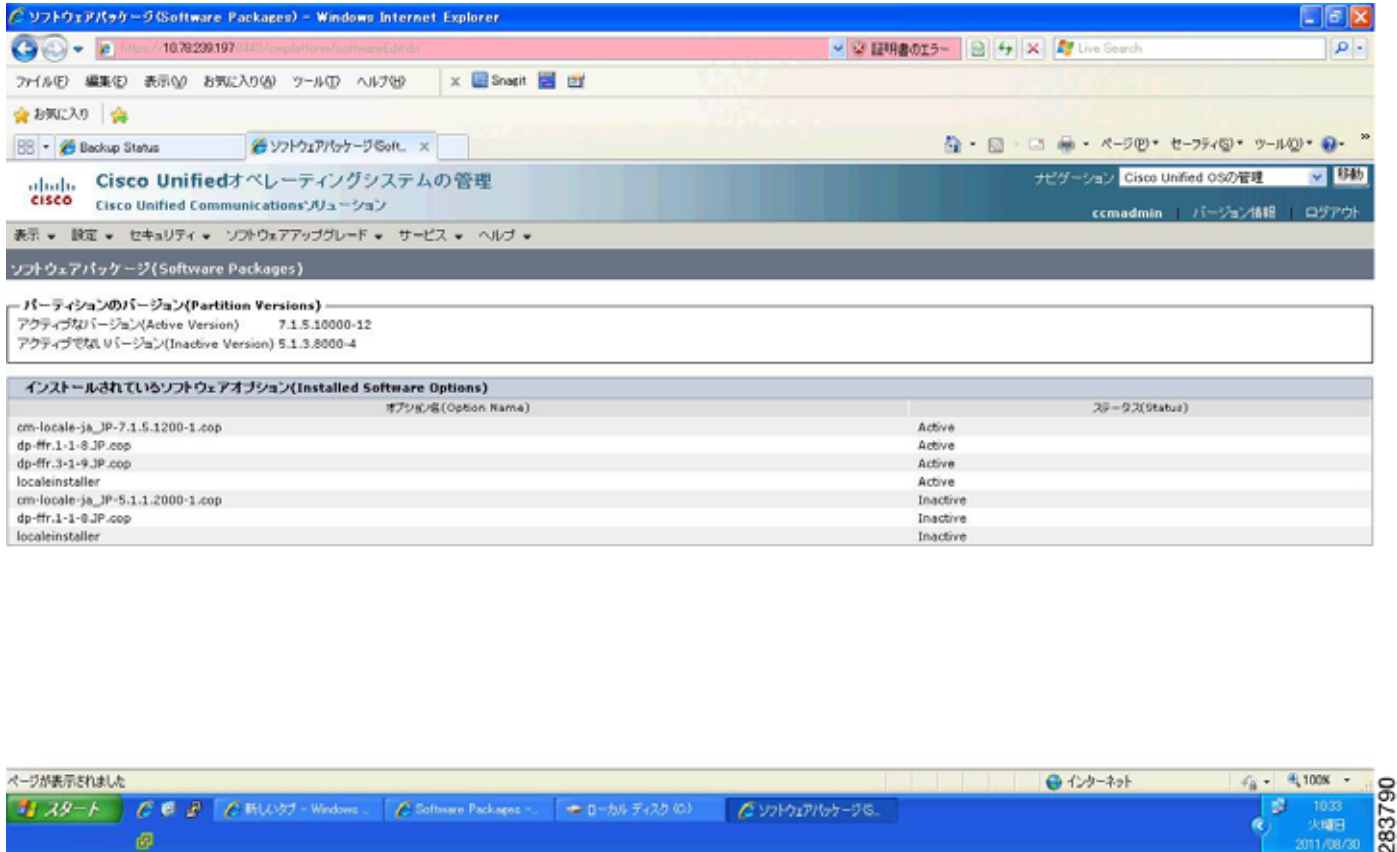
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-56 Unified Communications Manager サブスクリバの SU 5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の SU-5.1(3g) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 2.1(4) から 7.0(6) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

#### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 4** [Next] をクリックします。
  - ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
-

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレードプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- アップグレードログファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレードログファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンスユニットレポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルートパターンとルートリストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハントリストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステムバージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルートパターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-57 Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

パーティションのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version)	8.5.1.10000-26
アクティブでないバージョン (Inactive Version)	7.1.5.10000-12

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Active
dp-#fr-1-1-8.JP.cop	Active
dp-#fr-3-1-9.JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Inactive
dp-#fr-1-1-8.JP.cop	Inactive
dp-#fr-3-1-9.JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3 アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレードイメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4 [Next] をクリックします。



**ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-58 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages) - Windows Internet Explorer

https://10.78.239.1978443/cmplatform/softwareEdit.do

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

Cisco Unifiedオペレーティングシステムの管理  
Cisco Unified Communicationsのバージョン

ccmadmin | ドキュメントの検索 | バージョン情報 | ログアウト

表示 | 設定 | セキュリティ | ソフトウェアアップグレード | サービス | ヘルプ

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

パーティションのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version) 8.5.1.10000-26  
アクティブでないバージョン (Inactive Version) 7.1.5.10000-12

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Active
dp-ffr-1-1-8.JP.cop	Active
dp-ffr-3-1-9.JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop	Inactive
dp-ffr-1-1-8.JP.cop	Inactive
dp-ffr-3-1-9.JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

ページが表示されました

スタート | WindowsKeynote | vAS - ハイパーネス | 10.78.239.216 ~ vOp | 新規テストドキュメント | ソフトウェアパッケージ | インターネット | 15:50 水曜日 2011/08/31 283787

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.5(1) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

### 結果

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

## MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

### テスト手順

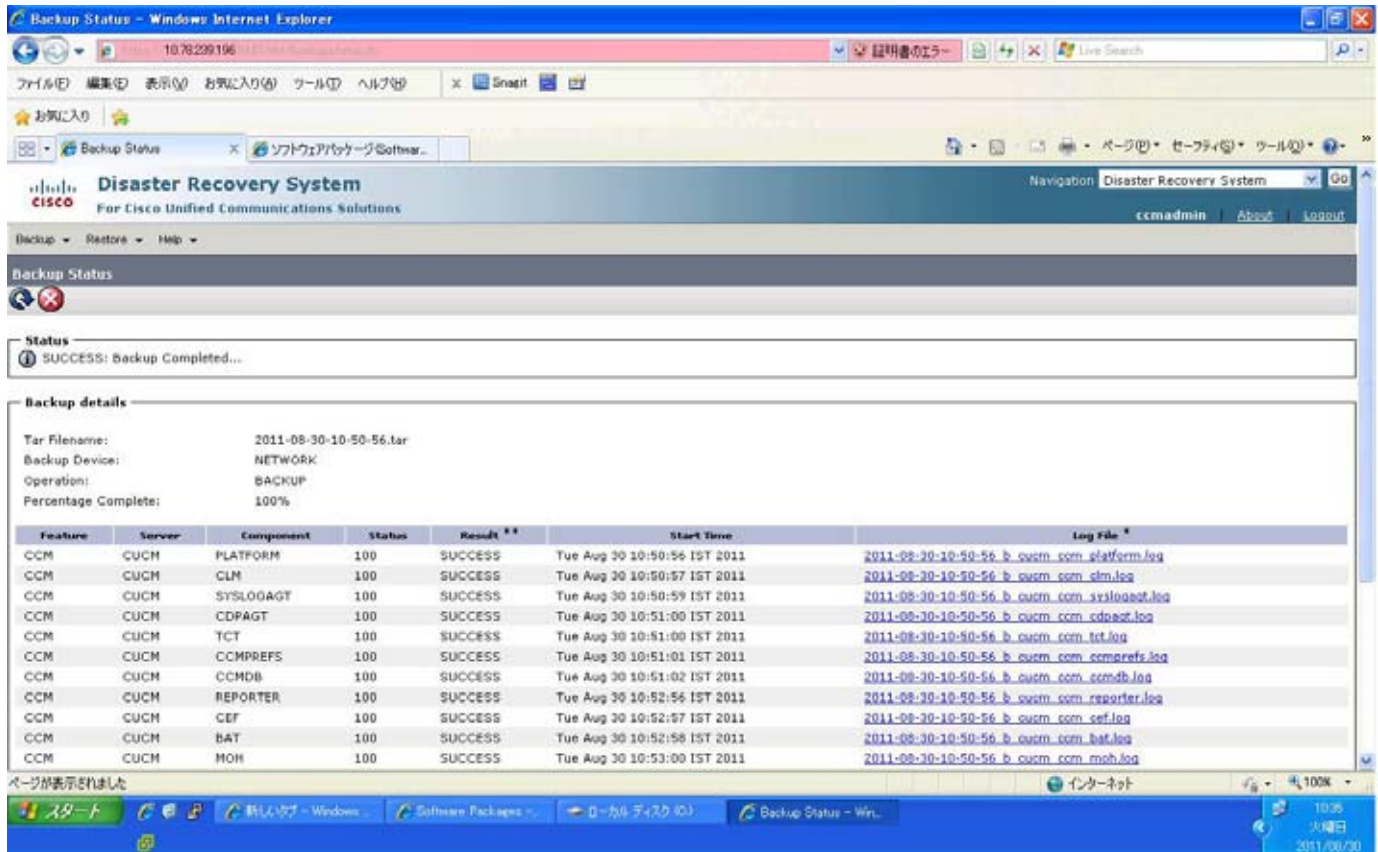
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

## 出力/監視結果

図 3-59 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



## 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうか確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

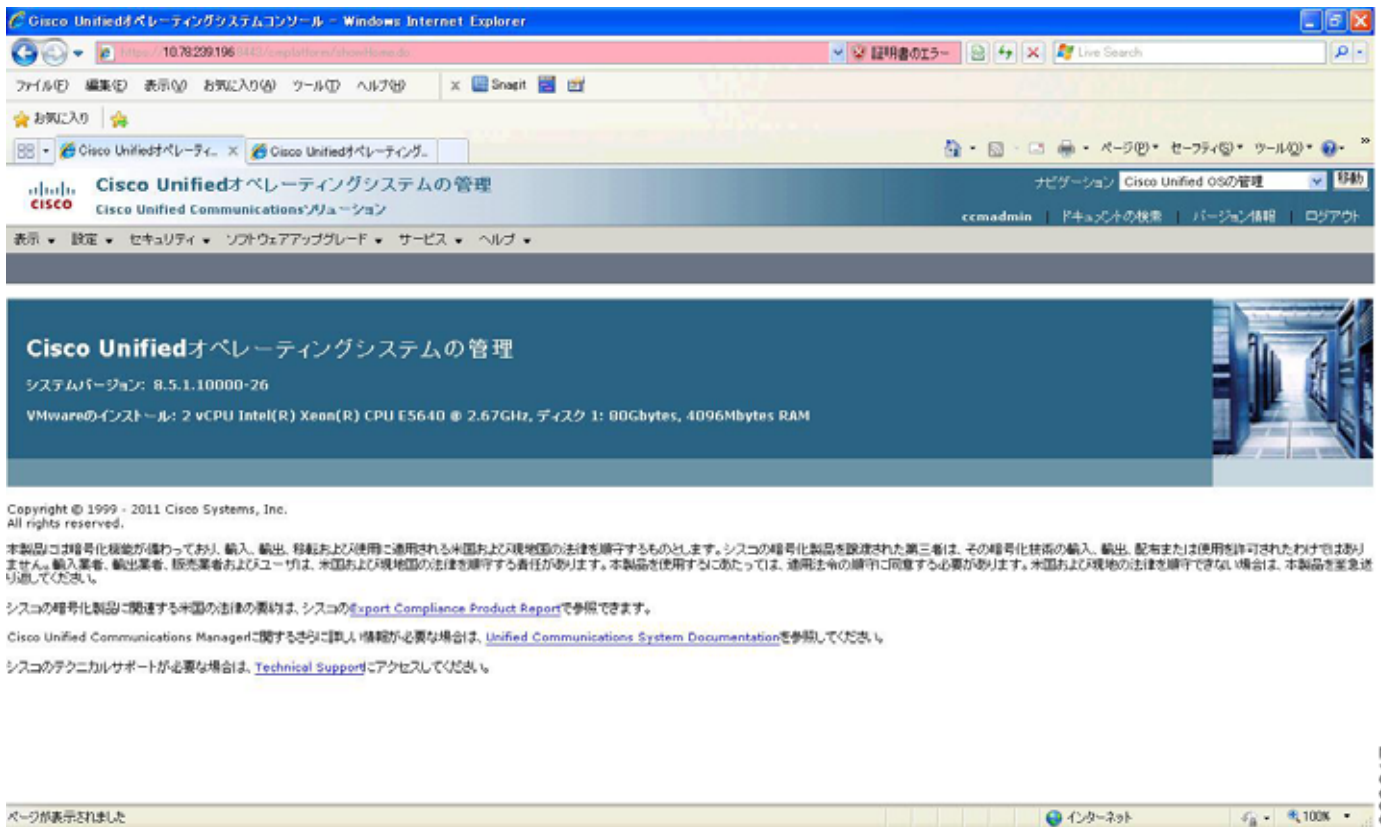
## 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストールプロセス中にエラーメッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-60 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.5(1) のインストール

## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのインストール後に次の結果が想定されます。

インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。

インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-61 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。

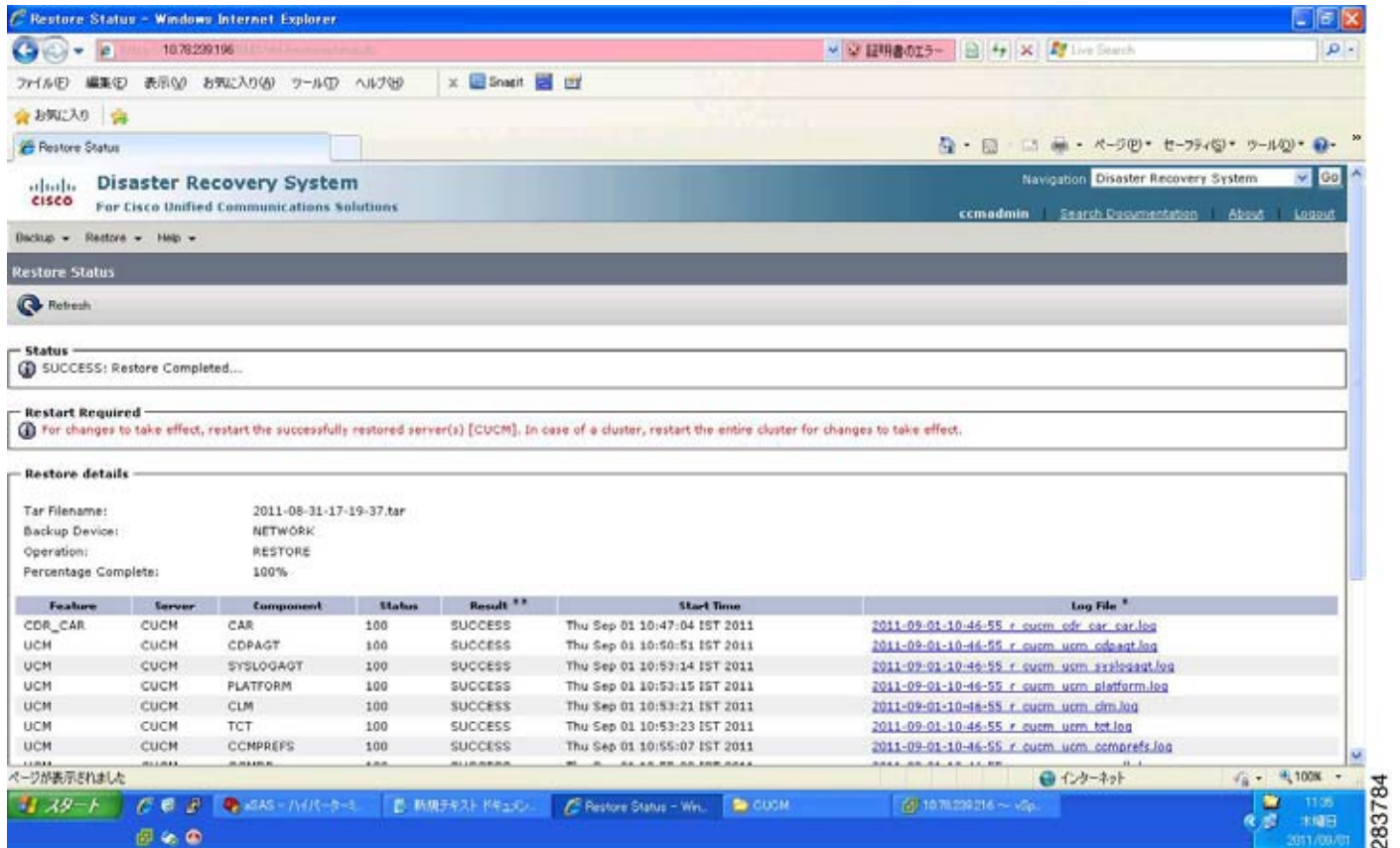
**ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。**想定される結果**

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-62 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。
- ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。



- ステップ 6** アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

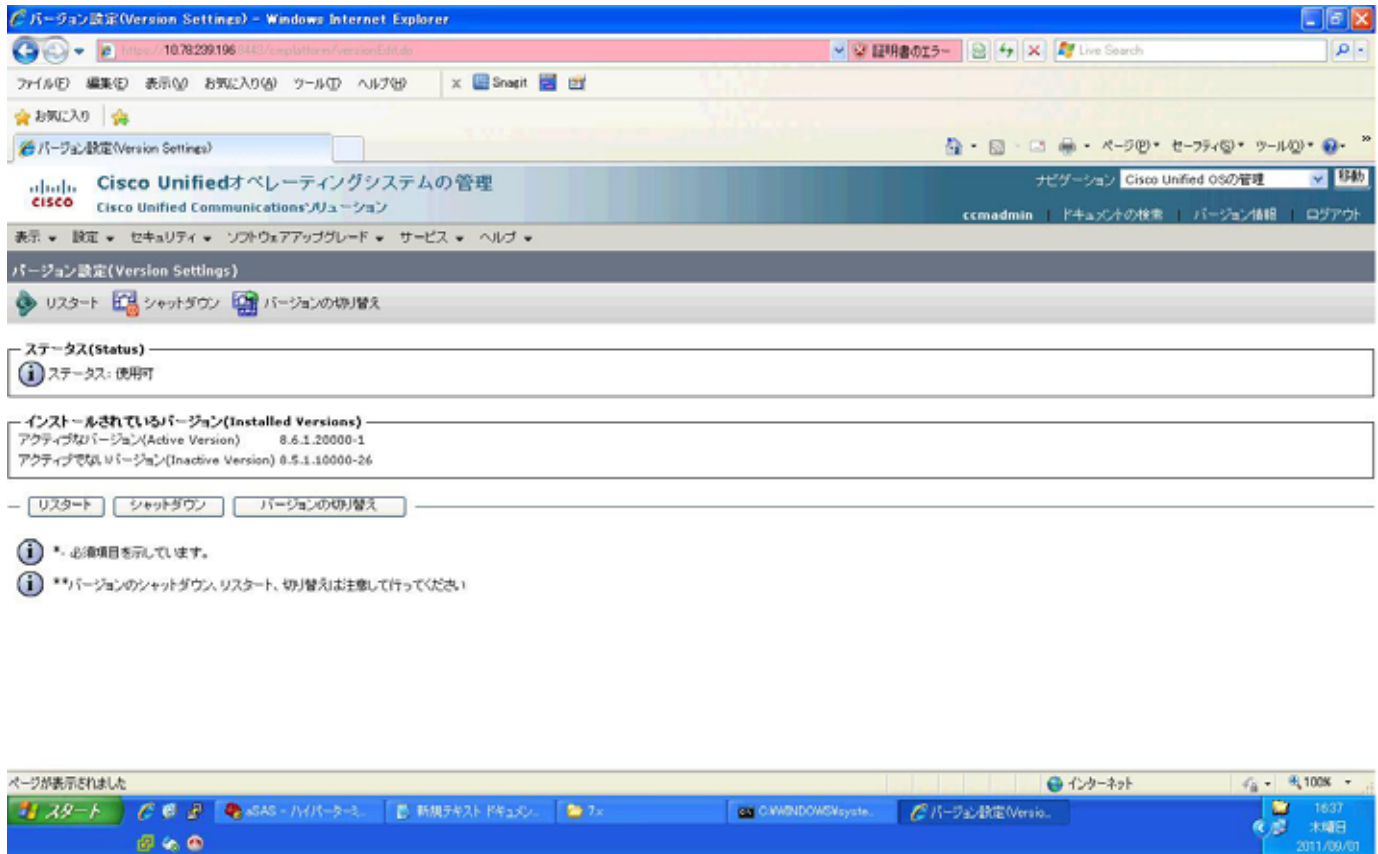
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-63 UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-64 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages) の管理画面のスクリーンショット。画面には「パーティションのバージョン (Partition Versions)」と「インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)」の情報が表示されています。

**パーティションのバージョン (Partition Versions)**

アクティブなバージョン (Active Version)	8.6.1.20000-1
アクティブでないバージョン (Inactive Version)	8.5.1.10000-26

**インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)**

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
ciscoem.refresh_upgrade_v1.0.cop	Active
cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop	Active
dp-efr-3-1-9 JP.cop	Active
localeinstaller	Active
ciscoem.refresh_upgrade_v1.0.cop	Inactive
cm-locale-ja_JP-8.5.1.1000-1.cop	Inactive
dp-efr-3-1-9 JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 8.5(1) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(6) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

## 6.1(3) → 7.1(5) → 8.6(1a) へのアップグレード

## 6.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元リリース セット	MCS → UCS 移行リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	6.1(3b)SU1	7.1.5-32900-2	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.1.4	7.0(3)	8-6-1-0
ダイヤル プラン	dp-ffr.2-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1133	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリシヤ 6.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(3) (Service Update) からバージョン 7.1(5) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1134	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 6.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(3) (Service Update) からバージョン 7.1(5) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1135	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 7.0(3) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1136	アップグレード	リリース セット 6.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1137	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブ リシヤ 7.1(5) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) から 8.6(1a) への アップグレード が正常に完了す ることを確認し ます。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1138	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブス クライバ 7.1(5) のアップグレー ド	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) から 8.6(1a) への アップグレード が正常に完了す ることを確認し ます。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1139	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1140	アップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1141	アップグレード	MCS 内のデザ スタ リカバリ シ ステムを使用し た Cisco Unified CM のバック アップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが 成功すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1142	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール が正常に完了す ることを確認し ます。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1143	アップグレード	C シリーズ上に インストールさ れた Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) に対するライセ ンスの適用	ライセンス アッ プロードが正常 に完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1144	アップグレード	C シリーズの ディザスタ リカ バリ システムを 使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified CM の 100% 復 元が成功するこ とを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1145	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1146	アップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone のアップグレー ド	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグ レードが正常に 完了すること を確認します。		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- [Unified Communications Manager](#) パブリッシャの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード
- [Unified Communications Manager](#) サブスクリイバの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード
- [Cisco Unified IP Phone](#) の SU-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード
- [Cisco IP Communicator](#) 2.1(4) から 7.0(3) へのアップグレード
- [Cisco Unified Communications Manager](#) パブリッシャ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco Unified Communications Manager](#) サブスクリイバ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco Unified IP Phone](#) 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco IP Communicator](#) 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード
- MCS からの [Unified Communications Manager](#) の設定のバックアップ
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) パブリッシャ 8.6(1a) の追加
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) サブスクリイバ 8.6(1a) の追加



- MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行
- Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
  - ステップ 3** アップグレードファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 4** [Next] をクリックします。
  - ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレードファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

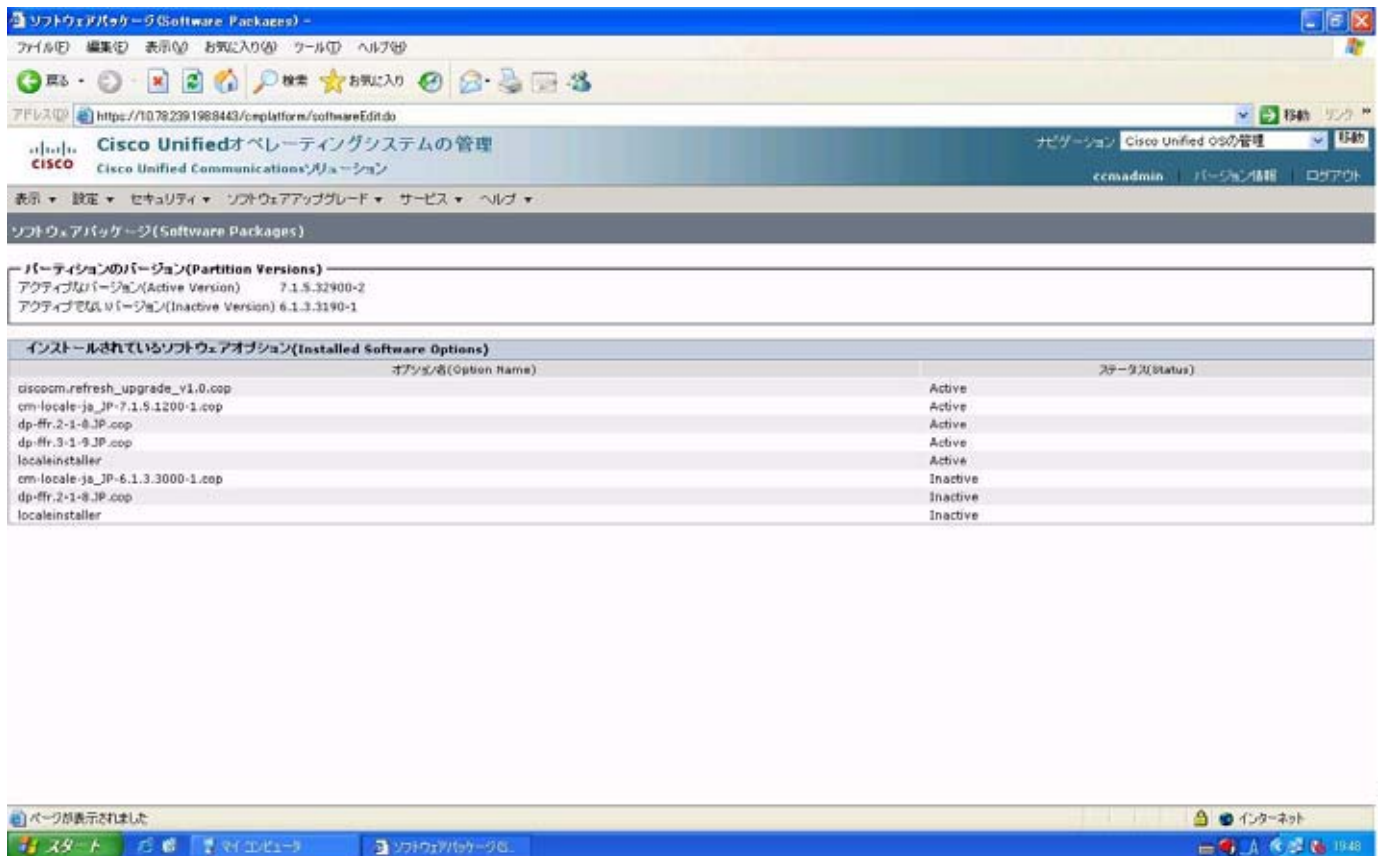
- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。

## Service Update - リリース セット

- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロードタイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-65 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

**ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。

- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] を選択します。
- ステップ 3** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 4** [Next] をクリックします。
- ステップ 5** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

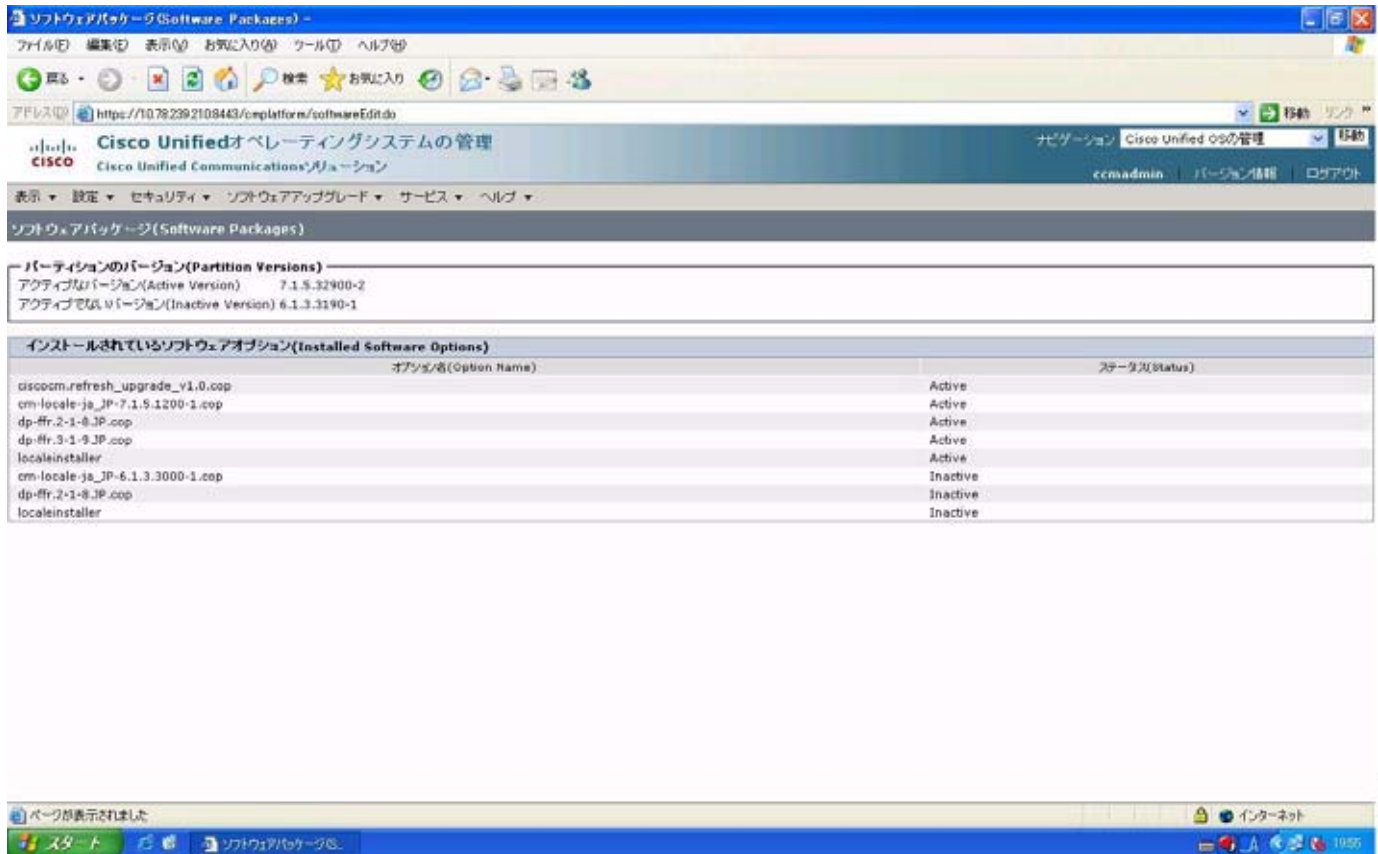
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-66 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-6.1(3) から 7.1(5) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の SU-6.1(3b) から 7.1(5) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 2.1(4) から 7.0(3) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

#### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
  - ステップ 4** サーバを再起動します。
  - ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。

**ステップ 7** [Next] をクリックします。

**ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

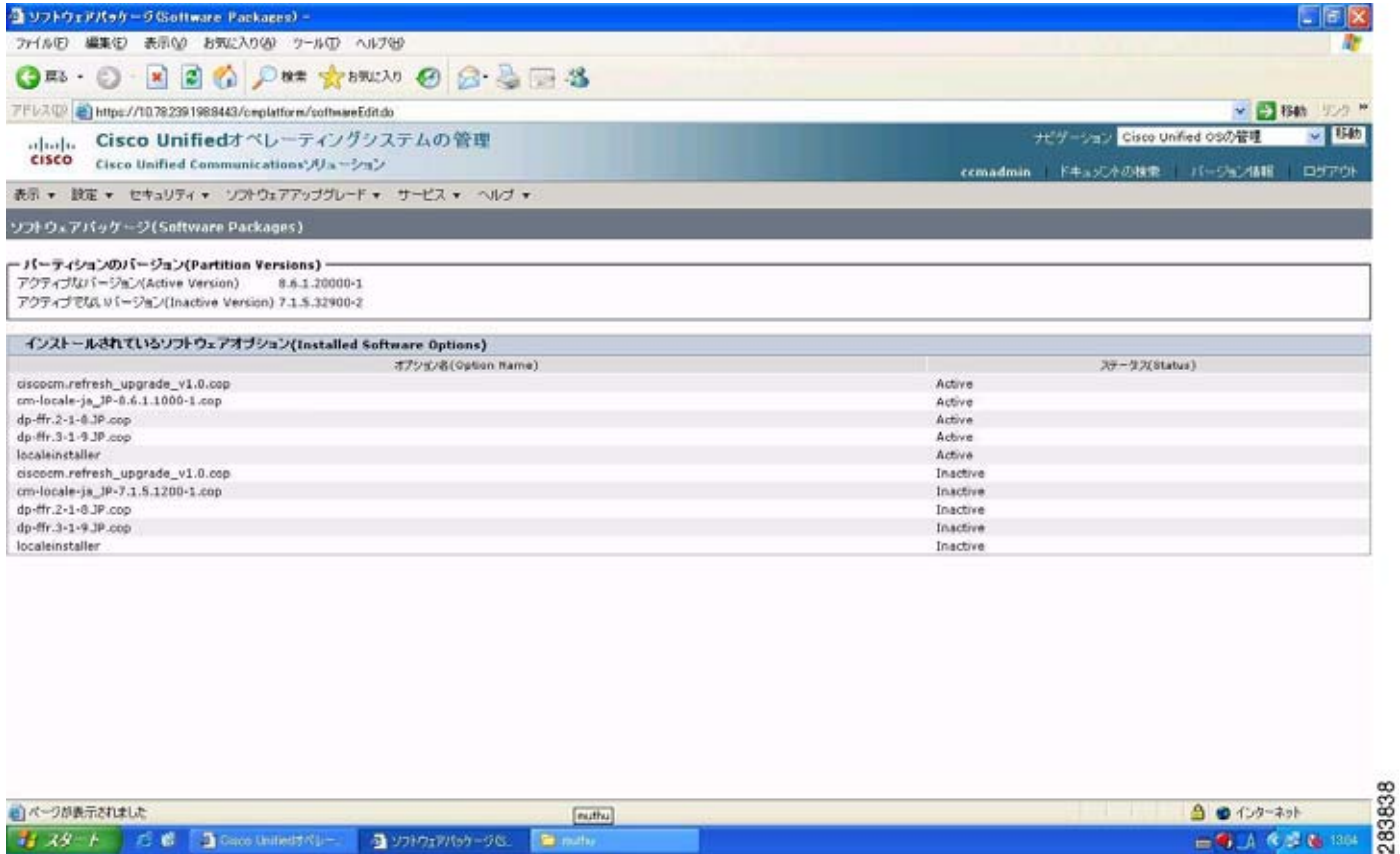
### 想定される結果

Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-67 Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

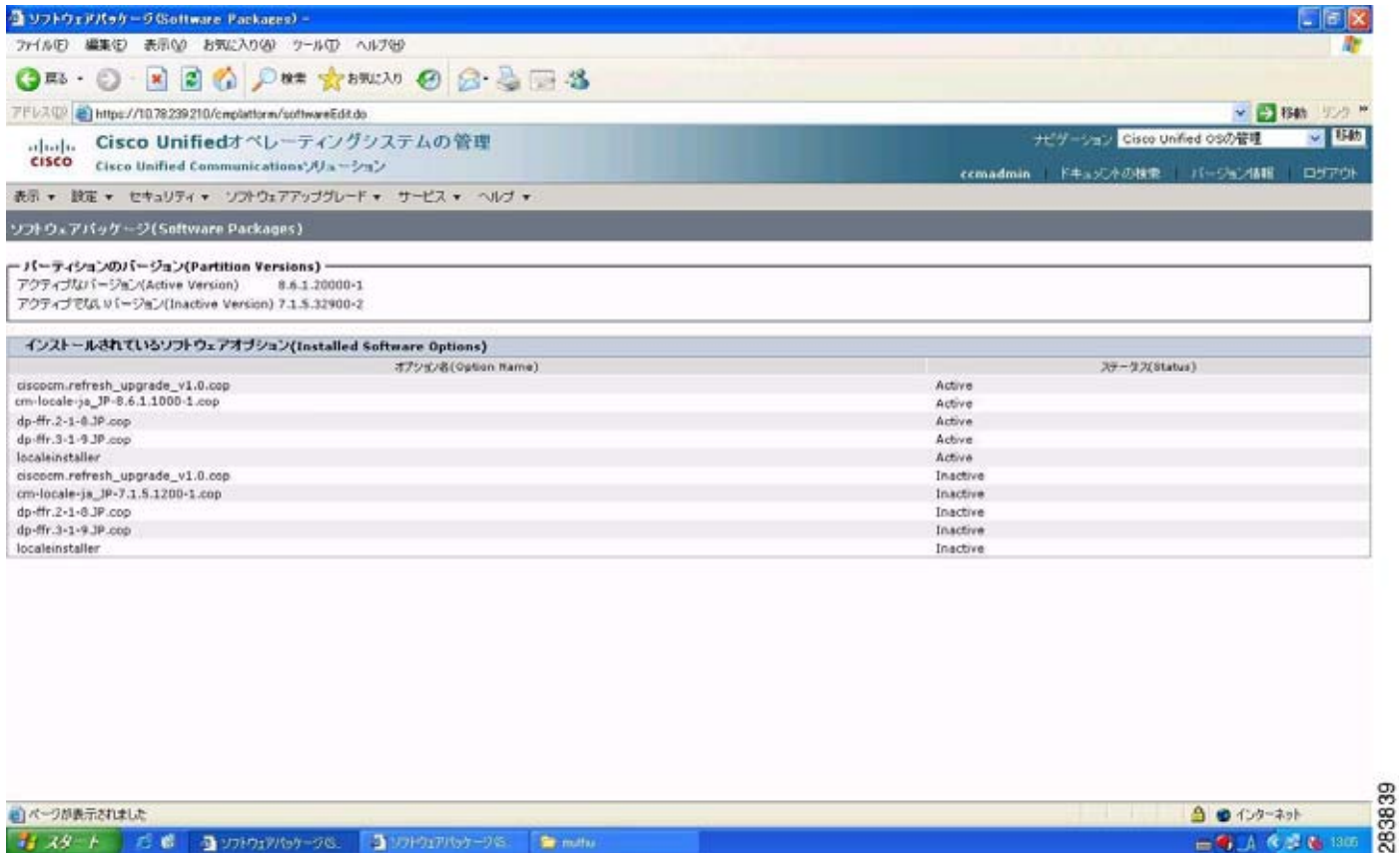
Unified Communications Manager のアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-68 Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- 電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。
- Unified IP Phone は、保留、転送、会議など、すべての機能を実行する必要があり、正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- 接続されたすべての IP 電話機の電源がオンになり、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco Unified IP Phone の正常なアップグレード」のテストに成功しました。

**Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード****テストの説明**

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

**テスト手順**

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

**想定される結果**

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

**MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

**テスト手順**

- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。

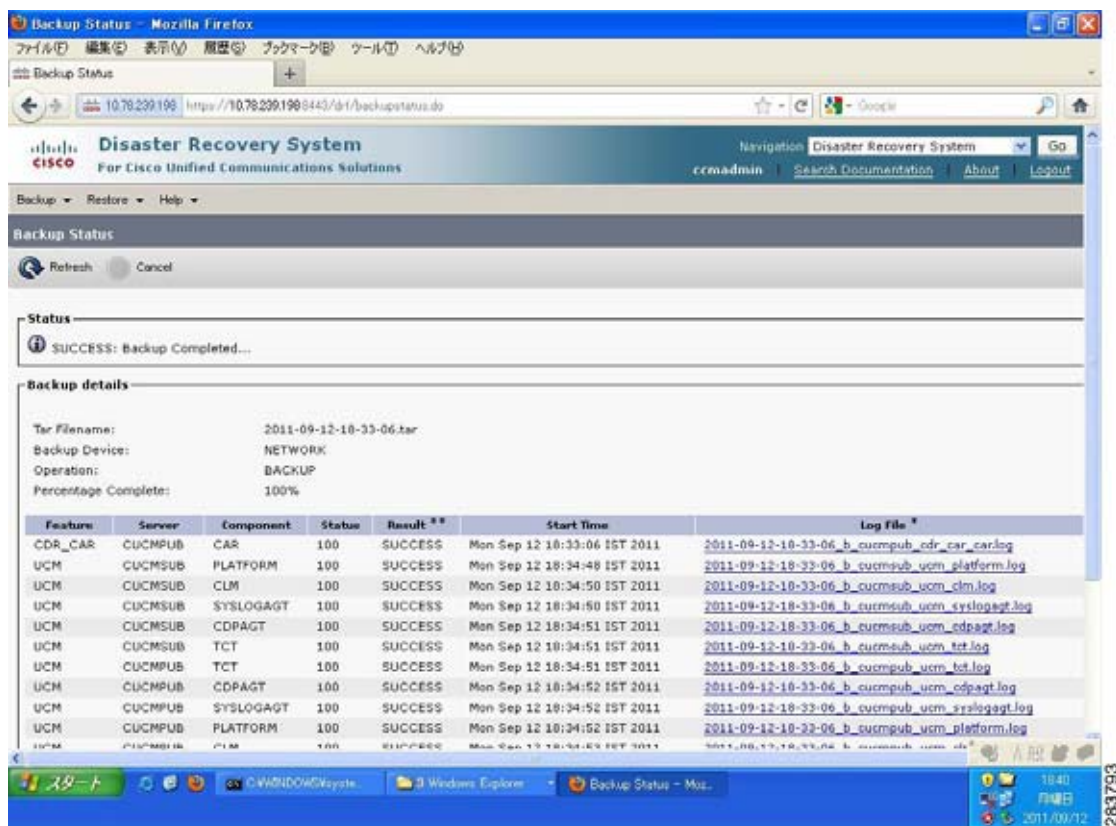
**ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。

### 想定される結果

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

### 出力/監視結果

図 3-69 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



### 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

## Service Update - リリース セット

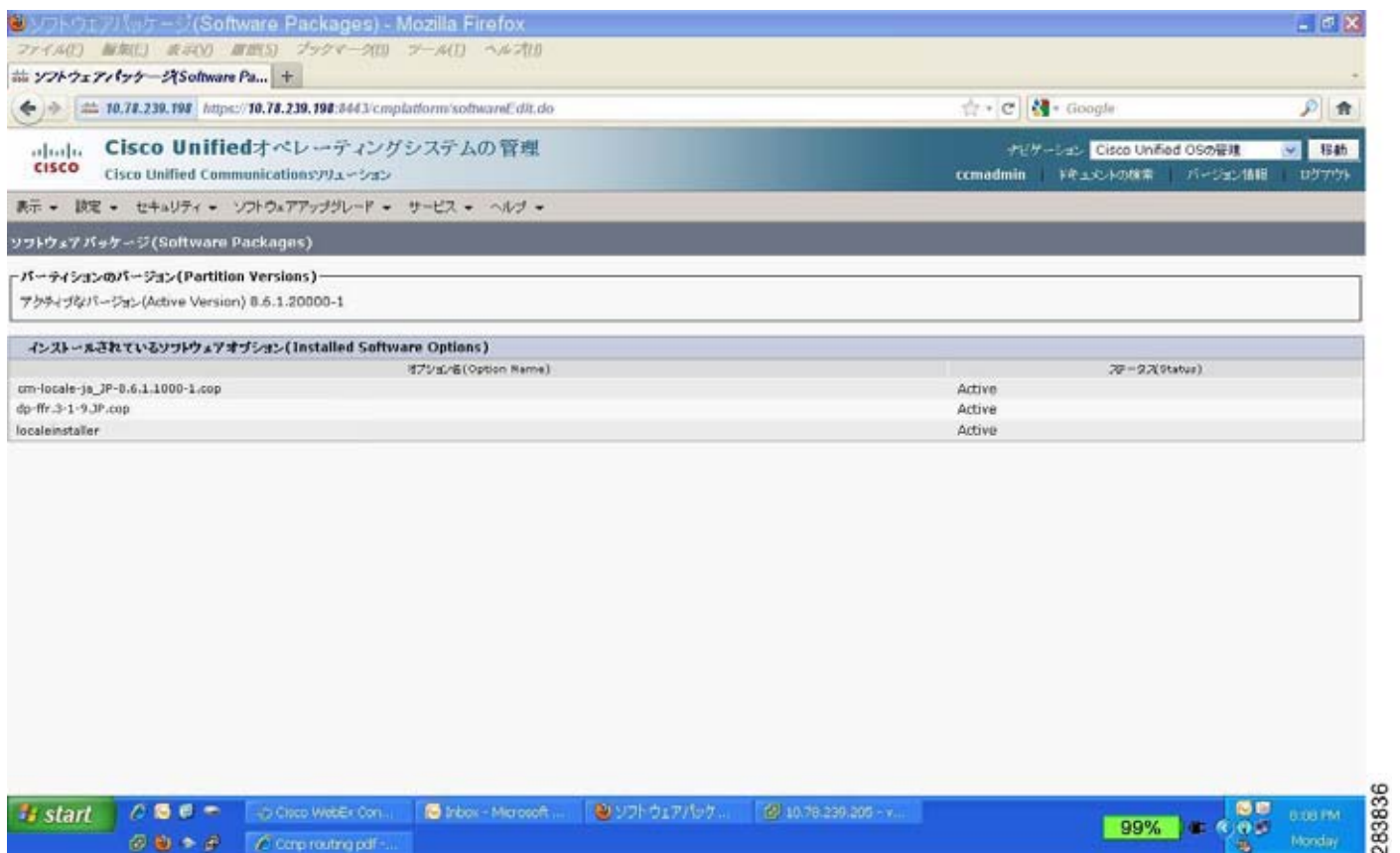
## 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-70 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

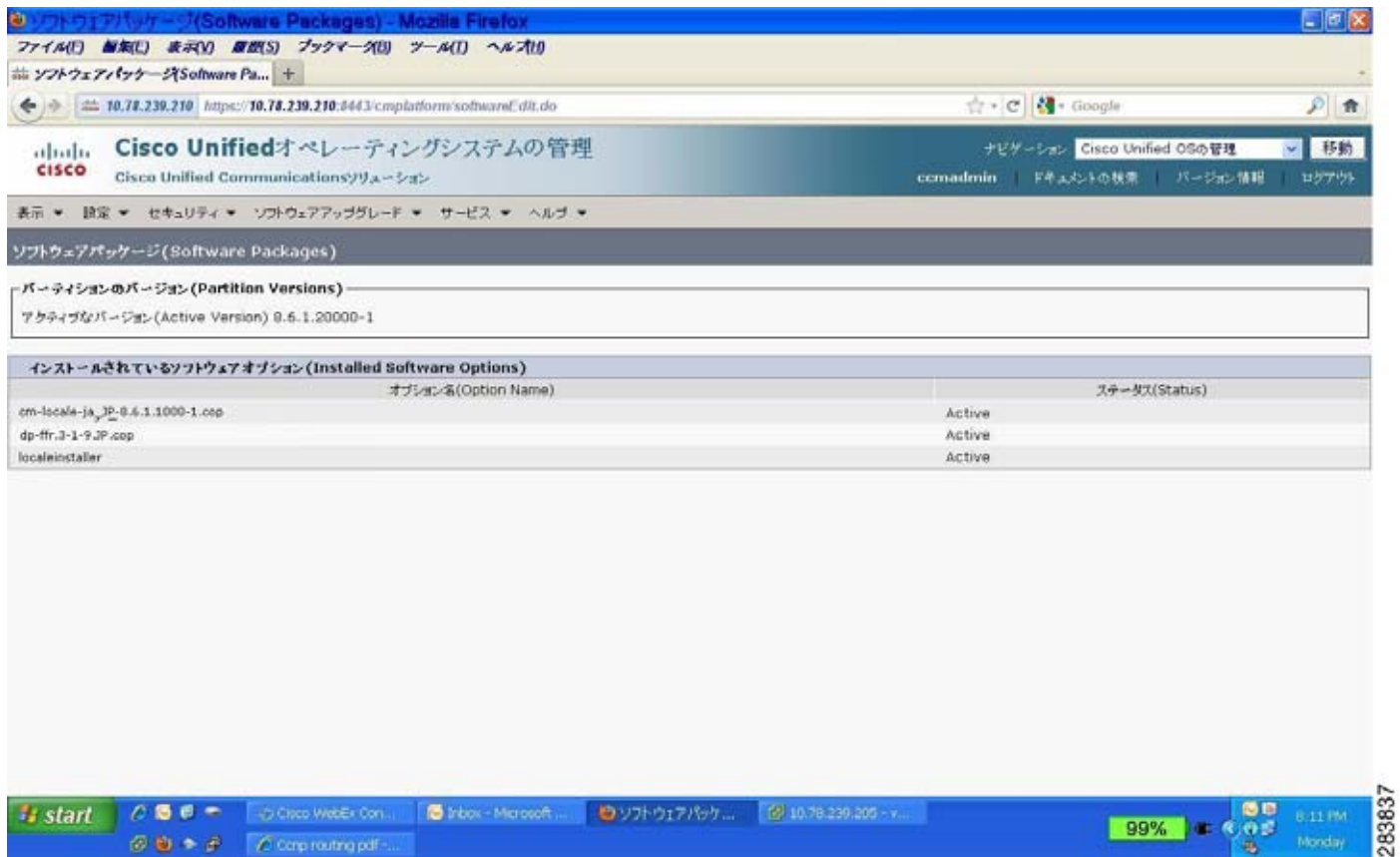
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-71 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
  - ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
  - ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。
  - ステップ 6 サーバを再起動し、変更を有効にします。
- 

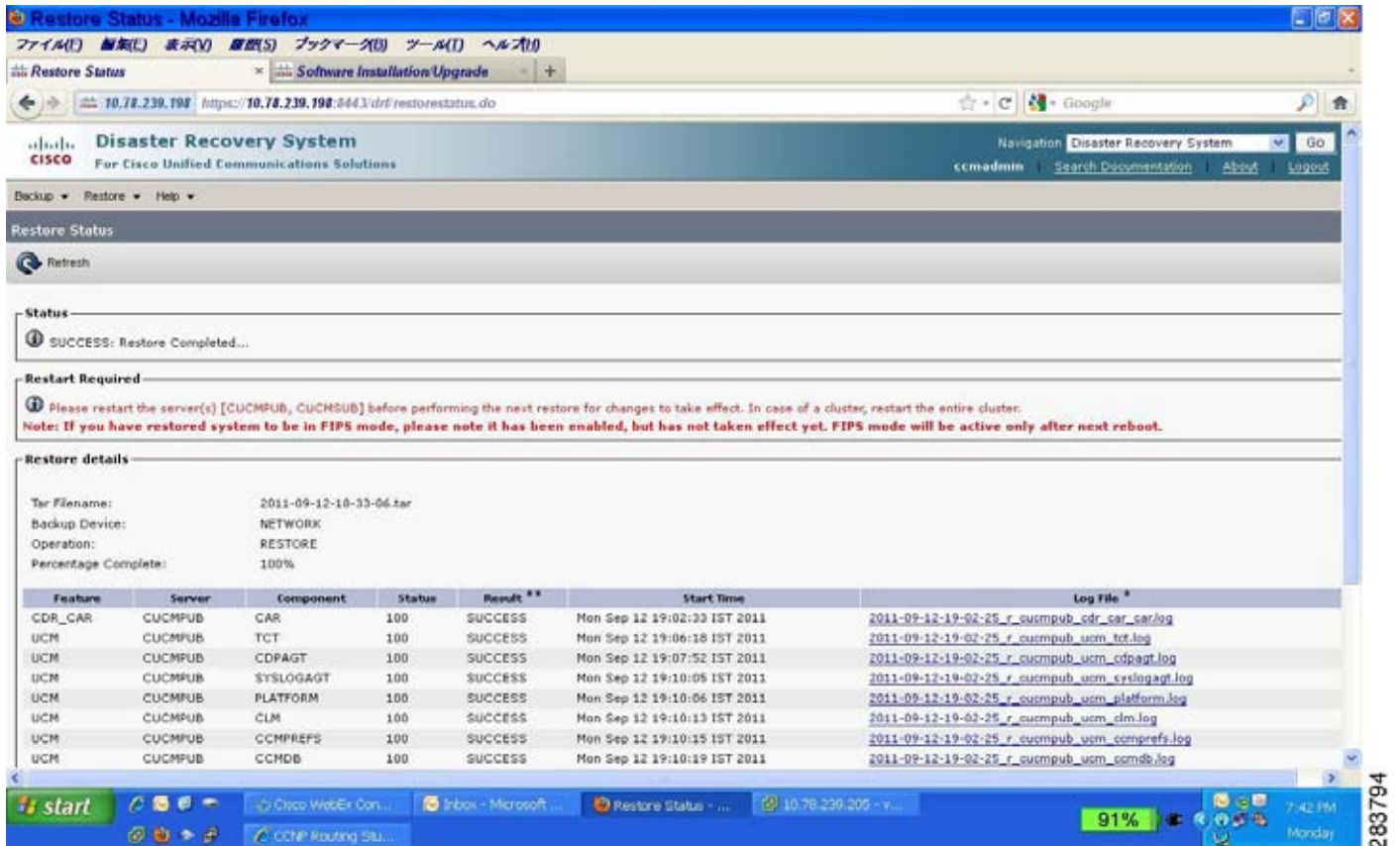
### 想定される結果

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-72 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると Unified Communications Manager バージョン 8.6(1a) に正常に登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力 / 監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。



## 6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## 6.1(5) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	6.1(5)SU3	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-6.1.3.3000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	2.1.4	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.2-1-8.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1147	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 6.1(5) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(5) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1148	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 6.1(5) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 6.1(5) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1149	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1150	アップグレード	リリース セット 6.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1151	アップグレード	MCS 内のディザ スタ リカバリ シ ステムを使用した Cisco Unified CM のバック アップ	Cisco Unified Communications Manager の 100% バック アップが正常に 完了することを 確認します		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1152	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール が成功すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1153	アップグレード	C シリーズ上に インストールさ れた Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) に対するライセ ンスの適用	ライセンス アッ プロードが正常 に完了すること を確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1154	アップグレード	C シリーズの ディザスタ リカ バリ システムを 使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正 常に完了するこ とを確認します		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- [Unified Communications Manager](#) パブリッシャの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Unified Communications Manager](#) サブスクリバの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco Unified IP Phone](#) の SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco IP Communicator 2.1\(4\)](#) から 8.6(1a) へのアップグレード
- MCS からの [Unified Communications Manager](#) の設定のバックアップ
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) パブリッシャ 8.6(1a) の追加
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) サブスクリバ 8.6(1a) の追加
- MCS から UCS への [Unified Communications Manager](#) の移行
- [Cisco IP Communicator](#) バージョン 8.6(1a) の追加

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
  - ステップ 4** サーバを再起動します。
  - ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 7** [Next] をクリックします。
  - ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。

## Service Update - リリース セット

- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-73 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

ソフトウェアパッケージ (Software Packages)

バージョンのバージョン (Partition Versions)

アクティブなバージョン (Active Version) 8.6.1.20000-1  
 アクティブでないバージョン (Inactive Version) 6.1.5.13900-4

インストールされているソフトウェアオプション (Installed Software Options)

オプション名 (Option Name)	ステータス (Status)
cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop	Active
dp-#fr-2-1-8-JP.cop	Active
dp-#fr-3-1-9-JP.cop	Active
localeinstaller	Active
cm-locale-ja_JP-6.1.3-3000-1.cop	Inactive
dp-#fr-2-1-8-JP.cop	Inactive
localeinstaller	Inactive

## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4** サーバを再起動します。
- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

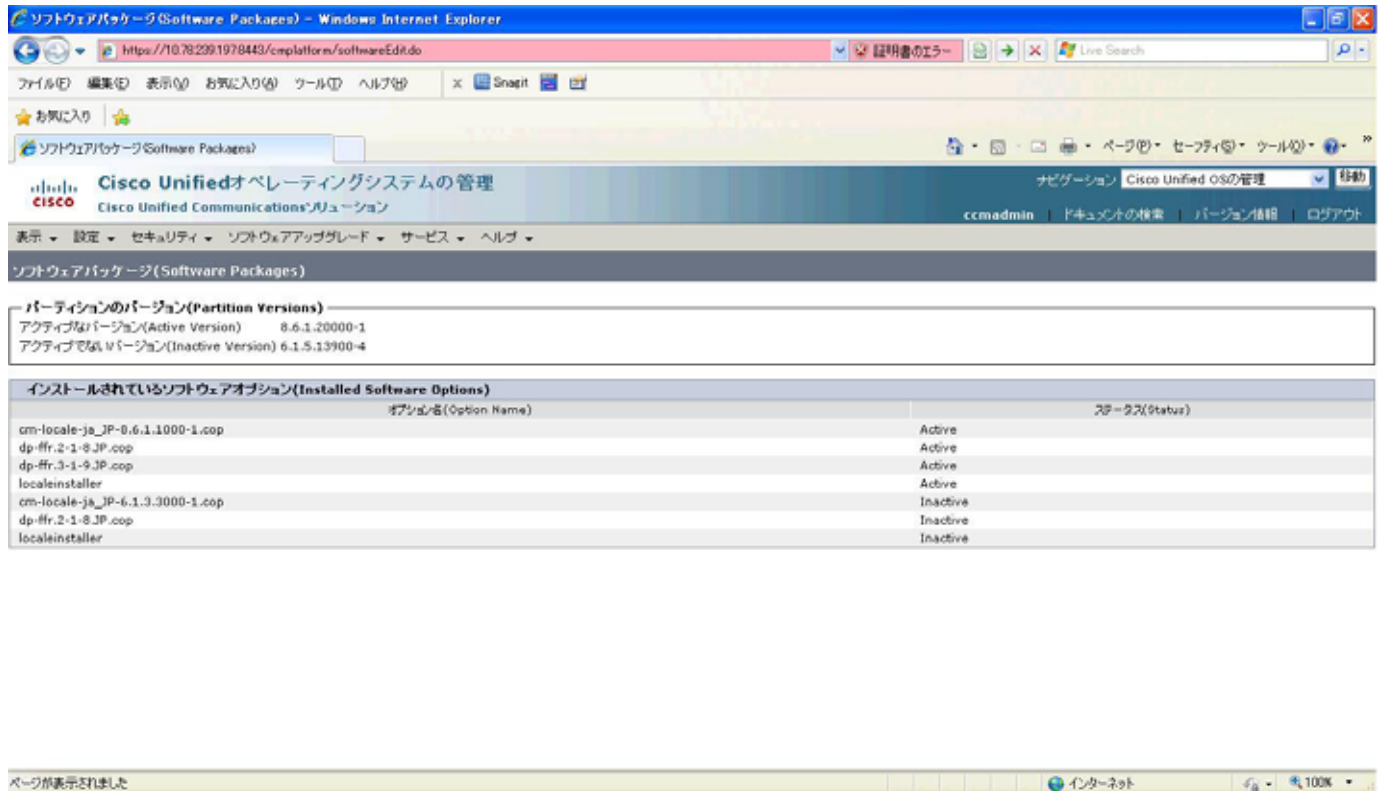
## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-74 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の SU-6.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 2.1(4) から 8.6(1a) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

### MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされることを確認します。

#### テスト手順

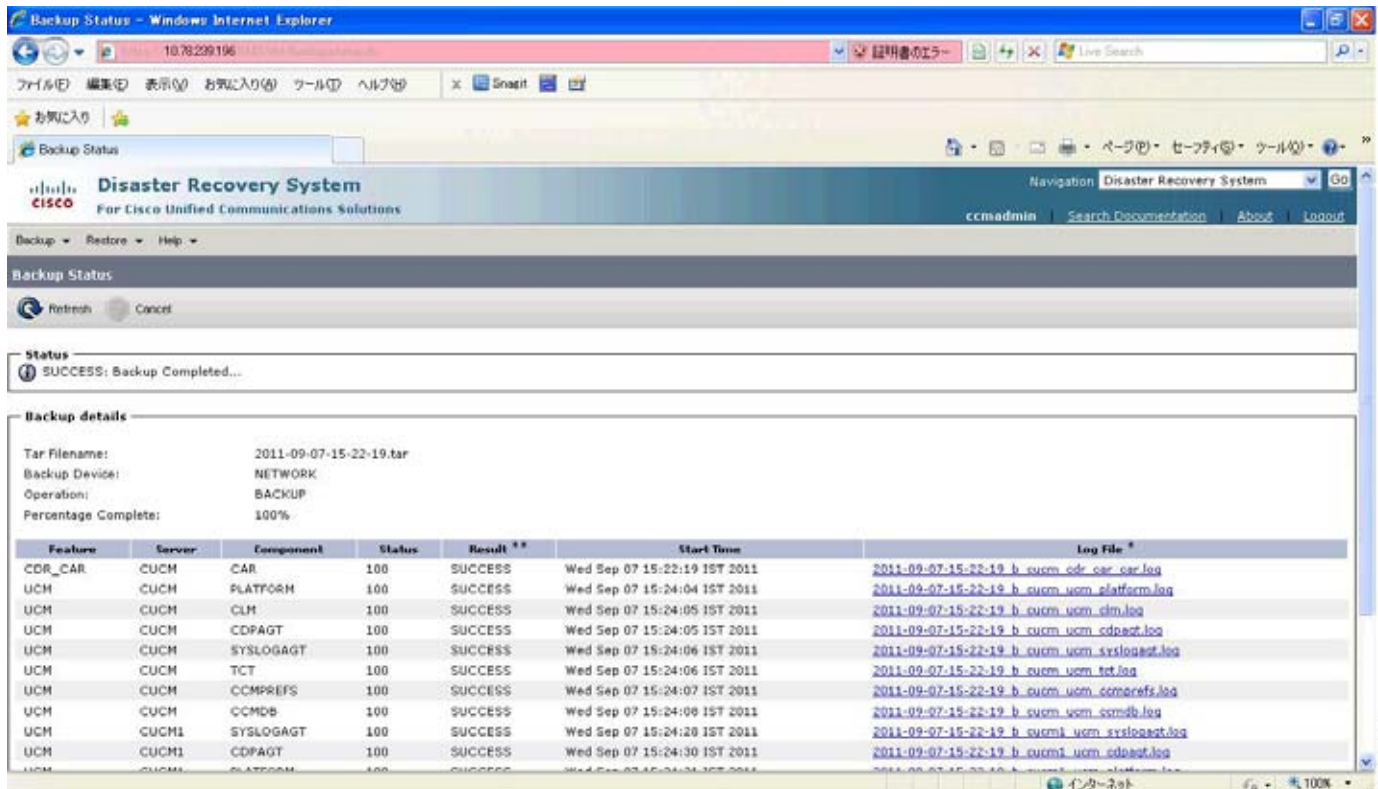
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
-

**想定される結果**

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

**出力/監視結果**

図 3-75 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

**結果**

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

**UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加****テストの説明**

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうか確認します。

**テスト手順**

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

**想定される結果**

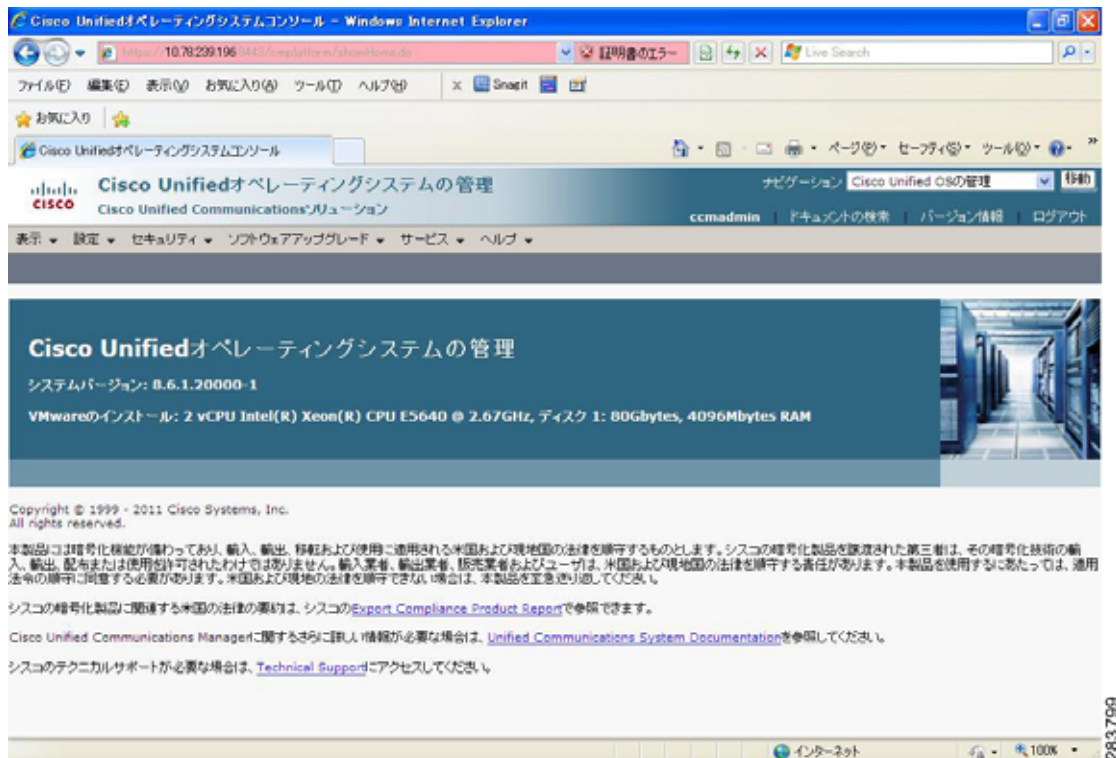
Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されません。



- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあつてはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-76 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのインストール後に次の結果が想定されます。

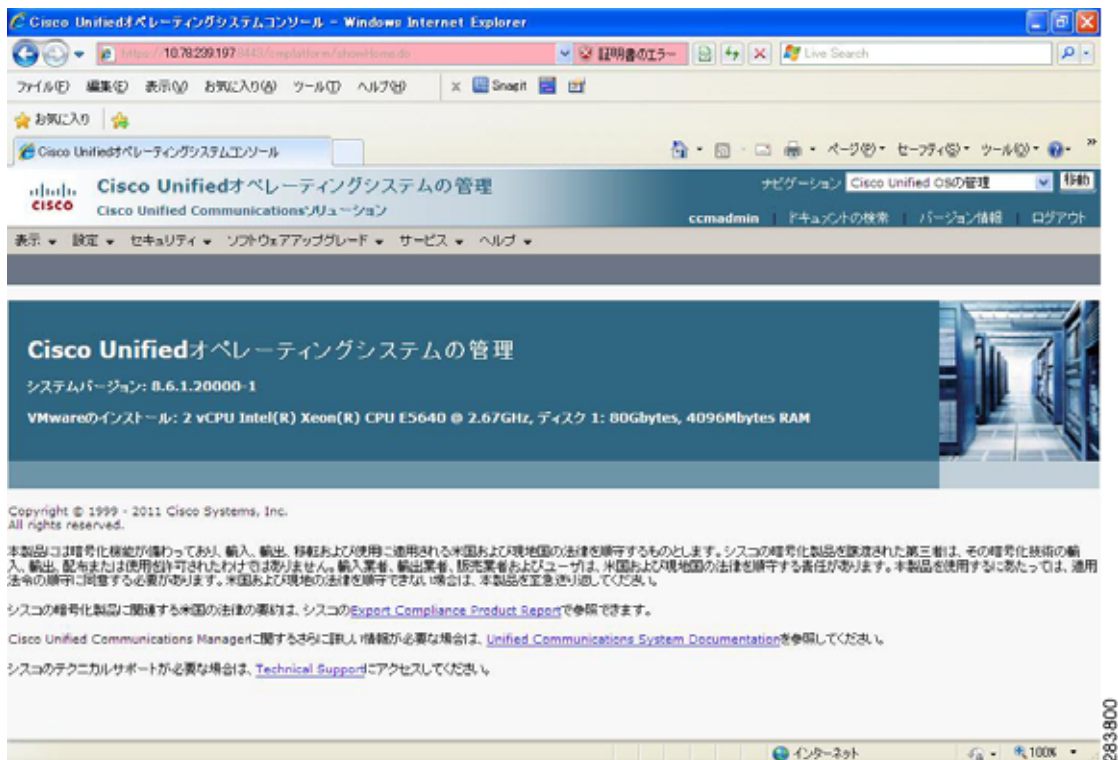
- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。

## Service Update - リリース セット

- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-77 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。

- ステップ 4** [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5** [Next] および [Restore] をクリックします。
- ステップ 6** サーバを再起動し、変更を有効にします。

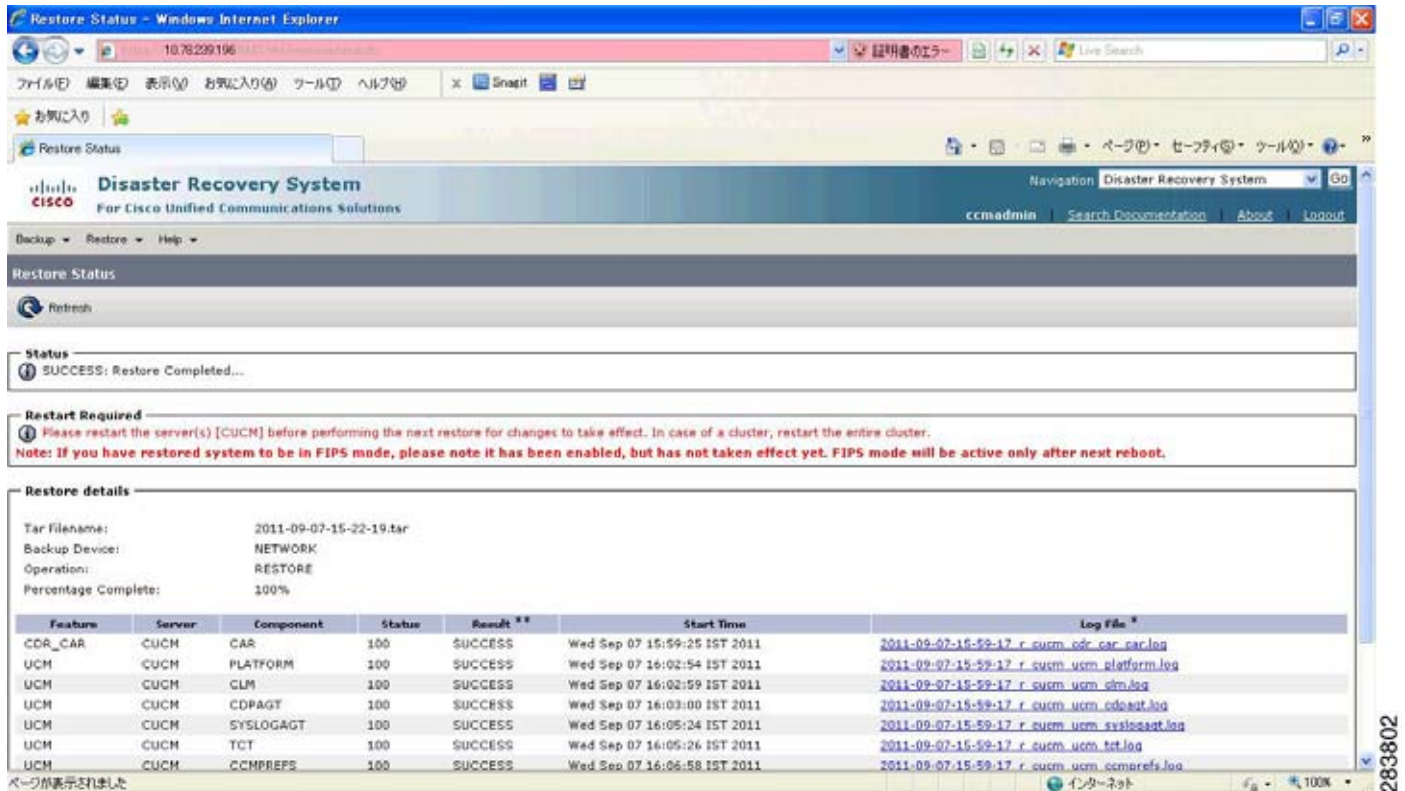
### 想定される結果

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-78 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のインストールが成功するかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると Unified Communications Manager バージョン 8.6(1a) に正常に登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。

- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## 7.1(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

### 7.1(3) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	7.1(3b)SU2	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-7.1.3.2000-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1 000-1.cop.sgn
IP Communicator	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポー ネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1155	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリシヤ 7.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1156	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 7.1(3) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(3) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1157	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリースセット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1158	アップグレード	リリースセット 7.1(3) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリースセット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1159	アップグレード	MCS 内のディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1160	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストールが成功することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1161	アップグレード	C シリーズ上にインストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) に対するライセンスの適用	ライセンス アップロードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1162	アップグレード	C シリーズの ディザスタ リカバリ システムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に完了することを確認します		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- [Unified Communications Manager](#) パブリッシャの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Unified Communications Manager](#) サブスクリバの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco Unified IP Phone](#) の SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco IP Communicator 7.0\(3\)](#) から 8.6(1a) へのアップグレード
- MCS からの [Unified Communications Manager](#) の設定のバックアップ
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) パブリッシャ 8.6(1a) の追加
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) サブスクリバ 8.6(1a) の追加
- MCS から UCS への [Unified Communications Manager](#) の移行
- [Cisco IP Communicator](#) バージョン 8.6(1a) の追加

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
  - ステップ 4** サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

### 想定される結果

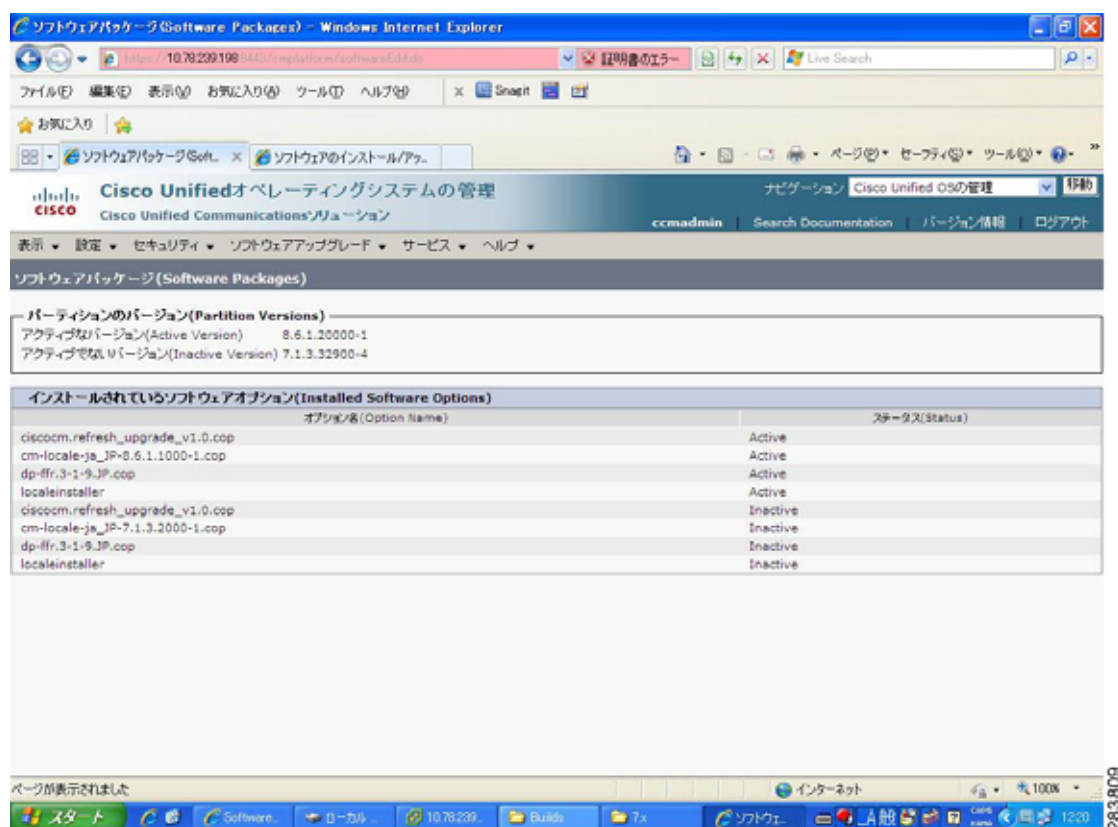
Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-79 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクライバの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4 サーバを再起動します。

- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。

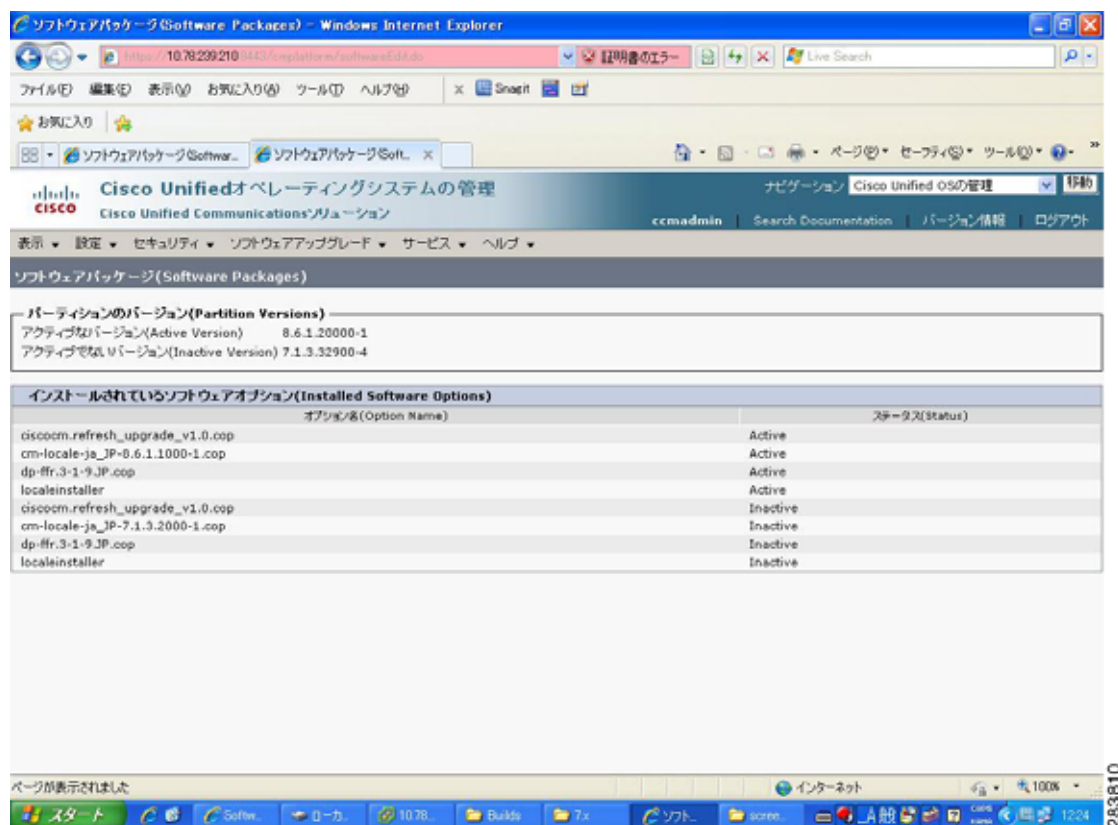
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-80 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。

- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の SU-7.1(3b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリポートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

### MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

#### テスト手順

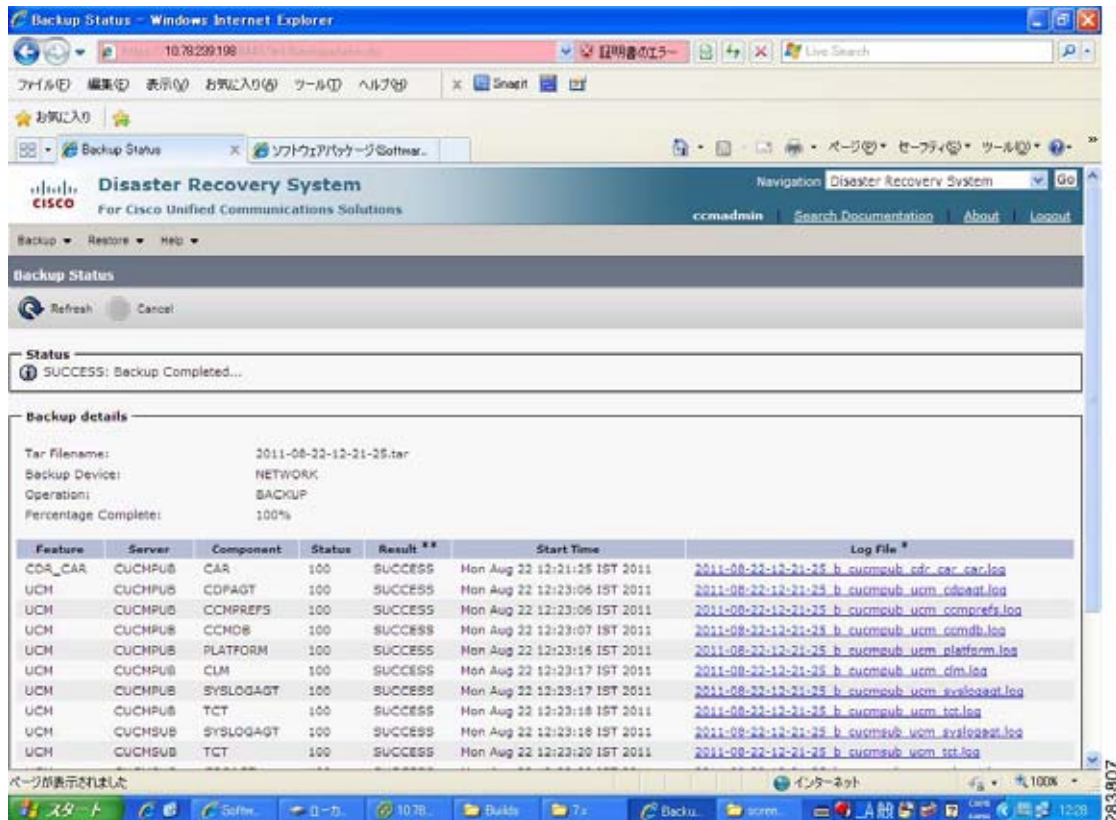
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
- ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
- ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
-

### 想定される結果

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

### 出力/監視結果

図 3-81 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



### 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうか確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

### 想定される結果

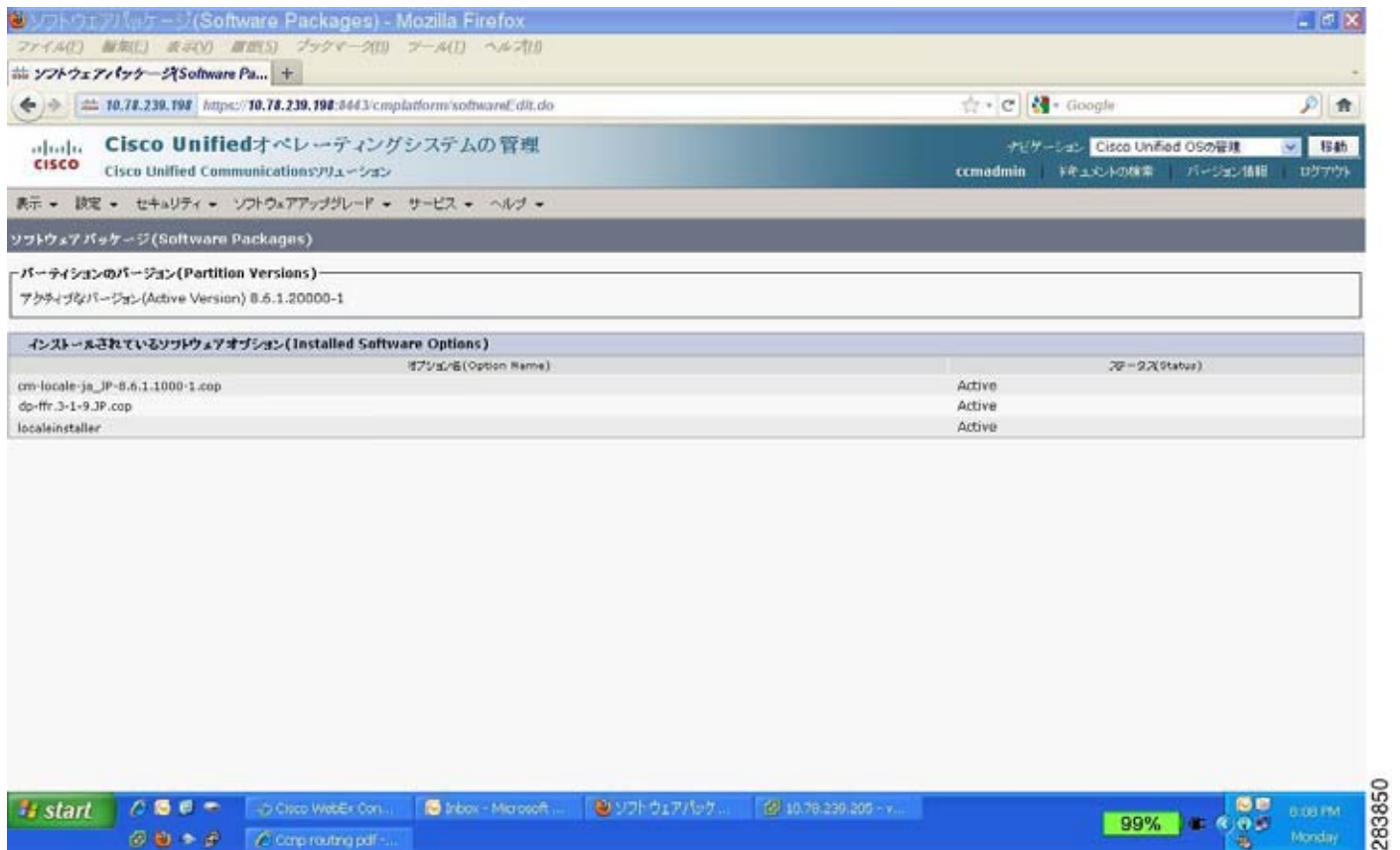
Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

## Service Update - リリース セット

- ・ インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- ・ インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

## 出力/監視結果

図 3-82 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加



## 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバが正常にインストールされることを確認します。

## テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

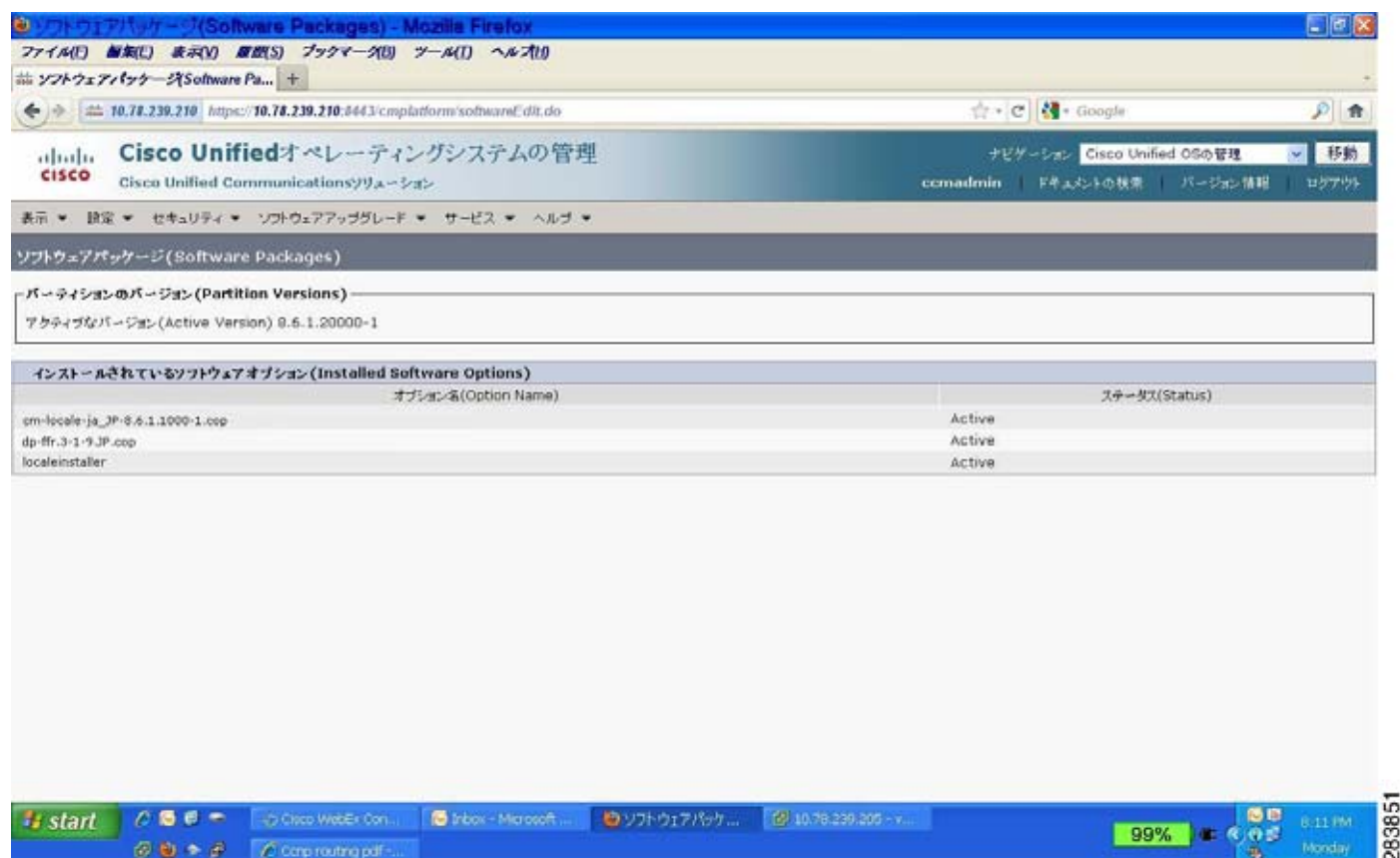
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-83 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。
- ステップ 6 サーバを再起動し、変更を有効にします。

### 想定される結果

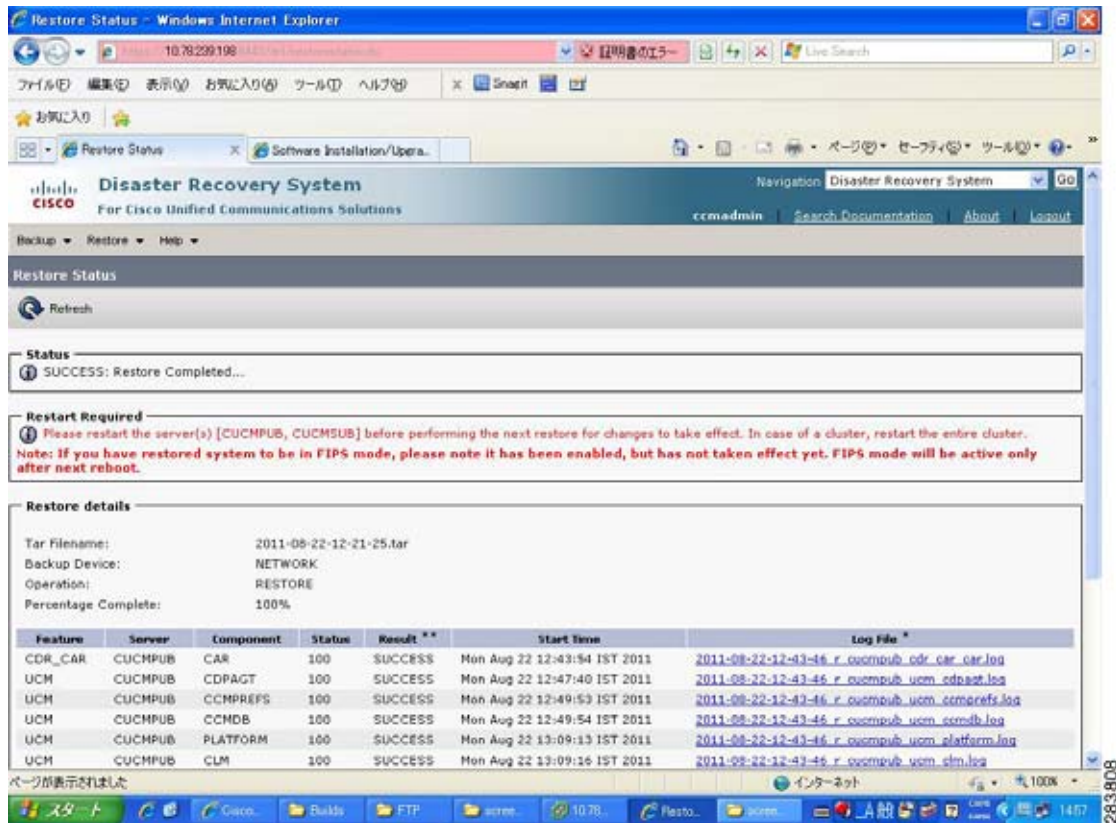
Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクリバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハントパイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。



## 出力/監視結果

図 3-84 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると Unified Communications Manager バージョン 8.6(1a) に正常に登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。

- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## 7.1(5) から 8.6(1a) へのアップグレード

## 7.1(5) をアップグレードする場合の環境マトリクス

製品/コンポーネント	SU - アップグレード元リリース セット	アップグレード先リリース セット
Cisco Unified CM	7.1(5b)SU4	8.6.1.20000-1
Cisco Unified CM ロケール	cm-locale-ja_JP-7.1.5.1200-1.cop.sgn	cm-locale-ja_JP-8.6.1.1000-1.cop.sgn
IP Communicator	7.0(3)	8.6(1)
ダイヤル プラン	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn	dp-ffr.3-1-9.JP.cop.sgn

## テスト結果

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1163	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 7.1(5) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1164	アップグレード	Cisco Unified Communications Manager サブスクライバ 7.1(5) (Service Update) のアップグレード	Cisco Unified Communications Manager 7.1(5) (Service Update) から 8.6(1a) へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1165	アップグレード	Cisco IP Communicator のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco IP Communicator へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1166	アップグレード	リリース セット 7.1(5) Cisco Unified IP Phone のアップグレード	リリース セット 8.6(1a) Cisco Unified IP Phone へのアップグレードが正常に完了することを確認します。		合格	

ID	テスト対象機能	ケース タイトル	説明	コール コンポーネント フロー	ステータス	障害
UC861S.UPGR ADE.U.1167	アップグレード	MCS 内のディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified CM のバックアップ	Cisco Unified CM の 100% バックアップが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1168	アップグレード	C シリーズ上の Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール	Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストールが成功することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1169	アップグレード	C シリーズ上にインストールされた Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) に対するライセンスの適用	ライセンスアップロードが正常に完了することを確認します。		合格	
UC861S.UPGR ADE.U.1170	アップグレード	C シリーズのディザスタリカバリ システムを使用した Cisco Unified Communications Manager の復元	Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が正常に完了することを確認します		合格	

## テスト ケース

この項では、次のテスト ケースについて説明します。

- [Unified Communications Manager](#) パブリッシャの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Unified Communications Manager](#) サブスクリイバの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco Unified IP Phone](#) の SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード
- [Cisco IP Communicator 7.0\(3\)](#) から 8.6(1a) へのアップグレード
- MCS からの [Unified Communications Manager](#) の設定のバックアップ
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) パブリッシャ 8.6(1a) の追加
- UCS サーバでの [Unified Communications Manager](#) サブスクリイバ 8.6(1a) の追加
- MCS から UCS への [Unified Communications Manager](#) の移行
- [Cisco IP Communicator](#) バージョン 8.6(1a) の追加

## Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャへのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- 
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
  - ステップ 2 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 3 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
  - ステップ 4 サーバを再起動します。
  - ステップ 5 [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
  - ステップ 6 アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
  - ステップ 7 [Next] をクリックします。
  - ステップ 8 ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャのアップグレード後に次の結果が想定されます。

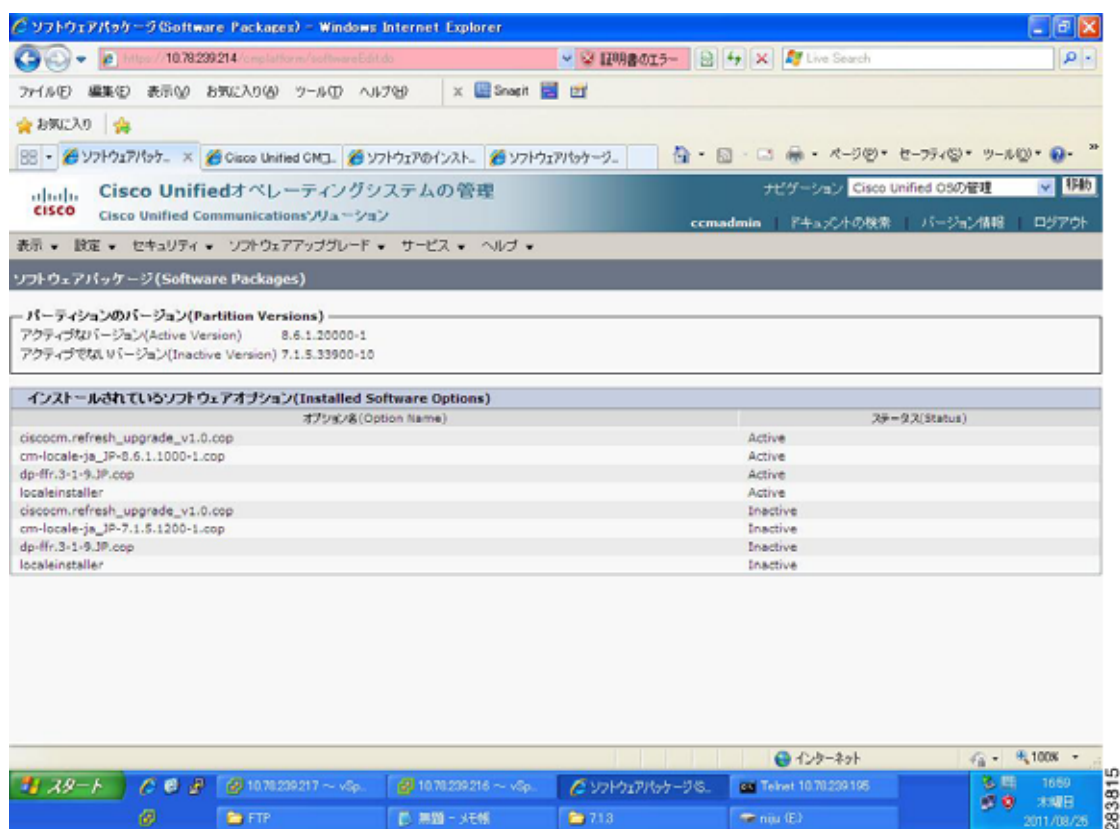
- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシャとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。

## Service Update - リリース セット

- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力 / 監視結果

図 3-85 Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager パブリッシャの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Unified Communications Manager サブスクリバの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバのアップグレードが正常に完了するかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

## テスト手順

- 
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の [OS Admin] ページにログオンします。
- ステップ 2** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 3** 目標とするバージョンにアップグレードする前に、リフレッシュ アップグレード パッチをインストールします。
- ステップ 4** サーバを再起動します。
- ステップ 5** [Software] -> [Install/Upgrade] をクリックします。
- ステップ 6** アップグレード ファイルが FTP または SFTP 内にある場合はリモート ファイル システムを選択し、そうでない場合は DVD 内にあるアップグレード イメージの CD/DVD を選択します。
- ステップ 7** [Next] をクリックします。
- ステップ 8** ドロップダウン リストからアップグレード ファイルを選択し、[Next] をクリックします。
- 

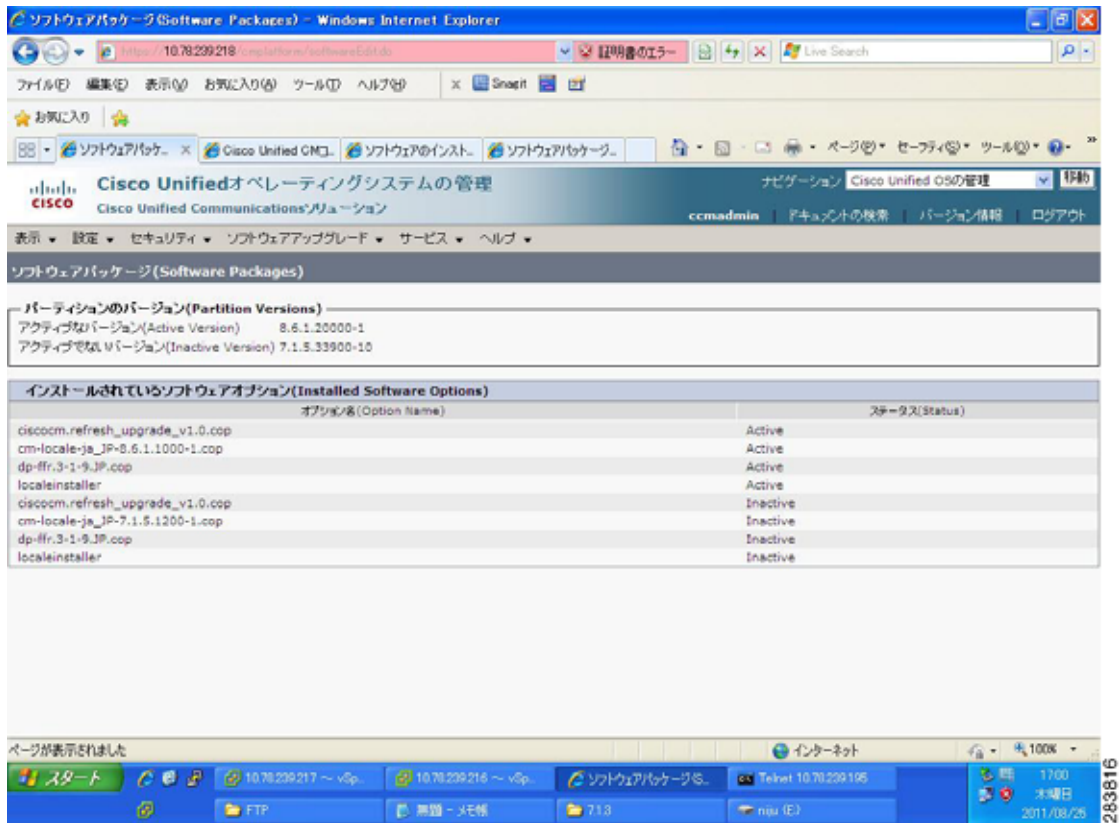
## 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクライバのアップグレード後に次の結果が想定されます。

- アップグレード プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- アップグレード ログ ファイルにはエラーがありません。エラーがないかアップグレード ログ ファイルを確認してください。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンド ポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが次のように機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数に一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-86 Unified Communications Manager サブスクリバの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード



## 結果

「Cisco Unified Communications Manager サブスクリバの SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

## Cisco Unified IP Phone の SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード

## テストの説明

このテストでは、Cisco Unified IP Phone のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

電話機は Unified Communications Manager で示されている目標とするファームウェア イメージにアップグレードされる必要があります。

## 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。



- 接続されたすべての IP 電話機のファームウェアはアップグレードされ、それぞれの Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco Unified IP Phone の SU-7.1(5b) から 8.6(1a) へのアップグレード」のテストに成功しました。

### Cisco IP Communicator 7.0(3) から 8.6(1a) へのアップグレード

#### テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

#### テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

#### 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると、Unified Communications Manager に正しく登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

#### 出力/監視結果

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

#### 結果

「Cisco IP Communicator のアップグレード」のテストに成功しました。

### MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ

#### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常にバックアップされるかどうかを確認します。

#### テスト手順

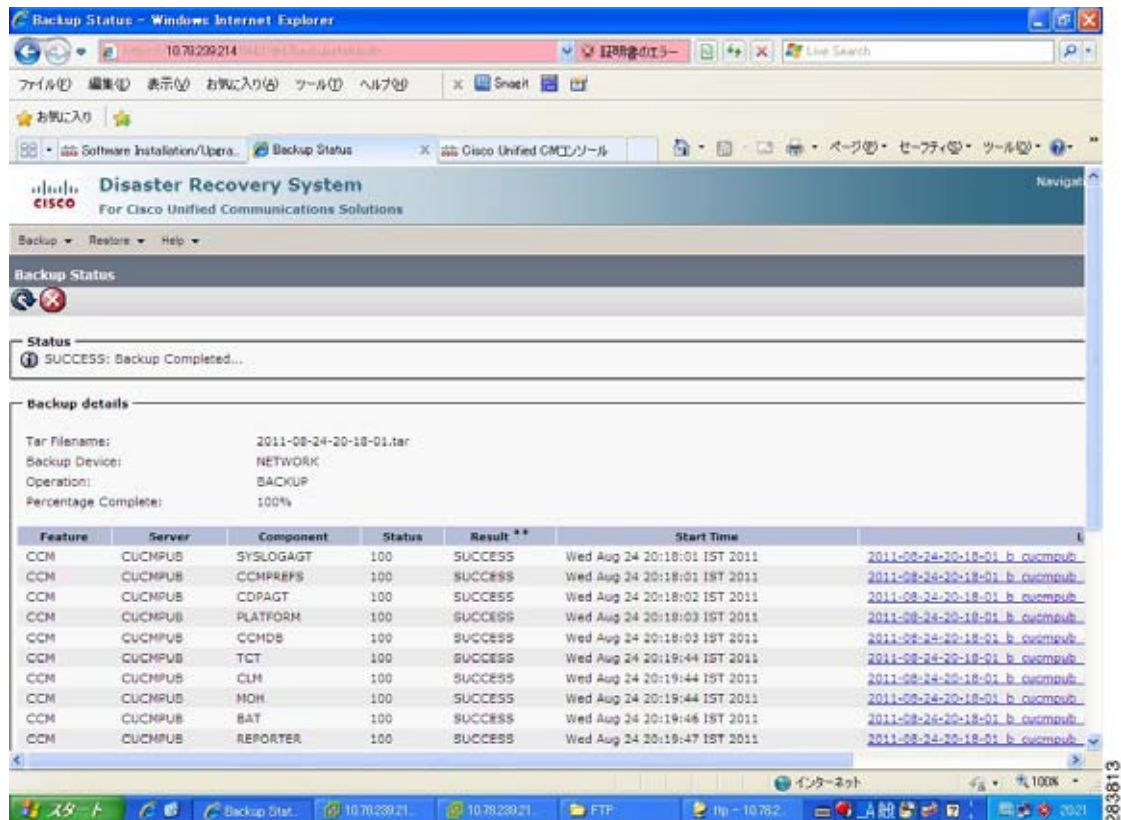
- 
- ステップ 1** MCS にインストールされた Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
  - ステップ 2** [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
  - ステップ 3** [Backup] -> [Manual Back up] に進みます。
  - ステップ 4** バックアップ プロセスを開始するために、[Start Backup] ボタンをクリックします。
  - ステップ 5** バックアップ ステータスを確認します。
-

### 想定される結果

Unified Communications Manager をバックアップした後、Cisco Unified Communications Manager の 100% バックアップが成功したことを確認します。

### 出力/監視結果

図 3-87 MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ



### 結果

「MCS からの Unified Communications Manager の設定のバックアップ」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャが正常にインストールされるかどうか確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

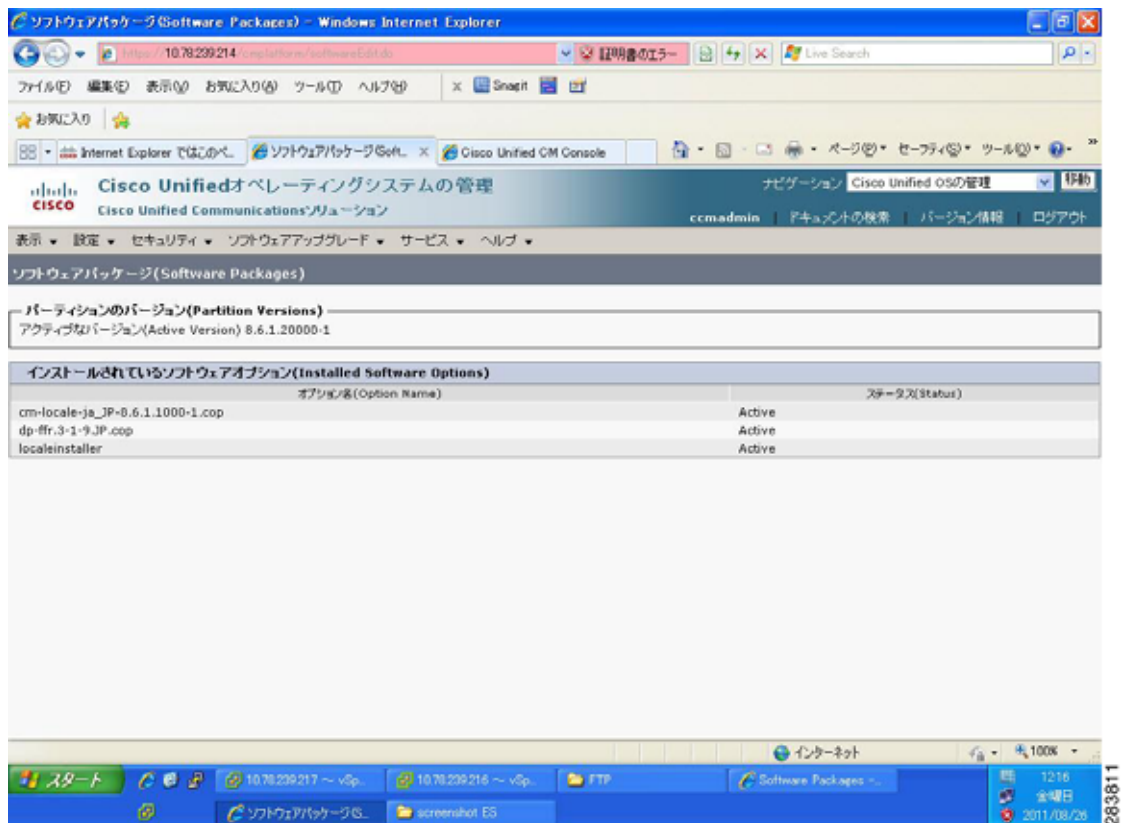
### 想定される結果

Unified Communications Manager パブリッシャの UCS へのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-88 UCS サーバでの Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリイバ 8.6(1a) の追加

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager サブスクリイバが正常にインストールされるかどうかを確認します。

### テスト手順

UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager 8.6(1a) のインストール

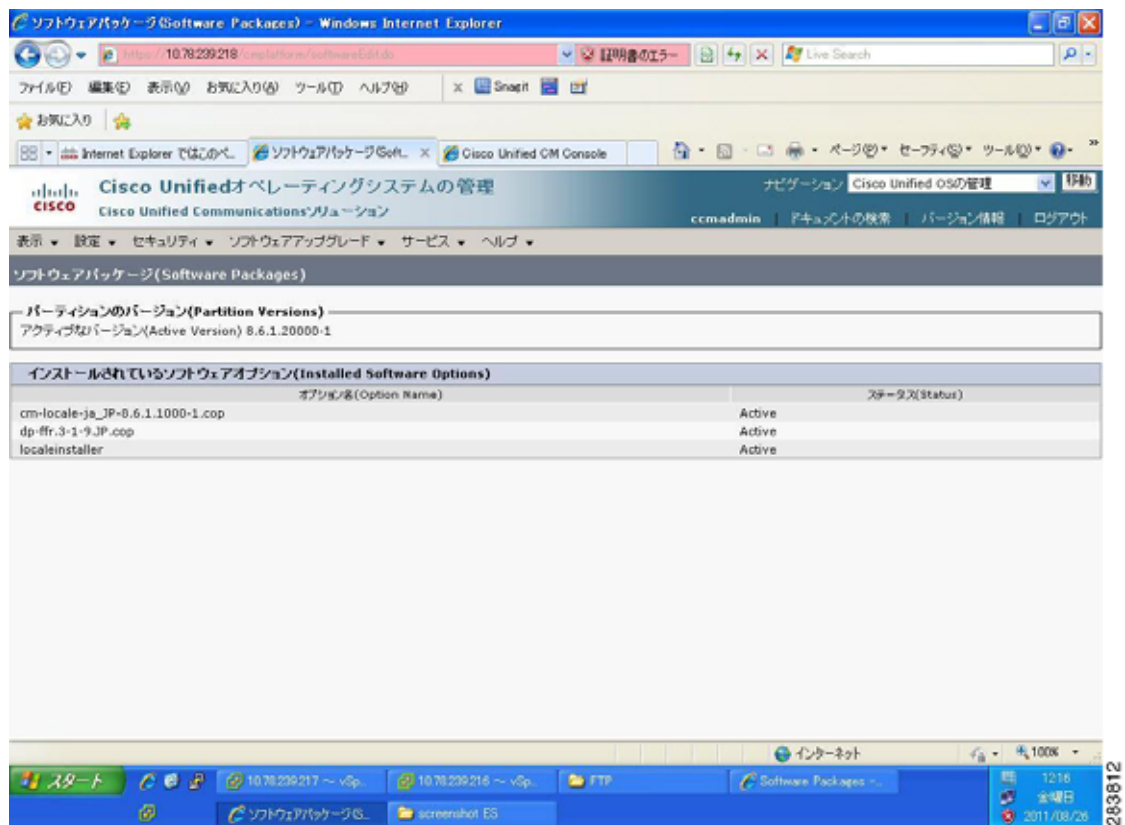
### 想定される結果

Unified Communications Manager サブスクリバのインストール後に次の結果が想定されます。

- インストール プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- インストール ログ ファイル内にエラーがあってはなりません。

### 出力/監視結果

図 3-89 UCS サーバでの Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加



### 結果

「UCS サーバでの Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。

## MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行

### テストの説明

このテストでは、Cisco Unified Communications Manager が正常に移行されるかどうかを確認します。機能と設定によっては、Communications Manager の一部のバージョンで利用できないものもあります。適用可能な設定および機能だけを確認します。

### テスト手順

- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の [Disaster recovery System] ページにログオンします。
- ステップ 2 [Back up] -> [Backup device and Add sftp backup device] に進みます。
- ステップ 3 [Restore] > [Restore Wizard] に移動します。
- ステップ 4 [Backup Device] -> [Next] -> [Select the backup file to be restored] を選択します。
- ステップ 5 [Next] および [Restore] をクリックします。
- ステップ 6 サーバを再起動し、変更を有効にします。

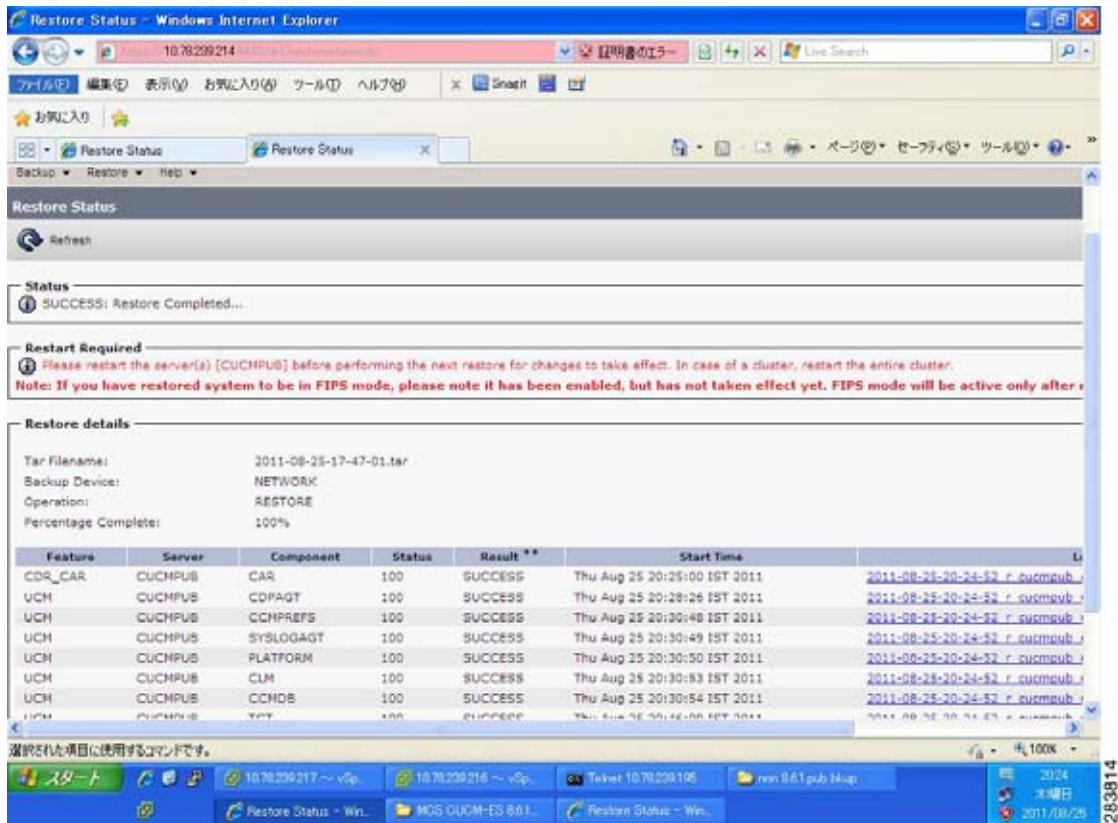
### 想定される結果

Unified Communications Manager の復元後に次の結果が想定されます。

- Cisco Unified Communications Manager の 100% 復元が成功することを確認します。
- 復元プロセス中にエラー メッセージが表示されてはなりません。
- パブリッシュとサブスクライバの間で複製の失敗がありません。
- IP Phone は SCCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に登録されます。
- デバイス MGCP/H.323 ゲートウェイ、トランクが正しく設定されている必要があります。
- ライセンス ユニット レポートで報告されているとおりにライセンスの使用状況が正しくなければなりません。
- クラスタ内のすべてのサーバでサービスが起動している必要があります。
- 複数のルート パターンとルート リストが設定され、稼動している必要があります。
- 複数のハント パイロットとハント リストが設定され、稼動している必要があります (IP テレフォニーのみ)。
- MGCP エンドポイント (FXS、PRI、T1、および BRI) が Unified Communications Manager に登録される必要があります。
- MGCP ゲートウェイを経由した IP 電話と PSTN 電話との間のコールが機能する必要があります。
- PSTN ユーザは、1) MGCP などのゲートウェイを通じて PSTN から Unified Communications Manager クラスタ内の Unified IP Phone に着信コールを行い、2) 電話を保留にすると保留音 (MOH) を聞くことができ、最終的にコールを再開できます。
- Cisco Unified Communications Operating System Administration を使用して、クラスタ内の各ノードのシステム バージョン、および各ノードが同じバージョンを実行している必要があります。
- Cisco Unified Communications Manager Administration の [Firmware Load Information] ウィンドウで、電話ロード タイプの値が、サーバの置換前に記録した値と一致する必要があります。
- CM 内で設定された電話機、ゲートウェイ、トランク、ユーザ、およびルート パターンの数が、サーバの置換前に記録した数と一致する必要があります。

## 出力/監視結果

図 3-90 MCS から UCS への Unified Communications Manager の移行



## 結果

「MCS から UCS への Cisco Unified Communications Manager の移行」のテストに成功しました。

## Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加

## テストの説明

このテストでは、Cisco IP Communicator のアップグレードが正常に行われるかどうかを確認します。

## テスト手順

カスタマー向けのアップグレード マニュアルに従います。

## 想定される結果

- PC をリブートした後、IP Communicator を起動すると Unified Communications Manager バージョン 8.6(1a) に正常に登録される必要があります。
- IP Communicator に対してコールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- IP Communicator から発信、着信、および PSTN コールを発信すると、双方向オーディオが正しく機能する必要があります。
- 保留、転送、会議などの追加コール機能が正しく機能する必要があります。

**出力/監視結果**

- エラー メッセージは表示されません。
- IP Communicator は Unified Communications Manager のプライマリ ノードに正しく登録されます。

**結果**

「Cisco IP Communicator バージョン 8.6(1a) の追加」のテストに成功しました。







## CHAPTER 4

# ベスト プラクティスと制限事項

この章の内容は、次のとおりです。

- [ベスト プラクティス](#)
- [制限事項](#)
- [関連資料](#)

## ベスト プラクティス

次に、ES リリースおよび SU リリースのアップグレード/移行時に推奨されるベスト プラクティスを示します。

- Unified Communications Manager を移行する前に、MCS にインストールされている Unified Communications Manager のプラットフォーム設定 (IP アドレス/ホスト名やタイムゾーンなど) を記載しておきます。プラットフォーム設定は、UCS C シリーズ サーバ上の Unified Communications Manager と同じものを使用してください。異なる設定を使用すると、DB 復元が正常に行われません。
- MCS サーバ上で Unified CM 8.5(1) へのアップグレードが完了したら、次の手順を実行します。
  - ライセンスを適用します。
  - すべてのサービスを再開します。
- Unified Communications Manager のパブリッシャ サーバとサブスクリバ サーバが同じバージョンであることを確認します。
- FTP/SFTP サーバを Unified Communications Manager サーバのネットワーク サブネットに配置して、インストール、バックアップ、および復元が迅速に行われるようにします。
- バックアップ/復元を実施する前に、クラスタ内で全サービスが稼働していることを確認します。
- 5.1(3) から 7.1(5) へのアップグレードでは、サーバで空の USB ドライブを使用し、CD/DVD または FTP にパッチ「cisco-ipt-k9-patch7.1.5.10000-12.tar」を保存してから、アップグレードを続行します。
- DB レプリケーションが失敗した場合は、CLI モードからパブリッシャ サーバに対して `utils dbreplication overwrite` コマンドを実行してみます。
- Unified Communications Manager を以前のバージョンに戻すときは、必ずパブリッシャ サーバに対して `utils dbreplication reset` コマンドを実行し、Unified Communications Manager データベースをリセットします。
- UCS サーバにインストールされている Unified Communications Manager に移行したら、ライセンス MAC を使用して新規ライセンスを取得します。

- UCS サーバで Unified Communications Manager の DB 復元が完了してから、新規に取得したライセンスをアップロードします。
- サブスクリイバ サーバのインストールを続行する前に、`show ntp status` コマンドを使用して、NTP サーバがパブリッシャ サーバと同期されることを確認します。
- UCS サーバにインストールされている Unified Communications Manager サーバを起動する前に、対応する MCS サーバにインストールされているすべての Unified Communications Manager が管理上ダウンしていることを確認します。

## 制限事項

No.	対象バージョン	フィックス リリース	障害 ID	説明
1	5.1(3)SU	7.1(3.10000.11)	CSCsz83337	COP ファイル：pdf 形式のサイズの大きな電話ガイドを削除して、アクティブなスペースを解放します。
2	4.1(3)_SR8a	—	CSCsi48359	4.1(3) から 7.1(3) への移行後、DMA 7.1(3) を使用すると、警告名やその他のいくつかのフィールドに含まれる半角カタカナ（シングルバイト）が文字化けします。
3	5.1.3.7109.1ES	5.1(1.2000.2)	CSCsg02221	パブリッシャのホスト名が大文字と数字で指定されていると、Unified Communications Manager サブスクリイバのインストールが失敗します。

## 関連資料

### 『Installing Cisco Unified Communications Manager Release 8.6(1a)』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/install/8\\_6\\_1/install/cmins861.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/install/8_6_1/install/cmins861.html)

### 『System Installation and Upgrade Manual for IP Telephony』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/uc\\_system/UC8.6.1/ipt\\_system\\_inst\\_upg/suimt861.pdf](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/uc_system/UC8.6.1/ipt_system_inst_upg/suimt861.pdf)

### 『Cisco Unified CM on Virtualized Servers』

[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/virtual/servers.pdf](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucm/virtual/servers.pdf)

### インストールおよびアップグレード ガイド

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps556/prod\\_installation\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicew/ps556/prod_installation_guides_list.html)

